

# 令和 2 年度 病院事業決算状況

## 都道府県名 北海道

## 総務省

### - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ						
-	江差病院	3	苫小牧市	苫小牧市立病院	21	木古内町	国保病院	39
-	羽幌病院	4	稚内市	稚内病院	22	森町	国保病院	40
-	緑ヶ丘病院	5	稚内市	稚内こまどり病院	23	八雲町	八雲総合病院	41
-	向陽ヶ丘病院	6	美唄市	市立美唄病院	24	八雲町	八雲町熊石国民健康保険病院	42
-	北見病院	7	芦別市	芦別病院	25	長万部町	町立病院	43
-	子ども総合医療・療育センタ ー	8	江別市	市立病院	26	厚沢部町	国保病院	44
札幌市	札幌病院	9	赤平市	あかびら市立病院	27	乙部町	国保病院	45
函館市	市立函館病院	10	士別市	士別市立病院	28	奥尻町	国保病院	46
函館市	市立函館恵山病院	11	名寄市	総合病院	29	今金町	国保病院	47
函館市	市立函館南茅部病院	12	名寄市	名寄東病院	30	せたな町	せたな町立国保病院（病院事業分）	48
小樽市	小樽病院	13	三笠市	三笠総合病院	31	黒松内町	黒松内町国民健康保険病院	49
旭川市	市立旭川病院	14	根室市	根室病院	32	南幌町	国保町立病院	50
室蘭市	総合病院	15	千歳市	千歳市民病院	33	奈井江町	奈井江町立国民健康保険病院	51
釧路市	市立釧路総合病院	16	滝川市	市立病院	34	由仁町	町立病院	52
北見市	北見市国民健康保険常呂病院	17	砂川市	市立病院	35	長沼町	町立長沼病院	53
岩見沢市	総合病院	18	歌志内市	市立病院	36	月形町	国保月形町立病院	54
岩見沢市	栗沢病院	19	深川市	市立病院	37	美瑛町	町立病院	55
留萌市	市立病院	20	松前町	松前病院	38	上富良野町	上富良野町立病院	56

# 令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 北海道

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ						
中富良野町	町立病院	57	むかわ町	むかわ町鶴川厚生病院	75	標津町	標津町国民健康保険標津病院	93
和寒町	国保町立和寒病院	58	日高町	門別国保病院	76	広域紋別病院企業団	広域紋別病院	94
下川町	下川病院	59	平取町	国保病院	77	利尻島国民健康保険病院組合	利尻島国保中央病院	95
遠別町	遠別町立国保病院	60	新冠町	国保診療所	78			
天塩町	国保病院	61	新ひだか町	新ひだか町立静内病院	79			
猿払村	国保病院	62	新ひだか町	新ひだか町立三石国民健康保険病院	80			
浜頓別町	国保病院	63	士幌町	国保病院	81			
中頓別町	国保病院	64	鹿追町	国保病院	82			
枝幸町	枝幸町国民健康保険病院	65	芽室町	国保芽室病院	83			
豊富町	豊富町国民健康保険病院	66	大樹町	国保病院	84			
幌延町	町立病院	67	広尾町	広尾町国民健康保険病院	85			
美幌町	国保病院	68	池田町	十勝いけだ地域医療センター	86			
斜里町	斜里町国民健康保険病院	69	本別町	国保病院	87			
滝上町	国保病院	70	足寄町	国保病院	88			
興部町	国保病院	71	厚岸町	厚岸病院	89			
雄武町	国保病院	72	標茶町	町立病院	90			
豊浦町	国保病院	73	別海町	別海病院	91			
白老町	国保病院	74	中標津町	中標津病院	92			

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名					
病院名	江差病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	12,101 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	146	24.1	33.7	34.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	48	11.3	14.8	21.8
感染症	4	-	-	-
計	198	20.5	28.4	30.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	18.7	16.9

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	3,100,102,459	
標準財政規模(千円)	1,353,652,203	
財政力指数	0.46217	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	19.6
	将来負担比率(%)	325.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,129,280			
1 経常収益	3,129,168			
(1) 医業収益	1,473,167			
入院収益	593,817			
外来収益	688,270			
診療収入計	1,282,087			
その他医業収益	191,080			
(うち他会計負担金)	144,845			
(2) 医業外収益	1,656,001			
(うち国・都道府県補助金)	800,486			
(うち他会計補助・負担金)	686,839			
(うち長期前受金戻入)	163,505			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	112			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,128,036			
2 経常費用	3,122,361			
(1) 医業費用	2,901,060			
職員給与費	1,633,464	110.9	62.1	67.4
材料費	311,355	21.1	25.3	17.7
(うち薬品費)	100,425	6.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	210,930	14.3	11.4	8.8
減価償却費	212,949	14.5	9.5	10.7
経費	738,736	50.1	22.7	29.2
(うち委託料)	348,166	23.6	12.6	13.9
研究研修費	2,575			
資産減耗費	1,981			
(2) 医業外費用	221,301			
(うち支払利息)	118,556	8.0	1.3	1.5
(3) 特別損失	5,675			
損益				
経常損益	6,807			
純損益	1,244			
累積欠損金	17,807,914			
経常収支比率	100.2		101.9	100.3
医業収支比率	50.8		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	26.6		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	56.5		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	26.6		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	73.6		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,165,285
1 固定資産	19,975,926
(1) 有形固定資産	18,944,602
(2) 無形固定資産	5,299
(3) 投資その他の資産	1,026,025
2 流動資産	3,189,359
(1) 現金及び預金	924,853
(2) 未収金及び未収収益	2,198,007
(3) 貸倒引当金( )	12,748
(4) 貯蔵品	59,021
3 繰延資産	-
負債合計	75,424,450
1 固定負債	58,298,442
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,704,762
(2) その他の企業債	248,265
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(5) その他の長期借入金	29,896,748
(6) 引当金	3,085,127
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,142,559
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,518,482
(2) その他の企業債	17,735
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	560,732
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,973,658
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,983,449
(1) 長期前受金	39,388,469
(2) 長期前受金収益化累計額( )	26,405,020
資本合計	-52,259,165
1 資本金	1,088,480
2 剰余金	-53,347,645
(1) 資本金剰余金	660,628
(2) 利益剰余金	-54,008,273
負債・資本合計	23,165,285
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	52,259,165
資本不足額(繰延収益控除後)( )	39,275,716
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	45.8
修正医業収益(千円)	1,328,322

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	550,629	831,684
資本勘定繰入	288,673	314,682
計	839,302	1,146,366

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	730.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名					
病院名 羽幌病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,702 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	120	20.8	27.2	22.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	20.8	27.2	22.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	16.5	15.4

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	3,100,102,459	
標準財政規模(千円)	1,353,652,203	
財政力指数	0.46217	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	19.6
	将来負担比率(%)	325.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,979,666			
1 経常収益	1,978,431			
(1) 医業収益	934,747			
入院収益	307,010			
外来収益	467,914			
診療収入計	774,924			
その他医業収益	159,823			
(うち他会計負担金)	129,908			
(2) 医業外収益	1,043,684			
(うち国・都道府県補助金)	136,897			
(うち他会計補助・負担金)	719,436			
(うち長期前受金戻入)	187,093			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,235			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,898,225			
2 経常費用	1,893,482			
(1) 医業費用	1,749,860			
職員給与費	950,745	101.7	62.1	67.4
材料費	169,876	18.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	84,747	9.1	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	85,129	9.1	11.4	8.8
減価償却費	219,719	23.5	9.5	10.7
経費	405,941	43.4	22.7	29.2
(うち委託料)	161,824	17.3	12.6	13.9
研究研修費	1,695			
資産減耗費	1,884			
(2) 医業外費用	143,622			
(うち支払利息)	93,731	10.0	1.3	1.5
(3) 特別損失	4,743			
損益				
経常損益	84,949			
純損益	81,441			
累積欠損金	15,481,244			
経常収支比率	104.5		101.9	100.3
医業収支比率	53.4		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	42.9		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	90.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	42.9		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	59.6		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,165,285
1 固定資産	19,975,926
(1) 有形固定資産	18,944,602
(2) 無形固定資産	5,299
(3) 投資その他の資産	1,026,025
2 流動資産	3,189,359
(1) 現金及び預金	924,853
(2) 未収金及び未収収益	2,198,007
(3) 貸倒引当金( )	12,748
(4) 貯蔵品	59,021
3 繰延資産	-
負債合計	75,424,450
1 固定負債	58,298,442
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,704,762
(2) その他の企業債	248,265
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(5) その他の長期借入金	29,896,748
(6) 引当金	3,085,127
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,142,559
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,518,482
(2) その他の企業債	17,735
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	560,732
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,973,658
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,983,449
(1) 長期前受金	39,388,469
(2) 長期前受金収益化累計額( )	26,405,020
資本合計	-52,259,165
1 資本金	1,088,480
2 剰余金	-53,347,645
(1) 資本金剰余金	660,628
(2) 利益剰余金	-54,008,273
負債・資本合計	23,165,285
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	52,259,165
資本不足額(繰延収益控除後)( )	39,275,716
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	46.0
修正医業収益(千円)	804,839

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	657,802	849,344
資本勘定繰入	167,970	167,970
計	825,772	1,017,314

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	730.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名					
病院名	緑ヶ丘病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,670 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	1	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	168	32.1	34.3	37.9
感染症	-	-	-	-
計	168	32.1	34.3	37.9
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	3,100,102,459	
標準財政規模(千円)	1,353,652,203	
財政力指数	0.46217	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	19.6
	将来負担比率(%)	325.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	41.8
修正医業収益(千円)	787,221

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,841,069			
1 経常収益	1,836,742			
(1) 医業収益	806,583			
入院収益	495,287			
外来収益	280,022			
診療収入計	775,309			
その他医業収益	31,274			
(うち他会計負担金)	19,362			
(2) 医業外収益	1,030,159			
(うち国・都道府県補助金)	23,210			
(うち他会計補助・負担金)	903,447			
(うち長期前受金戻入)	103,131			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,327			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,968,032			
2 経常費用	1,965,331			
(1) 医業費用	1,885,538			
職員給与費	1,331,590	165.1	62.1	104.8
材料費	60,896	7.5	25.3	8.7
(うち薬品費)	46,367	5.7	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,529	1.8	11.4	1.3
減価償却費	132,870	16.5	9.5	13.5
経費	356,760	44.2	22.7	33.3
(うち委託料)	228,641	28.3	12.6	18.6
研究研修費	1,844			
資産減耗費	1,578			
(2) 医業外費用	79,793			
(うち支払利息)	38,144	4.7	1.3	2.7
(3) 特別損失	2,701			
損益				
経常損益	-128,589			
純損益	-126,963			
累積欠損金	13,792,783			
経常収支比率	93.5		101.9	101.4
医業収支比率	42.8		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	50.2		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	114.4		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	50.1		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	46.5		89.3	66.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,165,285
1 固定資産	19,975,926
(1) 有形固定資産	18,944,602
(2) 無形固定資産	5,299
(3) 投資その他の資産	1,026,025
2 流動資産	3,189,359
(1) 現金及び預金	924,853
(2) 未収金及び未収収益	2,198,007
(3) 貸倒引当金( )	12,748
(4) 貯蔵品	59,021
3 繰延資産	-
負債合計	75,424,450
1 固定負債	58,298,442
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,704,762
(2) その他の企業債	248,265
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(5) その他の長期借入金	29,896,748
(6) 引当金	3,085,127
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,142,559
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,518,482
(2) その他の企業債	17,735
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	560,732
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,973,658
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,983,449
(1) 長期前受金	39,388,469
(2) 長期前受金収益化累計額( )	26,405,020
資本合計	-52,259,165
1 資本金	1,088,480
2 剰余金	-53,347,645
(1) 資本金剰余金	660,628
(2) 利益剰余金	-54,008,273
負債・資本合計	23,165,285
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	52,259,165
資本不足額(繰延収益控除後)( )	39,275,716

備考:  
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	563,966	922,809
資本勘定繰入	12,748	12,748
計	576,714	935,557

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	730.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名					
病院名	向陽ヶ丘病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	7,074 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	1	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	105	57.7	50.9	51.7
感染症	-	-	-	-
計	105	57.7	50.9	51.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	3,100,102,459	
標準財政規模(千円)	1,353,652,203	
財政力指数	0.46217	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	19.6
	将来負担比率(%)	325.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	37.2
修正医業収益(千円)	603,920

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,600,699			
1 経常収益	1,598,777			
(1) 医業収益	623,282			
入院収益	365,567			
外来収益	231,554			
診療収入計	597,121			
その他医業収益	26,161			
(うち他会計負担金)	19,362			
(2) 医業外収益	975,495			
(うち国・都道府県補助金)	14,004			
(うち他会計補助・負担金)	789,688			
(うち長期前受金戻入)	171,472			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,922			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,715,504			
2 経常費用	1,713,808			
(1) 医業費用	1,624,787			
職員給与費	957,792	153.7	62.1	104.8
材料費	76,105	12.2	25.3	8.7
(うち薬品費)	58,352	9.4	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,753	2.8	11.4	1.3
減価償却費	263,086	42.2	9.5	13.5
経費	325,207	52.2	22.7	33.3
(うち委託料)	236,653	38.0	12.6	18.6
研究研修費	2,177			
資産減耗費	420			
(2) 医業外費用	89,021			
(うち支払利息)	38,461	6.2	1.3	2.7
(3) 特別損失	1,696			
損益				
経常損益	-115,031			
純損益	-114,805			
累積欠損金	8,146,718			
経常収支比率	93.3		101.9	101.4
医業収支比率	38.4		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	50.6		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	129.8		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	50.5		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	46.1		89.3	66.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,165,285
1 固定資産	19,975,926
(1) 有形固定資産	18,944,602
(2) 無形固定資産	5,299
(3) 投資その他の資産	1,026,025
2 流動資産	3,189,359
(1) 現金及び預金	924,853
(2) 未収金及び未収収益	2,198,007
(3) 貸倒引当金( )	12,748
(4) 貯蔵品	59,021
3 繰延資産	-
負債合計	75,424,450
1 固定負債	58,298,442
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,704,762
(2) その他の企業債	248,265
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(5) その他の長期借入金	29,896,748
(6) 引当金	3,085,127
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,142,559
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,518,482
(2) その他の企業債	17,735
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	560,732
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,973,658
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,983,449
(1) 長期前受金	39,388,469
(2) 長期前受金収益化累計額( )	26,405,020
資本合計	-52,259,165
1 資本金	1,088,480
2 剰余金	-53,347,645
(1) 資本金剰余金	660,628
(2) 利益剰余金	-54,008,273
負債・資本合計	23,165,285
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	52,259,165
資本不足額(繰延収益控除後)( )	39,275,716

備考:  
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	409,421	809,050
資本勘定繰入	86,245	86,245
計	495,666	895,295

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	730.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名					
病院名	北見病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	5,378 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	6	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	70	49.3	54.3	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	70	49.3	54.3	-
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	3,100,102,459	
標準財政規模(千円)	1,353,652,203	
財政力指数	0.46217	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	19.6
	将来負担比率(%)	325.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.1
修正医業収益(千円)	494

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	525,548			
1 経常収益	525,442			
(1) 医業収益	19,856			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	19,856			
(うち他会計負担金)	19,362			
(2) 医業外収益	505,586			
(うち国・都道府県補助金)	36,312			
(うち他会計補助・負担金)	229,244			
(うち長期前受金戻入)	239,367			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	106			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	518,082			
2 経常費用	517,968			
(1) 医業費用	422,789			
職員給与費	5,479	27.6	62.1	78.9
材料費	-	-	25.3	15.6
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	6.0
減価償却費	327,690	1650.3	9.5	11.7
経費	81,561	410.8	22.7	31.2
(うち委託料)	61,531	309.9	12.6	14.3
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	8,059	-	-	-
(2) 医業外費用	95,179			
(うち支払利息)	47,435	238.9	1.3	1.7
(3) 特別損失	114			
損益				
経常損益	7,474			
純損益	7,466			
累積欠損金	2,735,453			
経常収支比率	101.4		101.9	100.3
医業収支比率	4.7		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	47.3		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	1252.0		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	47.3		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	53.4		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,165,285
1 固定資産	19,975,926
(1) 有形固定資産	18,944,602
(2) 無形固定資産	5,299
(3) 投資その他の資産	1,026,025
2 流動資産	3,189,359
(1) 現金及び預金	924,853
(2) 未収金及び未収収益	2,198,007
(3) 貸倒引当金( )	12,748
(4) 貯蔵品	59,021
3 繰延資産	-
負債合計	75,424,450
1 固定負債	58,298,442
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,704,762
(2) その他の企業債	248,265
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(5) その他の長期借入金	29,896,748
(6) 引当金	3,085,127
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,142,559
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,518,482
(2) その他の企業債	17,735
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	560,732
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,973,658
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,983,449
(1) 長期前受金	39,388,469
(2) 長期前受金収益化累計額( )	26,405,020
資本合計	-52,259,165
1 資本金	1,088,480
2 剰余金	-53,347,645
(1) 資本金剰余金	660,628
(2) 利益剰余金	-54,008,273
負債・資本合計	23,165,285
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	52,259,165
資本不足額(繰延収益控除後)( )	39,275,716

備考:  
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	178,743	248,606
資本勘定繰入	220,036	220,036
計	398,779	468,642

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	730.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名					
病院名 子ども総合医療・療育センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,116 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	215	53.2	60.8	61.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	215	53.2	60.8	61.3
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	17.3	17.6

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	3,100,102,459	
標準財政規模(千円)	1,353,652,203	
財政力指数	0.46217	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	19.6
	将来負担比率(%)	325.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,626,363			
1 経常収益	6,624,750			
(1) 医業収益	3,532,023			
入院収益	2,108,776			
外来収益	543,720			
診療収入計	2,652,496			
その他医業収益	879,527			
(うち他会計負担金)	861,251			
(2) 医業外収益	3,092,727			
(うち国・都道府県補助金)	40,010			
(うち他会計補助・負担金)	1,956,882			
(うち長期前受金戻入)	425,824			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,613			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,626,393			
2 経常費用	6,581,114			
(1) 医業費用	4,538,627			
職員給与費	2,999,075	84.9	62.1	66.1
材料費	631,826	17.9	25.3	19.8
(うち薬品費)	187,012	5.3	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	444,814	12.6	11.4	9.3
減価償却費	254,544	7.2	9.5	10.2
経費	643,472	18.2	22.7	28.2
(うち委託料)	322,174	9.1	12.6	13.6
研究研修費	5,008			
資産減耗費	4,702			
(2) 医業外費用	2,042,487			
(うち支払利息)	122,629	3.5	1.3	1.6
(3) 特別損失	45,279			
損益				
経常損益	43,636			
純損益	-30			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.7		101.9	99.9
医業収支比率	77.8		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	42.5		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	79.8		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	42.5		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	57.8		89.3	86.6

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,165,285
1 固定資産	19,975,926
(1) 有形固定資産	18,944,602
(2) 無形固定資産	5,299
(3) 投資その他の資産	1,026,025
2 流動資産	3,189,359
(1) 現金及び預金	924,853
(2) 未収金及び未収収益	2,198,007
(3) 貸倒引当金( )	12,748
(4) 貯蔵品	59,021
3 繰延資産	-
負債合計	75,424,450
1 固定負債	58,298,442
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,704,762
(2) その他の企業債	248,265
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(5) その他の長期借入金	29,896,748
(6) 引当金	3,085,127
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,142,559
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,518,482
(2) その他の企業債	17,735
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	560,732
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,973,658
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,983,449
(1) 長期前受金	39,388,469
(2) 長期前受金収益化累計額( )	26,405,020
資本合計	-52,259,165
1 資本金	1,088,480
2 剰余金	-53,347,645
(1) 資本金剰余金	660,628
(2) 利益剰余金	-54,008,273
負債・資本合計	23,165,285
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	52,259,165
資本不足額(繰延収益控除後)( )	39,275,716

備考:  
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	58.8
修正医業収益(千円)	2,670,772

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	776,454	2,818,133
資本勘定繰入	294,363	316,938
計	1,070,817	3,135,071

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	730.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	札幌市				
病院名	札幌病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	62,339 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	37	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	626	59.5	84.7	74.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	38	27.6	51.6	57.1
感染症	8	2.6	8.9	-
計	672	57.0	81.9	72.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	10.2	10.4

設立団体の状況		
人口(人)	1,973,395	
決算規模(千円)	1,272,707,248	
標準財政規模(千円)	526,342,157	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.6
	将来負担比率(%)	43.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.1
修正医業収益(千円)	17,681,528

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	27,225,149			
1 経常収益	26,534,000			
(1) 医業収益	17,803,926			
入院収益	11,750,334			
外来収益	5,821,103			
診療収入計	17,571,437			
その他医業収益	232,489			
(うち他会計負担金)	122,398			
(2) 医業外収益	8,730,074			
(うち国・都道府県補助金)	6,836,284			
(うち他会計補助・負担金)	906,987			
(うち長期前受金戻入)	607,499			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	691,149			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,250,157			
2 経常費用	23,559,008			
(1) 医業費用	22,936,838			
職員給与費	11,493,254	64.6	62.1	55.8
材料費	6,399,337	35.9	25.3	29.8
(うち薬品費)	3,962,802	22.3	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,420,246	13.6	11.4	13.0
減価償却費	1,220,741	6.9	9.5	8.7
経費	3,705,109	20.8	22.7	19.7
(うち委託料)	2,468,658	13.9	12.6	12.6
研究研修費	79,819			
資産減耗費	38,578			
(2) 医業外費用	622,170			
(うち支払利息)	347,682	2.0	1.3	1.2
(3) 特別損失	691,149			
損益				
経常損益	2,974,992			
純損益	2,974,992			
累積欠損金	5,807,906			
経常収支比率	112.6		101.9	102.5
医業収支比率	77.6		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	3.9		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	5.8		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	3.8		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	108.3		89.3	93.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,270,979
1 固定資産	24,367,877
(1) 有形固定資産	23,853,925
(2) 無形固定資産	12,156
(3) 投資その他の資産	501,796
2 流動資産	7,903,102
(1) 現金及び預金	1,715,803
(2) 未収金及び未収収益	6,068,642
(3) 貸倒引当金( )	13,223
(4) 貯蔵品	125,417
3 繰延資産	-
負債合計	25,662,237
1 固定負債	16,281,499
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,595,032
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,500,000
(6) 引当金	5,179,052
(7) リース債務	7,415
2 流動負債	7,147,462
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,710,582
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	658,705
(6) リース債務	2,430
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,378,142
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,233,276
(1) 長期前受金	20,302,105
(2) 長期前受金収益化累計額( )	18,068,829
資本合計	6,608,742
1 資本金	5,114,275
2 剰余金	1,494,467
(1) 資本金剰余金	7,302,373
(2) 利益剰余金	-5,807,906
負債・資本合計	32,270,979
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	983,976	1,029,385
資本勘定繰入	1,670,369	1,847,676
計	2,654,345	2,877,061

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	函館市			
病院名	市立函館病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	57,712 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	30	指定病院の状況	救臨が感災地輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	500床以上	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	582	74.8	80.0	77.8
療養	-	-	-	-
結核	10	6.1	47.3	42.8
精神	50	-	-	-
感染症	6	19.4	2.7	-
計	648	67.5	72.6	70.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	12.9	12.6

設立団体の状況		
人口(人)	251,084	
決算規模(千円)	165,232,192	
標準財政規模(千円)	70,386,099	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	93.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	46.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	97.5
修正医業収益(千円)	17,700,574

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,430,121			
1 経常収益	21,434,084			
(1) 医業収益	18,047,109			
入院収益	13,257,302			
外来収益	4,217,337			
診療収入計	17,474,639			
その他医業収益	572,470			
(うち他会計負担金)	346,535			
(2) 医業外収益	3,386,975			
(うち国・都道府県補助金)	2,093,952			
(うち他会計補助・負担金)	757,388			
(うち長期前受金戻入)	255,877			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	996,037			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,783,954			
2 経常費用	19,483,743			
(1) 医業費用	18,162,405			
職員給与費	8,876,994	49.2	62.1	55.8
材料費	5,710,350	31.6	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,659,923	14.7	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,948,329	16.3	11.4	13.0
減価償却費	576,187	3.2	9.5	8.7
経費	2,963,424	16.4	22.7	19.7
(うち委託料)	1,987,783	11.0	12.6	12.6
研究研修費	34,635			
資産減耗費	815			
(2) 医業外費用	1,321,338			
(うち支払利息)	253,383	1.4	1.3	1.2
(3) 特別損失	300,211			
損益				
経常損益	1,950,341			
純損益	2,646,167			
累積欠損金	12,416,445			
経常収支比率	110.0		101.9	102.5
医業収支比率	99.4		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.2		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	6.1		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	4.9		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	104.3		89.3	93.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,086,762
1 固定資産	8,634,730
(1) 有形固定資産	8,234,261
(2) 無形固定資産	49,358
(3) 投資その他の資産	351,111
2 流動資産	4,452,032
(1) 現金及び預金	143,438
(2) 未収金及び未収収益	4,281,030
(3) 貸倒引当金( )	17,674
(4) 貯蔵品	44,638
3 繰延資産	-
負債合計	23,467,199
1 固定負債	15,485,016
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,381,431
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,400,113
(7) リース債務	703,472
2 流動負債	7,100,534
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,335,545
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	592,869
(6) リース債務	281,096
(7) 一時借入金	3,700,000
(8) 未払金及び未払費用	1,114,811
(9) 前受金及び前受収益	11,124
3 繰延収益	881,649
(1) 長期前受金	10,875,013
(2) 長期前受金収益化累計額( )	9,993,364
資本合計	-10,380,437
1 資本金	2,799,168
2 剰余金	-13,179,605
(1) 資本金剰余金	551,349
(2) 利益剰余金	-13,730,954
負債・資本合計	13,086,762
不良債務	1,312,957
実質資金不足額	1,312,957
資本不足額( )	10,380,437
資本不足額(繰延収益控除後)( )	9,498,788
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,102,228	1,103,923
資本勘定繰入	1,008,404	1,017,734
計	2,110,632	2,121,657

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	1,312,957	7.0
令和元年度	3,048,494	16.4
平成30年度	3,098,544	17.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.0
健全化法上の資金不足額(千円)	1,312,957
健全化法上の資金不足比率(%)	6.9
地財法上の資金不足額(千円)	1,312,957
地財法上の資金不足比率(%)	6.9

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	函館市				
病院名	市立函館恵山病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,928 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	60	61.3	64.2	58.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	61.3	64.2	58.1
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	251,084	
決算規模(千円)	165,232,192	
標準財政規模(千円)	70,386,099	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	93.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	46.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.4
修正医業収益(千円)	403,388

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	672,401			
1 経常収益	657,849			
(1) 医業収益	441,379			
入院収益	297,760			
外来収益	89,309			
診療収入計	387,069			
その他医業収益	54,310			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	216,470			
(うち国・都道府県補助金)	26,390			
(うち他会計補助・負担金)	178,309			
(うち長期前受金戻入)	10,613			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,552			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	656,847			
2 経常費用	653,362			
(1) 医業費用	626,773			
職員給与費	413,415	93.7	62.1	78.9
材料費	55,193	12.5	25.3	15.6
(うち薬品費)	25,409	5.8	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,784	6.7	11.4	6.0
減価償却費	36,243	8.2	9.5	11.7
経費	121,578	27.5	22.7	31.2
(うち委託料)	66,484	15.1	12.6	14.3
研究研修費	344			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	26,589			
(うち支払利息)	5,182	1.2	1.3	1.7
(3) 特別損失	3,485			
損益				
経常損益	4,487			
純損益	15,554			
累積欠損金	537,106			
経常収支比率	100.7		101.9	100.3
医業収支比率	70.4		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	32.9		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	49.0		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	32.2		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	67.6		89.3	76.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,086,762
1 固定資産	8,634,730
(1) 有形固定資産	8,234,261
(2) 無形固定資産	49,358
(3) 投資その他の資産	351,111
2 流動資産	4,452,032
(1) 現金及び預金	143,438
(2) 未収金及び未収収益	4,281,030
(3) 貸倒引当金( )	17,674
(4) 貯蔵品	44,638
3 繰延資産	-
負債合計	23,467,199
1 固定負債	15,485,016
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,381,431
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,400,113
(7) リース債務	703,472
2 流動負債	7,100,534
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,335,545
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	592,869
(6) リース債務	281,096
(7) 一時借入金	3,700,000
(8) 未払金及び未払費用	1,114,811
(9) 前受金及び前受収益	11,124
3 繰延収益	881,649
(1) 長期前受金	10,875,013
(2) 長期前受金収益化累計額( )	9,993,364
資本合計	-10,380,437
1 資本金	2,799,168
2 剰余金	-13,179,605
(1) 資本金剰余金	551,349
(2) 利益剰余金	-13,730,954
負債・資本合計	13,086,762
不良債務	1,312,957
実質資金不足額	1,312,957
資本不足額( )	10,380,437
資本不足額(繰延収益控除後)( )	9,498,788

備考：  
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	216,281	216,300
資本勘定繰入	19,115	19,935
計	235,396	236,235

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	1,312,957	7.0
令和元年度	3,048,494	16.4
平成30年度	3,098,544	17.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.0
健全化法上の資金不足額(千円)	1,312,957
健全化法上の資金不足比率(%)	6.9
地財法上の資金不足額(千円)	1,312,957
地財法上の資金不足比率(%)	6.9

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	函館市			
病院名	市立函館南茅部病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	2,898 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	4	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	15:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	37	56.9	57.6	48.5
療養	22	31.3	59.6	82.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	59	47.3	58.3	61.3
平均在院日数(一般病床のみ)		40.9	28.3	19.5

設立団体の状況		
人口(人)	251,084	
決算規模(千円)	165,232,192	
標準財政規模(千円)	70,386,099	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	93.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	46.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	51.6
修正医業収益(千円)	280,819

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	577,747			
1 経常収益	565,458			
(1) 医業収益	318,810			
入院収益	179,428			
外来収益	94,050			
診療収入計	273,478			
その他医業収益	45,332			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	246,648			
(うち国・都道府県補助金)	18,767			
(うち他会計補助・負担金)	225,792			
(うち長期前受金戻入)	43			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,289			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	564,105			
2 経常費用	560,923			
(1) 医業費用	544,342			
職員給与費	370,810	116.3	62.1	78.9
材料費	60,388	18.9	25.3	15.6
(うち薬品費)	31,582	9.9	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,326	6.4	11.4	6.0
減価償却費	2,919	0.9	9.5	11.7
経費	109,957	34.5	22.7	31.2
(うち委託料)	47,465	14.9	12.6	14.3
研究研修費	268			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	16,581			
(うち支払利息)	1,423	0.4	1.3	1.7
(3) 特別損失	3,182			
損益				
経常損益	4,535			
純損益	13,642			
累積欠損金	777,403			
経常収支比率	100.8		101.9	100.3
医業収支比率	58.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	46.6		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	82.7		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	45.7		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	53.8		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,086,762
1 固定資産	8,634,730
(1) 有形固定資産	8,234,261
(2) 無形固定資産	49,358
(3) 投資その他の資産	351,111
2 流動資産	4,452,032
(1) 現金及び預金	143,438
(2) 未収金及び未収収益	4,281,030
(3) 貸倒引当金( )	17,674
(4) 貯蔵品	44,638
3 繰延資産	-
負債合計	23,467,199
1 固定負債	15,485,016
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,381,431
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,400,113
(7) リース債務	703,472
2 流動負債	7,100,534
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,335,545
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	592,869
(6) リース債務	281,096
(7) 一時借入金	3,700,000
(8) 未払金及び未払費用	1,114,811
(9) 前受金及び前受収益	11,124
3 繰延収益	881,649
(1) 長期前受金	10,875,013
(2) 長期前受金収益化累計額( )	9,993,364
資本合計	-10,380,437
1 資本金	2,799,168
2 剰余金	-13,179,605
(1) 資本金剰余金	551,349
(2) 利益剰余金	-13,730,954
負債・資本合計	13,086,762
不良債務	1,312,957
実質資金不足額	1,312,957
資本不足額( )	10,380,437
資本不足額(繰延収益控除後)( )	9,498,788

備考:  
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	263,767	263,783
資本勘定繰入	8,313	9,031
計	272,080	272,814

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	1,312,957	7.0
令和元年度	3,048,494	16.4
平成30年度	3,098,544	17.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.0
健全化法上の資金不足額(千円)	1,312,957
健全化法上の資金不足比率(%)	6.9
地財法上の資金不足額(千円)	1,312,957
地財法上の資金不足比率(%)	6.9

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	小樽市				
病院名	小樽病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,893 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨 感 災 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	302	75.4	91.0	92.4
療養	-	-	-	-
結核	4	24.2	20.7	26.5
精神	80	72.2	70.7	78.5
感染症	2	50.0	8.5	-
計	388	74.1	85.7	88.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	12.8	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	111,299	
決算規模(千円)	72,124,848	
標準財政規模(千円)	31,703,283	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	96.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	34.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.9
修正医業収益(千円)	8,619,676

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,428,827			
1 経常収益	11,223,122			
(1) 医業収益	9,125,926			
入院収益	5,913,150			
外来収益	2,560,495			
診療収入計	8,473,645			
その他医業収益	652,281			
(うち他会計負担金)	506,250			
(2) 医業外収益	2,097,196			
(うち国・都道府県補助金)	1,385,648			
(うち他会計補助・負担金)	587,117			
(うち長期前受金戻入)	46,635			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	205,705			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,815,353			
2 経常費用	11,604,513			
(1) 医業費用	11,057,996			
職員給与費	5,730,555	62.8	62.1	63.5
材料費	2,372,411	26.0	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,101,391	12.1	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,271,020	13.9	11.4	11.8
減価償却費	963,771	10.6	9.5	10.0
経費	1,951,375	21.4	22.7	21.7
(うち委託料)	1,149,932	12.6	12.6	12.2
研究研修費	25,217			
資産減耗費	14,667			
(2) 医業外費用	546,517			
(うち支払利息)	32,772	0.4	1.3	1.4
(3) 特別損失	210,840			
損益				
経常損益	-381,391			
純損益	-386,526			
累積欠損金	11,814,922			
経常収支比率	96.7		101.9	101.7
医業収支比率	82.5		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.7		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.0		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	9.6		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	87.3		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,009,829
1 固定資産	10,605,116
(1) 有形固定資産	10,529,181
(2) 無形固定資産	1,175
(3) 投資その他の資産	74,760
2 流動資産	2,404,713
(1) 現金及び預金	430,160
(2) 未収金及び未収収益	1,935,103
(3) 貸倒引当金( )	4,371
(4) 貯蔵品	43,821
3 繰延資産	-
負債合計	16,742,393
1 固定負債	13,586,172
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,292,071
(2) その他の企業債	800,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,494,101
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,284,148
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	689,886
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	321,945
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	200,000
(8) 未払金及び未払費用	1,031,499
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	872,073
(1) 長期前受金	1,900,669
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,028,596
資本合計	-3,732,564
1 資本金	7,241,601
2 剰余金	-10,974,165
(1) 資本金剰余金	840,757
(2) 利益剰余金	-11,814,922
負債・資本合計	13,009,829
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	3,732,564
資本不足額(繰延収益控除後)( )	2,860,491
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,093,202	1,093,367
資本勘定繰入	325,757	401,248
計	1,418,959	1,494,615

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	267,986	2.6
平成30年度	72,985	0.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	129.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	旭川市				
病院名	市立旭川病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	43,805 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が感 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	372	54.7	62.0	66.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	71.3	81.6	86.1
感染症	6	23.5	4.6	-
計	478	57.8	65.4	69.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.8	12.2	11.9

設立団体の状況		
人口(人)	329,306	
決算規模(千円)	199,990,621	
標準財政規模(千円)	82,202,539	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	85.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.7
修正医業収益(千円)	9,308,622

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,894,162			
1 経常収益	12,377,129			
(1) 医業収益	9,477,702			
入院収益	6,080,793			
外来収益	3,031,252			
診療収入計	9,112,045			
その他医業収益	365,657			
(うち他会計負担金)	169,080			
(2) 医業外収益	2,899,427			
(うち国・都道府県補助金)	1,654,333			
(うち他会計補助・負担金)	780,701			
(うち長期前受金戻入)	294,502			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	517,033			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,502,472			
2 経常費用	11,280,902			
(1) 医業費用	10,991,521			
職員給与費	5,830,282	61.5	62.1	59.8
材料費	2,902,450	30.6	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,985,458	20.9	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	916,992	9.7	11.4	12.4
減価償却費	497,275	5.2	9.5	8.2
経費	1,711,467	18.1	22.7	19.2
(うち委託料)	1,036,956	10.9	12.6	10.2
研究研修費	26,862			
資産減耗費	23,185			
(2) 医業外費用	289,381			
(うち支払利息)	20,093	0.2	1.3	1.2
(3) 特別損失	221,570			
損益				
経常損益	1,096,227			
純損益	1,391,690			
累積欠損金	14,279,772			
経常収支比率	109.7		101.9	103.7
医業収支比率	86.2		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	10.0		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	7.4		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	101.3		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,956,660
1 固定資産	8,692,521
(1) 有形固定資産	7,605,536
(2) 無形固定資産	1,771
(3) 投資その他の資産	1,085,214
2 流動資産	2,264,139
(1) 現金及び預金	271,809
(2) 未収金及び未収収益	1,892,092
(3) 貸倒引当金( )	44,839
(4) 貯蔵品	144,954
3 繰延資産	-
負債合計	15,311,026
1 固定負債	11,473,321
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,930,603
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,542,718
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,937,558
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	885,527
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	365,197
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	700,000
(8) 未払金及び未払費用	951,475
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	900,147
(1) 長期前受金	7,743,349
(2) 長期前受金収益化累計額( )	6,843,202
資本合計	-4,354,366
1 資本金	9,925,406
2 剰余金	-14,279,772
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-14,279,772
負債・資本合計	10,956,660
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	4,354,366
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,454,219
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	799,781	949,781
資本勘定繰入	545,360	565,130
計	1,345,141	1,514,911

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	928,559	9.7
平成30年度	795,622	7.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	150.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	室蘭市				
病院名	総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	37,036 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨 感 災 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	401	68.5	75.6	79.4
療養	-	-	-	-
結核	24	11.6	6.8	6.8
精神	120	68.3	68.8	68.5
感染症	4	-	-	-
計	549	65.4	70.6	73.3
平均在院日数(一般病床のみ)		18.1	18.5	18.5

設立団体の状況		
人口(人)	82,383	
決算規模(千円)	54,929,972	
標準財政規模(千円)	22,911,749	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	52.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.9
修正医業収益(千円)	7,856,487

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,629,432			
1 経常収益	9,627,549			
(1) 医業収益	7,931,191			
入院収益	5,855,341			
外来収益	1,840,966			
診療収入計	7,696,307			
その他医業収益	234,884			
(うち他会計負担金)	74,704			
(2) 医業外収益	1,696,358			
(うち国・都道府県補助金)	715,257			
(うち他会計補助・負担金)	883,488			
(うち長期前受金戻入)	13,505			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,883			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,680,665			
2 経常費用	9,641,387			
(1) 医業費用	9,146,437			
職員給与費	5,079,361	64.0	62.1	55.8
材料費	1,773,432	22.4	25.3	29.8
(うち薬品費)	823,778	10.4	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	864,407	10.9	11.4	13.0
減価償却費	575,304	7.3	9.5	8.7
経費	1,697,916	21.4	22.7	19.7
(うち委託料)	900,118	11.3	12.6	12.6
研究研修費	13,669			
資産減耗費	6,755			
(2) 医業外費用	494,950			
(うち支払利息)	144,326	1.8	1.3	1.2
(3) 特別損失	39,278			
損益				
経常損益	-13,838			
純損益	-51,233			
累積欠損金	16,155,647			
経常収支比率	99.9		101.9	102.5
医業収支比率	86.7		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	10.0		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	12.1		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	10.0		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	89.9		89.3	93.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,590,245
1 固定資産	8,406,418
(1) 有形固定資産	8,272,524
(2) 無形固定資産	2,894
(3) 投資その他の資産	131,000
2 流動資産	2,183,827
(1) 現金及び預金	393,354
(2) 未収金及び未収収益	1,753,061
(3) 貸倒引当金( )	14,408
(4) 貯蔵品	51,820
3 繰延資産	-
負債合計	11,350,642
1 固定負債	7,626,609
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,595,589
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,031,020
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,491,144
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,155,345
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	297,142
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,500,000
(8) 未払金及び未払費用	490,076
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	232,889
(1) 長期前受金	741,618
(2) 長期前受金収益化累計額( )	508,729
資本合計	-760,397
1 資本金	15,395,250
2 剰余金	-16,155,647
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-16,155,647
負債・資本合計	10,590,245
不良債務	158,234
実質資金不足額	158,234
資本不足額( )	760,397
資本不足額(繰延収益控除後)( )	527,508
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	942,626	958,192
資本勘定繰入	656,313	660,795
計	1,598,939	1,618,987

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	158,234	2.0
令和元年度	337,593	4.1
平成30年度	145,693	1.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	203.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	158,234
地財法上の資金不足比率(%)	1.9

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	釧路市				
病院名	市立釧路総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	46,668 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨が感へ災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	535	72.3	82.9	81.3
療養	-	-	-	-
結核	10	6.3	12.7	39.8
精神	94	38.8	52.4	56.6
感染症	4	0.3	0.8	-
計	643	65.9	76.9	76.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	12.0	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	165,077	
決算規模(千円)	116,996,919	
標準財政規模(千円)	49,360,230	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	70.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,302,547			
1 経常収益	18,944,299			
(1) 医業収益	14,494,525			
入院収益	9,457,637			
外来収益	4,568,757			
診療収入計	14,026,394			
その他医業収益	468,131			
(うち他会計負担金)	324,685			
(2) 医業外収益	4,449,774			
(うち国・都道府県補助金)	3,164,018			
(うち他会計補助・負担金)	1,076,437			
(うち長期前受金戻入)	37,899			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	358,248			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,396,044			
2 経常費用	16,976,764			
(1) 医業費用	16,012,488			
職員給与費	7,865,558	54.3	62.1	55.8
材料費	4,158,538	28.7	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,336,763	16.1	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,809,273	12.5	11.4	13.0
減価償却費	1,075,826	7.4	9.5	8.7
経費	2,899,019	20.0	22.7	19.7
(うち委託料)	1,778,854	12.3	12.6	12.6
研究研修費	13,224			
資産減耗費	323			
(2) 医業外費用	964,276			
(うち支払利息)	114,867	0.8	1.3	1.2
(3) 特別損失	419,280			
損益				
経常損益	1,967,535			
純損益	1,906,503			
累積欠損金	-			
経常収支比率	111.6		101.9	102.5
医業収支比率	90.5		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.4		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	9.7		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	7.3		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	103.3		89.3	93.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,768,664
1 固定資産	11,419,916
(1) 有形固定資産	10,813,599
(2) 無形固定資産	4,478
(3) 投資その他の資産	601,839
2 流動資産	7,348,748
(1) 現金及び預金	3,562,172
(2) 未収金及び未収収益	3,685,323
(3) 貸倒引当金( )	10,409
(4) 貯蔵品	66,612
3 繰延資産	-
負債合計	15,465,754
1 固定負債	11,351,380
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,145,735
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,205,645
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,292,456
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	635,078
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	470,065
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,127,624
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	821,918
(1) 長期前受金	5,032,546
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,210,628
資本合計	3,302,910
1 資本金	1,288,219
2 剰余金	2,014,691
(1) 資本金剰余金	66,788
(2) 利益剰余金	1,947,903
負債・資本合計	18,768,664
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.5
修正医業収益(千円)	14,169,840

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,401,122	1,401,122
資本勘定繰入	305,617	-
計	1,706,739	1,401,122

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	北見市		
病院名	北見市国民健康保険常呂病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	115,480	
決算規模(千円)	91,729,456	
標準財政規模(千円)	35,470,061	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	158.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	1,285			
1 経常収益	1,285			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,285			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,285			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,285			
2 経常費用	1,285			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	-	-	9.5	13.0
経費	-	-	22.7	47.1
(うち委託料)	-	-	12.6	22.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,285			
(うち支払利息)	1,285	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	98.5
医業収支比率	-		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	-		89.3	64.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	1,285
資本勘定繰入	-	5,921
計	-	7,206

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	岩見沢市				
病院名	総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透末ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,927 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	365	59.1	68.0	72.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	115	70.3	79.5	78.5
感染症	4	-	7.3	-
計	484	61.3	70.2	73.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	16.0	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	79,306	
決算規模(千円)	59,907,165	
標準財政規模(千円)	24,204,187	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	70.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.0
修正医業収益(千円)	9,738,011

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,135,548			
1 経常収益	11,940,176			
(1) 医業収益	10,048,351			
入院収益	4,839,923			
外来収益	4,713,826			
診療収入計	9,553,749			
その他医業収益	494,602			
(うち他会計負担金)	310,340			
(2) 医業外収益	1,891,825			
(うち国・都道府県補助金)	1,249,439			
(うち他会計補助・負担金)	543,638			
(うち長期前受金戻入)	13,252			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	195,372			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,821,042			
2 経常費用	11,618,753			
(1) 医業費用	10,942,865			
職員給与費	4,894,458	48.7	62.1	59.8
材料費	3,602,598	35.9	25.3	27.7
(うち薬品費)	2,602,411	25.9	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	984,922	9.8	11.4	12.4
減価償却費	619,331	6.2	9.5	8.2
経費	1,796,773	17.9	22.7	19.2
(うち委託料)	894,397	8.9	12.6	10.2
研究研修費	23,904			
資産減耗費	5,801			
(2) 医業外費用	675,888			
(うち支払利息)	32,306	0.3	1.3	1.2
(3) 特別損失	202,289			
損益				
経常損益	321,423			
純損益	314,506			
累積欠損金	2,260,709			
経常収支比率	102.8		101.9	103.7
医業収支比率	91.8		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	7.2		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	8.5		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	7.0		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	95.4		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,865,365
1 固定資産	5,200,854
(1) 有形固定資産	5,165,538
(2) 無形固定資産	5,630
(3) 投資その他の資産	29,686
2 流動資産	4,664,511
(1) 現金及び預金	2,475,995
(2) 未収金及び未収収益	2,139,868
(3) 貸倒引当金( )	372
(4) 貯蔵品	48,520
3 繰延資産	-
負債合計	6,620,359
1 固定負債	4,125,138
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,145,517
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,979,621
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,920,296
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	534,841
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	352,540
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	992,901
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	574,925
(1) 長期前受金	1,213,443
(2) 長期前受金収益化累計額( )	638,518
資本合計	3,245,006
1 資本金	4,410,560
2 剰余金	-1,165,554
(1) 資本金剰余金	132,559
(2) 利益剰余金	-1,298,113
負債・資本合計	9,865,365
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	992,858	853,978
資本勘定繰入	313,672	-
計	1,306,530	853,978

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	岩見沢市				
病院名	栗沢病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,174 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	85	74.1	68.0	68.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	85	74.1	68.0	68.2
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	79,306	
決算規模(千円)	59,907,165	
標準財政規模(千円)	24,204,187	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	70.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.6
修正医業収益(千円)	503,394

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	680,474			
1 経常収益	676,065			
(1) 医業収益	564,890			
入院収益	350,116			
外来収益	136,715			
診療収入計	486,831			
その他医業収益	78,059			
(うち他会計負担金)	61,496			
(2) 医業外収益	111,175			
(うち国・都道府県補助金)	6,414			
(うち他会計補助・負担金)	98,504			
(うち長期前受金戻入)	2,436			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,409			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	744,990			
2 経常費用	740,581			
(1) 医業費用	713,187			
職員給与費	426,773	75.5	62.1	78.9
材料費	121,664	21.5	25.3	15.6
(うち薬品費)	95,333	16.9	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,275	3.6	11.4	6.0
減価償却費	20,205	3.6	9.5	11.7
経費	144,029	25.5	22.7	31.2
(うち委託料)	61,712	10.9	12.6	14.3
研究研修費	516			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	27,394			
(うち支払利息)	796	0.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	4,409			
損益				
経常損益	-64,516			
純損益	-64,516			
累積欠損金	895,330			
経常収支比率	91.3		101.9	100.3
医業収支比率	79.2		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	23.7		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	28.3		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	23.5		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	69.7		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,865,365
1 固定資産	5,200,854
(1) 有形固定資産	5,165,538
(2) 無形固定資産	5,630
(3) 投資その他の資産	29,686
2 流動資産	4,664,511
(1) 現金及び預金	2,475,995
(2) 未収金及び未収収益	2,139,868
(3) 貸倒引当金( )	372
(4) 貯蔵品	48,520
3 繰延資産	-
負債合計	6,620,359
1 固定負債	4,125,138
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,145,517
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,979,621
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,920,296
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	534,841
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	352,540
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	992,901
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	574,925
(1) 長期前受金	1,213,443
(2) 長期前受金収益化累計額( )	638,518
資本合計	3,245,006
1 資本金	4,410,560
2 剰余金	-1,165,554
(1) 資本金剰余金	132,559
(2) 利益剰余金	-1,298,113
負債・資本合計	9,865,365
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	185,456	160,000
資本勘定繰入	11,314	-
計	196,770	160,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	留萌市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	22,146 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	246	58.0	74.4	72.7
療養	50	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	300	47.6	61.0	59.6
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	17.0	16.7

設立団体の状況		
人口(人)	20,114	
決算規模(千円)	16,759,511	
標準財政規模(千円)	7,622,449	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	94.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	56.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.4
修正医業収益(千円)	3,771,418

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,289,100			
1 経常収益	6,150,541			
(1) 医業収益	3,958,110			
入院収益	2,338,077			
外来収益	1,265,573			
診療収入計	3,603,650			
その他医業収益	354,460			
(うち他会計負担金)	186,692			
(2) 医業外収益	2,192,431			
(うち国・都道府県補助金)	1,321,273			
(うち他会計補助・負担金)	555,305			
(うち長期前受金戻入)	89,617			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	138,559			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,707,422			
2 経常費用	5,594,164			
(1) 医業費用	5,282,615			
職員給与費	2,561,036	64.7	62.1	63.5
材料費	810,596	20.5	25.3	24.9
(うち薬品費)	356,684	9.0	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	450,859	11.4	11.4	11.8
減価償却費	332,897	8.4	9.5	10.0
経費	1,563,886	39.5	22.7	21.7
(うち委託料)	909,082	23.0	12.6	12.2
研究研修費	9,393			
資産減耗費	4,807			
(2) 医業外費用	311,549			
(うち支払利息)	74,909	1.9	1.3	1.4
(3) 特別損失	113,258			
損益				
経常損益	556,377			
純損益	581,678			
累積欠損金	10,710,552			
経常収支比率	109.9		101.9	101.7
医業収支比率	74.9		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	12.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	18.7		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	11.8		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	96.7		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,272,333
1 固定資産	4,858,048
(1) 有形固定資産	4,850,350
(2) 無形固定資産	1,858
(3) 投資その他の資産	5,840
2 流動資産	1,414,285
(1) 現金及び預金	410,091
(2) 未収金及び未収収益	983,799
(3) 貸倒引当金( )	8,017
(4) 貯蔵品	28,246
3 繰延資産	-
負債合計	8,090,699
1 固定負債	5,629,692
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,633,388
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	996,304
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,653,980
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	564,267
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	159,752
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	530,000
(8) 未払金及び未払費用	377,401
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	807,027
(1) 長期前受金	1,332,584
(2) 長期前受金収益化累計額( )	525,557
資本合計	-1,818,366
1 資本金	7,418,202
2 剰余金	-9,236,568
(1) 資本金剰余金	1,473,984
(2) 利益剰余金	-10,710,552
負債・資本合計	6,272,333
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	1,818,366
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,011,339
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	734,716	741,997
資本勘定繰入	306,231	369,880
計	1,040,947	1,111,877

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	440,896	9.9
平成30年度	352,311	8.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	270.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	苫小牧市				
病院名	苫小牧市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,323 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨 感 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	378	57.1	72.8	71.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	39.7	5.8	2.1
計	382	57.0	72.1	70.9
平均在院日数(一般病床のみ)		9.8	9.7	9.6

設立団体の状況		
人口(人)	170,113	
決算規模(千円)	101,574,598	
標準財政規模(千円)	40,325,061	
財政力指数	0.79	
経常収支比率(%)	89.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	65.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.0
修正医業収益(千円)	7,587,283

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,655,394			
1 経常収益	11,619,244			
(1) 医業収益	7,987,166			
入院収益	4,867,744			
外来収益	2,380,669			
診療収入計	7,248,413			
その他医業収益	738,753			
(うち他会計負担金)	399,883			
(2) 医業外収益	3,632,078			
(うち国・都道府県補助金)	2,253,518			
(うち他会計補助・負担金)	713,676			
(うち長期前受金戻入)	540,196			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	36,150			
(うち他会計繰入金)	36,150			
総費用	10,695,079			
2 経常費用	10,626,649			
(1) 医業費用	10,110,140			
職員給与費	5,023,534	62.9	62.1	63.5
材料費	1,790,351	22.4	25.3	24.9
(うち薬品費)	869,569	10.9	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	861,253	10.8	11.4	11.8
減価償却費	891,090	11.2	9.5	10.0
経費	2,365,639	29.6	22.7	21.7
(うち委託料)	1,155,334	14.5	12.6	12.2
研究研修費	22,640			
資産減耗費	16,886			
(2) 医業外費用	516,509			
(うち支払利息)	170,736	2.1	1.3	1.4
(3) 特別損失	68,430			
損益				
経常損益	992,595			
純損益	960,315			
累積欠損金	7,576,891			
経常収支比率	109.3		101.9	101.7
医業収支比率	79.0		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.6		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	13.9		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	9.9		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	98.9		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,059,862
1 固定資産	9,121,943
(1) 有形固定資産	8,533,330
(2) 無形固定資産	4,617
(3) 投資その他の資産	583,996
2 流動資産	1,937,919
(1) 現金及び預金	69,951
(2) 未収金及び未収収益	1,826,423
(3) 貸倒引当金( )	8,875
(4) 貯蔵品	50,420
3 繰延資産	-
負債合計	14,400,117
1 固定負債	10,265,157
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,093,151
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,148,581
(7) リース債務	23,425
2 流動負債	2,933,830
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	769,903
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	346,227
(6) リース債務	13,252
(7) 一時借入金	1,298,178
(8) 未払金及び未払費用	460,583
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,201,130
(1) 長期前受金	6,969,527
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,768,397
資本合計	-3,340,255
1 資本金	4,188,458
2 剰余金	-7,528,713
(1) 資本金剰余金	48,178
(2) 利益剰余金	-7,576,891
負債・資本合計	11,059,862
不良債務	226,008
実質資金不足額	226,008
資本不足額( )	3,340,255
資本不足額(繰延収益控除後)( )	2,139,125
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,075,726	1,149,709
資本勘定繰入	456,945	456,945
計	1,532,671	1,606,654

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	226,008	2.8
令和元年度	1,295,982	14.3
平成30年度	1,160,831	12.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	94.9
健全化法上の資金不足額(千円)	226,008
健全化法上の資金不足比率(%)	2.8
地財法上の資金不足額(千円)	226,008
地財法上の資金不足比率(%)	2.8

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	稚内市				
病院名	稚内病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	20,356 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	258	42.4	55.6	53.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	70	51.0	67.8	69.3
感染症	4	51.0	-	-
計	332	44.3	57.5	56.5
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	10.8	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	33,563	
決算規模(千円)	33,448,927	
標準財政規模(千円)	12,807,266	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.3
	将来負担比率(%)	58.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.0
修正医業収益(千円)	4,455,025

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,095,940			
1 経常収益	6,969,905			
(1) 医業収益	4,698,627			
入院収益	2,274,528			
外来収益	2,043,295			
診療収入計	4,317,823			
その他医業収益	380,804			
(うち他会計負担金)	243,602			
(2) 医業外収益	2,271,278			
(うち国・都道府県補助金)	883,738			
(うち他会計補助・負担金)	1,359,064			
(うち長期前受金戻入)	6,794			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	126,035			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,051,850			
2 経常費用	6,874,058			
(1) 医業費用	6,546,818			
職員給与費	3,405,037	72.5	62.1	63.5
材料費	1,280,249	27.2	25.3	24.9
(うち薬品費)	755,109	16.1	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	525,140	11.2	11.4	11.8
減価償却費	339,903	7.2	9.5	10.0
経費	1,496,691	31.9	22.7	21.7
(うち委託料)	580,466	12.4	12.6	12.2
研究研修費	10,722			
資産減耗費	14,216			
(2) 医業外費用	327,240			
(うち支払利息)	6,345	0.1	1.3	1.4
(3) 特別損失	177,792			
損益				
経常損益	95,847			
純損益	44,090			
累積欠損金	9,173,137			
経常収支比率	101.4		101.9	101.7
医業収支比率	71.8		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	23.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	34.1		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	22.6		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	78.1		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,152,201
1 固定資産	4,827,201
(1) 有形固定資産	4,397,928
(2) 無形固定資産	3,279
(3) 投資その他の資産	425,994
2 流動資産	1,325,000
(1) 現金及び預金	221,804
(2) 未収金及び未収収益	933,441
(3) 貸倒引当金( )	2,074
(4) 貯蔵品	1,298
3 繰延資産	-
負債合計	5,219,963
1 固定負債	3,598,441
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,917,188
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,671,784
(7) リース債務	9,469
2 流動負債	1,252,227
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	332,234
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	251,517
(6) リース債務	6,236
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	359,384
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	369,295
(1) 長期前受金	1,100,101
(2) 長期前受金収益化累計額( )	730,806
資本合計	932,238
1 資本金	9,772,198
2 剰余金	-8,839,960
(1) 資本金剰余金	673,256
(2) 利益剰余金	-9,513,216
負債・資本合計	6,152,201
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,400,717	1,602,666
資本勘定繰入	179,506	258,602
計	1,580,223	1,861,268

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	195.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	稚内市			
病院名	稚内こまどり病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	4,570 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	1	指定病院の状況		
許可公営企業		看護配置	20:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	45	76.0	69.9	66.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	76.0	69.9	66.4
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	33,563	
決算規模(千円)	33,448,927	
標準財政規模(千円)	12,807,266	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.3
	将来負担比率(%)	58.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	54.2
修正医業収益(千円)	177,090

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	319,050			
1 経常収益	316,394			
(1) 医業収益	177,090			
入院収益	131,783			
外来収益	35,744			
診療収入計	167,527			
その他医業収益	9,563			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	139,304			
(うち国・都道府県補助金)	5,100			
(うち他会計補助・負担金)	129,750			
(うち長期前受金戻入)	3,370			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,656			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	340,442			
2 経常費用	337,761			
(1) 医業費用	326,453			
職員給与費	207,317	117.1	62.1	89.0
材料費	12,857	7.3	25.3	14.0
(うち薬品費)	8,484	4.8	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	4,373	2.5	11.4	5.4
減価償却費	6,759	3.8	9.5	13.0
経費	99,459	56.2	22.7	47.1
(うち委託料)	46,079	26.0	12.6	22.5
研究研修費	61			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	11,308			
(うち支払利息)	63	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	2,681			
損益				
経常損益	-21,367			
純損益	-21,392			
累積欠損金	340,079			
経常収支比率	93.7		101.9	98.5
医業収支比率	54.2		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	41.0		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	73.3		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	40.7		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	55.3		89.3	64.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,152,201
1 固定資産	4,827,201
(1) 有形固定資産	4,397,928
(2) 無形固定資産	3,279
(3) 投資その他の資産	425,994
2 流動資産	1,325,000
(1) 現金及び預金	221,804
(2) 未収金及び未収収益	933,441
(3) 貸倒引当金( )	2,074
(4) 貯蔵品	1,298
3 繰延資産	-
負債合計	5,219,963
1 固定負債	3,598,441
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,917,188
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,671,784
(7) リース債務	9,469
2 流動負債	1,252,227
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	332,234
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	251,517
(6) リース債務	6,236
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	359,384
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	369,295
(1) 長期前受金	1,100,101
(2) 長期前受金収益化累計額( )	730,806
資本合計	932,238
1 資本金	9,772,198
2 剰余金	-8,839,960
(1) 資本金剰余金	673,256
(2) 利益剰余金	-9,513,216
負債・資本合計	6,152,201
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	129,741	129,750
資本勘定繰入	966	1,432
計	130,707	131,182

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	195.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	美唄市				
病院名	市立美唄病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,261 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	53	34.4	54.8	56.6
療養	45	65.8	74.0	68.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	48.8	63.6	62.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.4	15.8	17.8

設立団体の状況		
人口(人)	20,413	
決算規模(千円)	19,779,548	
標準財政規模(千円)	8,674,503	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	99.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	118.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.0
修正医業収益(千円)	955,030

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,413,786			
1 経常収益	1,409,605			
(1) 医業収益	1,099,040			
入院収益	447,755			
外来収益	457,428			
診療収入計	905,183			
その他医業収益	193,857			
(うち他会計負担金)	144,010			
(2) 医業外収益	310,565			
(うち国・都道府県補助金)	28,060			
(うち他会計補助・負担金)	275,494			
(うち長期前受金戻入)	388			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,181			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,399,666			
2 経常費用	1,388,395			
(1) 医業費用	1,345,500			
職員給与費	804,572	73.2	62.1	78.9
材料費	143,809	13.1	25.3	15.6
(うち薬品費)	75,212	6.8	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	54,930	5.0	11.4	6.0
減価償却費	36,419	3.3	9.5	11.7
経費	359,037	32.7	22.7	31.2
(うち委託料)	81,382	7.4	12.6	14.3
研究研修費	1,198			
資産減耗費	465			
(2) 医業外費用	42,895			
(うち支払利息)	808	0.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	11,271			
損益				
経常損益	21,210			
純損益	14,120			
累積欠損金	2,158,402			
経常収支比率	101.5		101.9	100.3
医業収支比率	81.7		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	29.8		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	38.2		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	29.7		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	71.3		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,342,028
1 固定資産	572,219
(1) 有形固定資産	557,647
(2) 無形固定資産	522
(3) 投資その他の資産	14,050
2 流動資産	769,809
(1) 現金及び預金	574,077
(2) 未収金及び未収収益	194,425
(3) 貸倒引当金( )	212
(4) 貯蔵品	1,519
3 繰延資産	-
負債合計	1,108,618
1 固定負債	889,924
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	292,529
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	597,395
(7) リース債務	-
2 流動負債	190,486
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	41,213
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	62,150
(6) リース債務	399
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	81,173
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	28,208
(1) 長期前受金	86,190
(2) 長期前受金収益化累計額( )	57,982
資本合計	233,410
1 資本金	2,385,991
2 剰余金	-2,152,581
(1) 資本金剰余金	5,821
(2) 利益剰余金	-2,158,402
負債・資本合計	1,342,028
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	419,504	419,504
資本勘定繰入	24,620	33,277
計	444,124	452,781

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	196.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	芦別市			
病院名	芦別病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	12,574 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	13	指定病院の状況	救 輪	
許可公営企業	許可	看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	69.0	61.2	43.3
療養	39	59.0	72.7	82.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	65.0	65.3	52.7
平均在院日数(一般病床のみ)		23.0	22.3	23.4

設立団体の状況		
人口(人)	12,555	
決算規模(千円)	12,230,004	
標準財政規模(千円)	6,032,589	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.5
	将来負担比率(%)	91.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,901,890			
1 経常収益	1,752,259			
(1) 医業収益	1,348,321			
入院収益	651,876			
外来収益	538,443			
診療収入計	1,190,319			
その他医業収益	158,002			
(うち他会計負担金)	120,150			
(2) 医業外収益	403,938			
(うち国・都道府県補助金)	77,453			
(うち他会計補助・負担金)	238,381			
(うち長期前受金戻入)	74,025			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	149,631			
(うち他会計繰入金)	100,000			
総費用	1,936,438			
2 経常費用	1,885,101			
(1) 医業費用	1,815,636			
職員給与費	943,877	70.0	62.1	78.9
材料費	240,534	17.8	25.3	15.6
(うち薬品費)	124,031	9.2	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	116,503	8.6	11.4	6.0
減価償却費	147,621	10.9	9.5	11.7
経費	479,834	35.6	22.7	31.2
(うち委託料)	210,184	15.6	12.6	14.3
研究研修費	1,636			
資産減耗費	2,134			
(2) 医業外費用	69,465			
(うち支払利息)	4,990	0.4	1.3	1.7
(3) 特別損失	51,337			
損益				
経常損益	-132,842			
純損益	-34,548			
累積欠損金	1,346,019			
経常収支比率	93.0		101.9	100.3
医業収支比率	74.3		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	20.5		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	26.6		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	24.1		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	73.9		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,067,169
1 固定資産	1,733,129
(1) 有形固定資産	1,628,403
(2) 無形固定資産	1,582
(3) 投資その他の資産	103,144
2 流動資産	334,040
(1) 現金及び預金	38,753
(2) 未収金及び未収収益	294,738
(3) 貸倒引当金( )	162
(4) 貯蔵品	550
3 繰延資産	-
負債合計	2,017,247
1 固定負債	531,463
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	405,417
(2) その他の企業債	122,547
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	3,499
2 流動負債	734,999
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	79,801
(2) その他の企業債	8,753
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	61,124
(6) リース債務	5,985
(7) 一時借入金	470,000
(8) 未払金及び未払費用	102,369
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	750,785
(1) 長期前受金	3,305,783
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,554,998
資本合計	49,922
1 資本金	1,219,123
2 剰余金	-1,169,201
(1) 資本金剰余金	176,818
(2) 利益剰余金	-1,346,019
負債・資本合計	2,067,169
不良債務	321,158
実質資金不足額	321,158
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.6
修正医業収益(千円)	1,228,171

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	358,531	458,531
資本勘定繰入	48,751	53,176
計	407,282	511,707

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	321,158	23.8
令和元年度	404,265	28.7
平成30年度	314,225	23.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	99.8
健全化法上の資金不足額(千円)	41,077
健全化法上の資金不足比率(%)	3.0
地財法上の資金不足額(千円)	443,705
地財法上の資金不足比率(%)	32.9

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	江別市			
病院名	市立病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透末訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	25,989 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	22	指定病院の状況	救臨	
許可公営企業	許可	看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	300床以上~400床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	278	67.9	63.4	62.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	59	79.5	44.5	39.6
感染症	-	-	-	-
計	337	69.5	59.5	58.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	12.0	13.0

設立団体の状況		
人口(人)	121,056	
決算規模(千円)	58,982,728	
標準財政規模(千円)	25,451,905	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	92.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	16.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.1
修正医業収益(千円)	4,721,285

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,751,223			
1 経常収益	5,719,197			
(1) 医業収益	5,095,277			
入院収益	2,901,885			
外来収益	1,552,259			
診療収入計	4,454,144			
その他医業収益	641,133			
(うち他会計負担金)	373,992			
(2) 医業外収益	623,920			
(うち国・都道府県補助金)	14,634			
(うち他会計補助・負担金)	567,966			
(うち長期前受金戻入)	4,765			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	32,026			
(うち他会計繰入金)	32,026			
総費用	6,468,118			
2 経常費用	6,419,205			
(1) 医業費用	6,123,157			
職員給与費	3,205,960	62.9	62.1	63.5
材料費	834,893	16.4	25.3	24.9
(うち薬品費)	413,888	8.1	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	417,627	8.2	11.4	11.8
減価償却費	498,385	9.8	9.5	10.0
経費	1,561,059	30.6	22.7	21.7
(うち委託料)	772,869	15.2	12.6	12.2
研究研修費	12,885			
資産減耗費	9,975			
(2) 医業外費用	296,048			
(うち支払利息)	84,833	1.7	1.3	1.4
(3) 特別損失	48,913			
損益				
経常損益	-700,008			
純損益	-716,895			
累積欠損金	11,908,344			
経常収支比率	89.1		101.9	101.7
医業収支比率	83.2		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	16.5		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	18.5		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	16.9		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	74.4		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,239,677
1 固定資産	7,040,061
(1) 有形固定資産	7,038,128
(2) 無形固定資産	853
(3) 投資その他の資産	1,080
2 流動資産	1,199,616
(1) 現金及び預金	402,199
(2) 未収金及び未収収益	796,295
(3) 貸倒引当金( )	11,227
(4) 貯蔵品	12,349
3 繰延資産	-
負債合計	9,636,997
1 固定負債	6,586,154
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,651,923
(2) その他の企業債	607,500
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,275,563
(6) 引当金	51,168
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,815,304
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	728,736
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	220,111
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,250,000
(8) 未払金及び未払費用	593,590
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	235,539
(1) 長期前受金	341,268
(2) 長期前受金収益化累計額( )	105,729
資本合計	-1,397,320
1 資本金	10,464,446
2 剰余金	-11,861,766
(1) 資本金剰余金	46,578
(2) 利益剰余金	-11,908,344
負債・資本合計	8,239,677
不良債務	886,952
実質資金不足額	886,952
資本不足額( )	1,397,320
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,161,781
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	832,685	973,984
資本勘定繰入	475,118	491,161
計	1,307,803	1,465,145

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	886,952	17.4
令和元年度	1,038,324	21.5
平成30年度	1,416,548	27.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	233.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	1,494,452
地財法上の資金不足比率(%)	29.3

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	赤平市				
病院名	あかびら市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	14,451 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	83.9	86.8	87.6
療養	60	85.2	74.2	83.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	84.5	80.5	85.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	14.6	14.9

設立団体の状況		
人口(人)	9,698	
決算規模(千円)	11,179,880	
標準財政規模(千円)	4,783,538	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	106.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.8
修正医業収益(千円)	1,642,476

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,565,351			
1 経常収益	2,456,121			
(1) 医業収益	1,906,795			
入院収益	1,097,276			
外来収益	473,824			
診療収入計	1,571,100			
その他医業収益	335,695			
(うち他会計負担金)	264,319			
(2) 医業外収益	549,326			
(うち国・都道府県補助金)	150,804			
(うち他会計補助・負担金)	237,945			
(うち長期前受金戻入)	150,248			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	109,230			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,259,469			
2 経常費用	2,207,410			
(1) 医業費用	2,111,825			
職員給与費	1,063,177	55.8	62.1	67.4
材料費	220,396	11.6	25.3	17.7
(うち薬品費)	109,823	5.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	109,860	5.8	11.4	8.8
減価償却費	249,461	13.1	9.5	10.7
経費	574,320	30.1	22.7	29.2
(うち委託料)	257,921	13.5	12.6	13.9
研究研修費	2,279			
資産減耗費	2,192			
(2) 医業外費用	95,585			
(うち支払利息)	33,732	1.8	1.3	1.5
(3) 特別損失	52,059			
損益				
経常損益	248,711			
純損益	305,882			
累積欠損金	1,237,205			
経常収支比率	111.3		101.9	100.3
医業収支比率	90.3		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	20.4		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	26.3		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	19.6		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	88.5		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,594,679
1 固定資産	4,995,628
(1) 有形固定資産	4,803,387
(2) 無形固定資産	819
(3) 投資その他の資産	191,422
2 流動資産	1,599,051
(1) 現金及び預金	1,185,451
(2) 未収金及び未収収益	409,481
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	4,119
3 繰延資産	-
負債合計	5,504,328
1 固定負債	3,666,446
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,141,567
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,524,879
(7) リース債務	-
2 流動負債	617,032
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	505,831
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	99,612
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,220,850
(1) 長期前受金	2,456,274
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,235,424
資本合計	1,090,351
1 資本金	2,101,698
2 剰余金	-1,011,347
(1) 資本金剰余金	225,858
(2) 利益剰余金	-1,237,205
負債・資本合計	6,594,679
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	469,679	502,264
資本勘定繰入	279,958	345,628
計	749,637	847,892

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	64.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	士別市				
病院名	士別市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	15,895 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	75.7	75.0	76.1
療養	88	83.0	77.0	79.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	148	80.0	76.2	77.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	15.2	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	17,858	
決算規模(千円)	19,003,068	
標準財政規模(千円)	9,975,089	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.5
	将来負担比率(%)	136.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,282,197			
1 経常収益	3,277,247			
(1) 医業収益	2,465,517			
入院収益	1,264,945			
外来収益	881,368			
診療収入計	2,146,313			
その他医業収益	319,204			
(うち他会計負担金)	176,493			
(2) 医業外収益	811,730			
(うち国・都道府県補助金)	112,006			
(うち他会計補助・負担金)	439,425			
(うち長期前受金戻入)	213,865			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,950			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,266,695			
2 経常費用	3,264,430			
(1) 医業費用	3,152,221			
職員給与費	1,636,922	66.4	62.1	67.4
材料費	363,571	14.7	25.3	17.7
(うち薬品費)	99,900	4.1	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	235,496	9.6	11.4	8.8
減価償却費	237,256	9.6	9.5	10.7
経費	903,174	36.6	22.7	29.2
(うち委託料)	369,144	15.0	12.6	13.9
研究研修費	7,113			
資産減耗費	4,185			
(2) 医業外費用	112,209			
(うち支払利息)	2,135	0.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	2,265			
損益				
経常損益	12,817			
純損益	15,502			
累積欠損金	1,147,247			
経常収支比率	100.4		101.9	100.3
医業収支比率	78.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	18.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	25.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	18.8		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	81.5		89.3	84.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,877,730
1 固定資産	2,034,409
(1) 有形固定資産	1,965,435
(2) 無形固定資産	1,954
(3) 投資その他の資産	67,020
2 流動資産	843,321
(1) 現金及び預金	232,497
(2) 未収金及び未収収益	601,731
(3) 貸倒引当金( )	1,325
(4) 貯蔵品	10,418
3 繰延資産	-
負債合計	3,406,452
1 固定負債	729,677
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	698,853
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	30,824
2 流動負債	517,825
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	136,474
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	122,531
(6) リース債務	13,255
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	230,083
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,158,950
(1) 長期前受金	3,359,521
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,200,571
資本合計	-528,722
1 資本金	149,058
2 剰余金	-677,780
(1) 資本金剰余金	469,467
(2) 利益剰余金	-1,147,247
負債・資本合計	2,877,730
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	528,722
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.6
修正医業収益(千円)	2,289,024

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	506,699	615,918
資本勘定繰入	72,669	148,355
計	579,368	764,273

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	46.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	名寄市				
病院名	総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	27,127 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	300	64.7	73.1	74.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	55	88.0	89.2	84.3
感染症	4	0.2	0.3	-
計	359	67.5	74.7	75.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.3	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	27,282	
決算規模(千円)	25,314,547	
標準財政規模(千円)	12,841,195	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	92.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	19.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.5
修正医業収益(千円)	8,089,221

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,328,238			
1 経常収益	10,098,285			
(1) 医業収益	8,498,556			
入院収益	5,418,517			
外来収益	2,524,993			
診療収入計	7,943,510			
その他医業収益	555,046			
(うち他会計負担金)	409,335			
(2) 医業外収益	1,599,729			
(うち国・都道府県補助金)	805,841			
(うち他会計補助・負担金)	492,218			
(うち長期前受金戻入)	56,965			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	229,953			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,331,270			
2 経常費用	10,110,577			
(1) 医業費用	9,688,330			
職員給与費	5,253,859	61.8	62.1	63.5
材料費	2,412,553	28.4	25.3	24.9
(うち薬品費)	860,718	10.1	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,474,010	17.3	11.4	11.8
減価償却費	584,222	6.9	9.5	10.0
経費	1,315,671	15.5	22.7	21.7
(うち委託料)	392,489	4.6	12.6	12.2
研究研修費	30,651			
資産減耗費	91,374			
(2) 医業外費用	422,247			
(うち支払利息)	44,538	0.5	1.3	1.4
(3) 特別損失	220,693			
損益				
経常損益	-12,292			
純損益	-3,032			
累積欠損金	5,790,331			
経常収支比率	99.9		101.9	101.7
医業収支比率	87.7		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	8.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.6		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	8.7		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	91.0		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,685,139
1 固定資産	8,996,623
(1) 有形固定資産	8,838,896
(2) 無形固定資産	23,699
(3) 投資その他の資産	134,028
2 流動資産	2,688,516
(1) 現金及び預金	479,259
(2) 未収金及び未収収益	2,126,343
(3) 貸倒引当金( )	2,214
(4) 貯蔵品	84,628
3 繰延資産	-
負債合計	9,092,723
1 固定負債	5,157,410
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,809,651
(2) その他の企業債	73,041
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,274,718
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,470,453
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	833,175
(2) その他の企業債	14,943
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	357,205
(6) リース債務	823
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	823,854
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,464,860
(1) 長期前受金	2,473,855
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,008,995
資本合計	2,592,416
1 資本金	7,555,289
2 剰余金	-4,962,873
(1) 資本金剰余金	601,333
(2) 利益剰余金	-5,564,206
負債・資本合計	11,685,139
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	901,553	901,553
資本勘定繰入	454,031	424,671
計	1,355,584	1,326,224

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	61.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	名寄市				
病院名	名寄東病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,895 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	105	86.1	70.1	70.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	86.1	70.1	70.5
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	27,282	
決算規模(千円)	25,314,547	
標準財政規模(千円)	12,841,195	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	92.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	19.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	704,557			
1 経常収益	704,542			
(1) 医業収益	519,317			
入院収益	485,906			
外来収益	21,505			
診療収入計	507,411			
その他医業収益	11,906			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	185,225			
(うち国・都道府県補助金)	7,458			
(うち他会計補助・負担金)	167,692			
(うち長期前受金戻入)	8,483			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	15			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	704,391			
2 経常費用	704,391			
(1) 医業費用	682,392			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	29,222	5.6	9.5	10.7
経費	653,170	125.8	22.7	29.2
(うち委託料)	210,968	40.6	12.6	13.9
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	-	-	-	-
(2) 医業外費用	21,999			
(うち支払利息)	79	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	151			
純損益	166			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	76.1		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	23.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	32.3		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	23.8		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	76.2		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,685,139
1 固定資産	8,996,623
(1) 有形固定資産	8,838,896
(2) 無形固定資産	23,699
(3) 投資その他の資産	134,028
2 流動資産	2,688,516
(1) 現金及び預金	479,259
(2) 未収金及び未収収益	2,126,343
(3) 貸倒引当金( )	2,214
(4) 貯蔵品	84,628
3 繰延資産	-
負債合計	9,092,723
1 固定負債	5,157,410
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,809,651
(2) その他の企業債	73,041
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,274,718
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,470,453
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	833,175
(2) その他の企業債	14,943
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	357,205
(6) リース債務	823
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	823,854
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,464,860
(1) 長期前受金	2,473,855
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,008,995
資本合計	2,592,416
1 資本金	7,555,289
2 剰余金	-4,962,873
(1) 資本金剰余金	601,333
(2) 利益剰余金	-5,564,206
負債・資本合計	11,685,139
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.1
修正医業収益(千円)	519,317

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	167,692	167,692
資本勘定繰入	-	-
計	167,692	167,692

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	61.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	三笠市				
病院名	三笠総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,780 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	91	41.0	49.5	58.6
療養	43	68.8	74.6	80.3
結核	-	-	-	-
精神	65	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	52.3	59.1	67.0
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	25.6	19.9

設立団体の状況		
人口(人)	8,040	
決算規模(千円)	11,853,046	
標準財政規模(千円)	4,943,277	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	97.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	29.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,008,271			
1 経常収益	1,536,474			
(1) 医業収益	925,657			
入院収益	475,617			
外来収益	282,716			
診療収入計	758,333			
その他医業収益	167,324			
(うち他会計負担金)	144,323			
(2) 医業外収益	610,817			
(うち国・都道府県補助金)	120,483			
(うち他会計補助・負担金)	444,887			
(うち長期前受金戻入)	14,939			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	471,797			
(うち他会計繰入金)	442,000			
総費用	1,925,279			
2 経常費用	1,925,279			
(1) 医業費用	1,907,380			
職員給与費	1,003,140	108.4	62.1	67.4
材料費	147,500	15.9	25.3	17.7
(うち薬品費)	42,354	4.6	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	89,405	9.7	11.4	8.8
減価償却費	92,109	10.0	9.5	10.7
経費	661,004	71.4	22.7	29.2
(うち委託料)	203,347	22.0	12.6	13.9
研究研修費	2,063			
資産減耗費	1,564			
(2) 医業外費用	17,899			
(うち支払利息)	977	0.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-388,805			
純損益	82,992			
累積欠損金	1,311,841			
経常収支比率	79.8		101.9	100.3
医業収支比率	48.5		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	38.3		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	63.7		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	51.3		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	49.2		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,330,761
1 固定資産	977,915
(1) 有形固定資産	956,689
(2) 無形固定資産	246
(3) 投資その他の資産	20,980
2 流動資産	352,846
(1) 現金及び預金	169,288
(2) 未収金及び未収収益	181,165
(3) 貸倒引当金( )	124
(4) 貯蔵品	2,517
3 繰延資産	-
負債合計	1,602,431
1 固定負債	902,627
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	239,173
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	663,454
(7) リース債務	-
2 流動負債	318,159
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	66,914
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	63,389
(6) リース債務	799
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	107,317
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	381,645
(1) 長期前受金	2,050,643
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,668,998
資本合計	-271,670
1 資本金	961,565
2 剰余金	-1,233,235
(1) 資本金剰余金	78,606
(2) 利益剰余金	-1,311,841
負債・資本合計	1,330,761
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	271,670
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	41.0
修正医業収益(千円)	781,334

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	236,047	1,031,210
資本勘定繰入	41,304	51,969
計	277,351	1,083,179

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	141.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	根室市				
病院名	根室病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	13,281 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救感災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	131	71.6	80.5	81.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	24.0	0.6	-
計	135	70.2	78.1	79.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.0	16.1	16.4

設立団体の状況		
人口(人)	24,636	
決算規模(千円)	40,118,081	
標準財政規模(千円)	9,242,687	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	59.9
修正医業収益(千円)	2,778,782

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,867,604			
1 経常収益	4,802,195			
(1) 医業収益	2,900,519			
入院収益	1,376,321			
外来収益	1,327,383			
診療収入計	2,703,704			
その他医業収益	196,815			
(うち他会計負担金)	121,737			
(2) 医業外収益	1,901,676			
(うち国・都道府県補助金)	374,070			
(うち他会計補助・負担金)	1,191,444			
(うち長期前受金戻入)	312,243			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	65,409			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,826,545			
2 経常費用	4,824,060			
(1) 医業費用	4,641,059			
職員給与費	2,192,095	75.6	62.1	67.4
材料費	775,999	26.8	25.3	17.7
(うち薬品費)	430,995	14.9	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	345,004	11.9	11.4	8.8
減価償却費	350,389	12.1	9.5	10.7
経費	1,289,388	44.5	22.7	29.2
(うち委託料)	478,876	16.5	12.6	13.9
研究研修費	29,483			
資産減耗費	3,705			
(2) 医業外費用	183,001			
(うち支払利息)	4,425	0.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	2,485			
損益				
経常損益	-21,865			
純損益	41,059			
累積欠損金	2,665,376			
経常収支比率	99.5		101.9	100.3
医業収支比率	62.5		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	27.3		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	45.3		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	27.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	72.3		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,269,764
1 固定資産	3,525,888
(1) 有形固定資産	3,517,586
(2) 無形固定資産	742
(3) 投資その他の資産	7,560
2 流動資産	743,876
(1) 現金及び預金	64,668
(2) 未収金及び未収収益	660,412
(3) 貸倒引当金( )	4,089
(4) 貯蔵品	18,472
3 繰延資産	-
負債合計	6,408,253
1 固定負債	3,622,476
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,626,155
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	845,782
(7) リース債務	150,539
2 流動負債	952,362
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	208,486
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	147,351
(6) リース債務	55,402
(7) 一時借入金	80,000
(8) 未払金及び未払費用	231,136
(9) 前受金及び前受収益	190,503
3 繰延収益	1,833,415
(1) 長期前受金	2,298,540
(2) 長期前受金収益化累計額( )	465,125
資本合計	-2,138,489
1 資本金	335,757
2 剰余金	-2,474,246
(1) 資本金剰余金	191,130
(2) 利益剰余金	-2,665,376
負債・資本合計	4,269,764
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	2,138,489
資本不足額(繰延収益控除後)( )	305,074
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	888,967	1,313,181
資本勘定繰入	126,892	253,782
計	1,015,859	1,566,963

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	25,999	0.9
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	91.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	千歳市				
病院名	千歳市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透   未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,590 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	190	56.7	71.6	77.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	190	56.7	71.6	77.9
平均在院日数(一般病床のみ)		8.8	8.6	9.1

設立団体の状況		
人口(人)	97,950	
決算規模(千円)	66,968,881	
標準財政規模(千円)	24,043,568	
財政力指数	0.78	
経常収支比率(%)	90.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	16.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,001,873			
1 経常収益	5,992,873			
(1) 医業収益	4,814,037			
入院収益	2,547,312			
外来収益	1,508,138			
診療収入計	4,055,450			
その他医業収益	758,587			
(うち他会計負担金)	466,983			
(2) 医業外収益	1,178,836			
(うち国・都道府県補助金)	556,142			
(うち他会計補助・負担金)	568,923			
(うち長期前受金戻入)	27,632			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,148,102			
2 経常費用	6,141,517			
(1) 医業費用	5,842,539			
職員給与費	3,280,534	68.1	62.1	67.4
材料費	1,033,148	21.5	25.3	17.7
(うち薬品費)	417,787	8.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	615,361	12.8	11.4	8.8
減価償却費	357,202	7.4	9.5	10.7
経費	1,145,004	23.8	22.7	29.2
(うち委託料)	519,804	10.8	12.6	13.9
研究研修費	13,190			
資産減耗費	13,461			
(2) 医業外費用	298,978			
(うち支払利息)	88,679	1.8	1.3	1.5
(3) 特別損失	6,585			
損益				
経常損益	-148,644			
純損益	-146,229			
累積欠損金	3,108,977			
経常収支比率	97.6		101.9	100.3
医業収支比率	82.4		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	17.3		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	21.5		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	17.3		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	80.7		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,136,264
1 固定資産	5,669,080
(1) 有形固定資産	5,452,900
(2) 無形固定資産	1,881
(3) 投資その他の資産	214,299
2 流動資産	2,467,184
(1) 現金及び預金	1,294,855
(2) 未収金及び未収収益	1,132,406
(3) 貸倒引当金( )	270
(4) 貯蔵品	40,188
3 繰延資産	-
負債合計	7,509,047
1 固定負債	5,852,807
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,630,808
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,221,999
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,343,134
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	410,608
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	205,225
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	725,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	313,106
(1) 長期前受金	505,315
(2) 長期前受金収益化累計額( )	192,209
資本合計	627,217
1 資本金	3,633,367
2 剰余金	-3,006,150
(1) 資本金剰余金	102,827
(2) 利益剰余金	-3,108,977
負債・資本合計	8,136,264
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.4
修正医業収益(千円)	4,347,054

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,044,315	1,035,906
資本勘定繰入	289,488	-
計	1,333,803	1,035,906

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	64.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	滝川市			
病院名	市立病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	24,080 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	13	指定病院の状況	救臨 輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	300床以上~400床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	270	53.7	73.9	67.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	44	49.8	57.0	62.1
感染症	-	-	-	-
計	314	53.2	71.1	66.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	14.9	16.4

設立団体の状況		
人口(人)	39,490	
決算規模(千円)	26,693,154	
標準財政規模(千円)	11,613,265	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	68.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.9
修正医業収益(千円)	4,967,277

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,209,237			
1 経常収益	7,078,335			
(1) 医業収益	5,318,298			
入院収益	2,850,203			
外来収益	1,969,000			
診療収入計	4,819,203			
その他医業収益	499,095			
(うち他会計負担金)	351,021			
(2) 医業外収益	1,760,037			
(うち国・都道府県補助金)	637,859			
(うち他会計補助・負担金)	841,947			
(うち長期前受金戻入)	24,335			
(うち資本費繰入収益)	191,634			
(3) 特別利益	130,902			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,950,495			
2 経常費用	6,819,593			
(1) 医業費用	6,546,063			
職員給与費	3,308,115	62.2	62.1	63.5
材料費	1,336,298	25.1	25.3	24.9
(うち薬品費)	708,136	13.3	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	580,858	10.9	11.4	11.8
減価償却費	557,289	10.5	9.5	10.0
経費	1,261,283	23.7	22.7	21.7
(うち委託料)	467,043	8.8	12.6	12.2
研究研修費	19,007			
資産減耗費	64,071			
(2) 医業外費用	273,530			
(うち支払利息)	142,080	2.7	1.3	1.4
(3) 特別損失	130,902			
損益				
経常損益	258,742			
純損益	258,742			
累積欠損金	4,260,779			
経常収支比率	103.8		101.9	101.7
医業収支比率	81.2		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	16.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	22.4		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	16.5		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	86.3		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,866,717
1 固定資産	6,753,469
(1) 有形固定資産	6,731,241
(2) 無形固定資産	2,068
(3) 投資その他の資産	20,160
2 流動資産	1,113,248
(1) 現金及び預金	77,125
(2) 未収金及び未収収益	1,027,483
(3) 貸倒引当金( )	1,890
(4) 貯蔵品	10,530
3 繰延資産	-
負債合計	10,364,710
1 固定負債	8,006,330
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,998,684
(2) その他の企業債	410,688
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	596,958
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,657,096
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	494,882
(2) その他の企業債	15,211
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	218,247
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	600,000
(8) 未払金及び未払費用	302,562
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	701,284
(1) 長期前受金	940,924
(2) 長期前受金収益化累計額( )	239,640
資本合計	-2,497,993
1 資本金	1,316,316
2 剰余金	-3,814,309
(1) 資本金剰余金	71,470
(2) 利益剰余金	-3,885,779
負債・資本合計	7,866,717
不良債務	48,966
実質資金不足額	48,966
資本不足額( )	2,497,993
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,796,709
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,292,738	1,192,968
資本勘定繰入	245,812	231,589
計	1,538,550	1,424,557

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	48,966	0.9
令和元年度	850,901	15.7
平成30年度	472,649	8.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	80.1
健全化法上の資金不足額(千円)	33,755
健全化法上の資金不足比率(%)	0.6
地財法上の資金不足額(千円)	459,655
地財法上の資金不足比率(%)	8.6

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	砂川市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	53,186 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感へ災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	408	71.3	78.4	83.1
療養	-	-	-	-
結核	6	10.3	13.4	31.1
精神	80	59.5	72.7	71.7
感染症	4	36.2	3.6	-
計	498	68.4	76.1	80.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	12.0	12.6

設立団体の状況		
人口(人)	16,486	
決算規模(千円)	18,511,572	
標準財政規模(千円)	6,917,140	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	83.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.5
	将来負担比率(%)	73.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,167,404			
1 経常収益	13,817,414			
(1) 医業収益	11,790,038			
入院収益	8,074,967			
外来収益	3,208,867			
診療収入計	11,283,834			
その他医業収益	506,204			
(うち他会計負担金)	259,539			
(2) 医業外収益	2,027,376			
(うち国・都道府県補助金)	943,611			
(うち他会計補助・負担金)	882,400			
(うち長期前受金戻入)	49,737			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	349,990			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,254,929			
2 経常費用	13,913,444			
(1) 医業費用	13,670,053			
職員給与費	7,021,746	59.6	62.1	59.8
材料費	3,375,756	28.6	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,530,417	13.0	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,739,312	14.8	11.4	12.4
減価償却費	905,278	7.7	9.5	8.2
経費	2,326,729	19.7	22.7	19.2
(うち委託料)	983,024	8.3	12.6	10.2
研究研修費	31,646			
資産減耗費	8,898			
(2) 医業外費用	243,391			
(うち支払利息)	80,959	0.7	1.3	1.2
(3) 特別損失	341,485			
損益				
経常損益	-96,030			
純損益	-87,525			
累積欠損金	7,195,978			
経常収支比率	99.3		101.9	103.7
医業収支比率	86.2		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	8.3		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	9.7		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	8.1		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	91.1		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,097,286
1 固定資産	13,255,147
(1) 有形固定資産	12,742,949
(2) 無形固定資産	3,362
(3) 投資その他の資産	508,836
2 流動資産	3,842,139
(1) 現金及び預金	1,561,321
(2) 未収金及び未収収益	2,273,573
(3) 貸倒引当金( )	3,396
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	14,767,930
1 固定負債	11,135,204
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,105,235
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	29,969
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,047,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,040,001
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	469,459
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	471,326
(9) 前受金及び前受収益	6,835
3 繰延収益	1,585,063
(1) 長期前受金	2,228,510
(2) 長期前受金収益化累計額( )	643,447
資本合計	2,329,356
1 資本金	8,101,530
2 剰余金	-5,772,174
(1) 資本金剰余金	379,330
(2) 利益剰余金	-6,151,504
負債・資本合計	17,097,286
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.3
修正医業収益(千円)	11,530,499

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,593,592	1,141,939
資本勘定繰入	565,267	509,982
計	3,158,859	1,651,921

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	61.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名 北海道
市町村・組合名	歌志内市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,998 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	2	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	20:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	60	78.8	76.6	81.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	78.8	76.6	81.9
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,989	
決算規模(千円)	4,779,042	
標準財政規模(千円)	2,247,110	
財政力指数	0.11	
経常収支比率(%)	91.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.6
修正医業収益(千円)	393,229

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	618,458			
1 経常収益	603,858			
(1) 医業収益	393,229			
入院収益	298,463			
外来収益	64,726			
診療収入計	363,189			
その他医業収益	30,040			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	210,629			
(うち国・都道府県補助金)	5,112			
(うち他会計補助・負担金)	201,693			
(うち長期前受金戻入)	3,297			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,600			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	598,963			
2 経常費用	584,363			
(1) 医業費用	557,053			
職員給与費	221,497	56.3	62.1	78.9
材料費	54,861	14.0	25.3	15.6
(うち薬品費)	19,141	4.9	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,399	7.2	11.4	6.0
減価償却費	37,166	9.5	9.5	11.7
経費	242,959	61.8	22.7	31.2
(うち委託料)	81,547	20.7	12.6	14.3
研究研修費	471			
資産減耗費	99			
(2) 医業外費用	27,310			
(うち支払利息)	4,148	1.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	14,600			
損益				
経常損益	19,495			
純損益	19,495			
累積欠損金	798,201			
経常収支比率	103.3		101.9	100.3
医業収支比率	70.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	33.4		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	51.3		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	32.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	68.8		89.3	76.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,041,549
1 固定資産	413,762
(1) 有形固定資産	413,498
(2) 無形固定資産	264
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	627,787
(1) 現金及び預金	566,774
(2) 未収金及び未収収益	57,823
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	3,190
3 繰延資産	-
負債合計	459,275
1 固定負債	291,885
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	291,885
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	80,790
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,931
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	15,231
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	29,805
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	86,600
(1) 長期前受金	140,505
(2) 長期前受金収益化累計額( )	53,905
資本合計	582,274
1 資本金	1,367,976
2 剰余金	-785,702
(1) 資本金剰余金	12,499
(2) 利益剰余金	-798,201
負債・資本合計	1,041,549
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	181,394	201,693
資本勘定繰入	17,335	17,335
計	198,729	219,028

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	203.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	深川市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,954 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨が感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	199	68.2	83.3	81.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	29.4	-	-
計	203	67.4	81.7	79.7
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	15.5	14.4

設立団体の状況		
人口(人)	20,039	
決算規模(千円)	18,639,766	
標準財政規模(千円)	9,010,416	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	84.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.6
	将来負担比率(%)	122.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.4
修正医業収益(千円)	3,411,122

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,789,186			
1 経常収益	4,789,177			
(1) 医業収益	3,520,542			
入院収益	2,095,141			
外来収益	1,173,834			
診療収入計	3,268,975			
その他医業収益	251,567			
(うち他会計負担金)	109,420			
(2) 医業外収益	1,268,635			
(うち国・都道府県補助金)	766,261			
(うち他会計補助・負担金)	428,154			
(うち長期前受金戻入)	6,196			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,762,098			
2 経常費用	4,751,035			
(1) 医業費用	4,466,412			
職員給与費	2,144,384	60.9	62.1	66.1
材料費	631,983	18.0	25.3	19.8
(うち薬品費)	339,020	9.6	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	292,963	8.3	11.4	9.3
減価償却費	429,802	12.2	9.5	10.2
経費	1,086,158	30.9	22.7	28.2
(うち委託料)	420,916	12.0	12.6	13.6
研究研修費	9,229			
資産減耗費	164,856			
(2) 医業外費用	284,623			
(うち支払利息)	118,050	3.4	1.3	1.6
(3) 特別損失	11,063			
損益				
経常損益	38,142			
純損益	27,088			
累積欠損金	9,549,505			
経常収支比率	100.8		101.9	99.9
医業収支比率	78.8		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	11.2		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	15.3		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	11.2		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	89.5		89.3	86.6

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,865,939
1 固定資産	5,665,044
(1) 有形固定資産	5,577,597
(2) 無形固定資産	1,863
(3) 投資その他の資産	85,584
2 流動資産	1,200,895
(1) 現金及び預金	390,711
(2) 未収金及び未収収益	773,087
(3) 貸倒引当金( )	1,744
(4) 貯蔵品	38,807
3 繰延資産	-
負債合計	8,048,963
1 固定負債	6,347,551
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,192,363
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	147,488
(6) 引当金	-
(7) リース債務	7,700
2 流動負債	1,550,329
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	568,103
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	155,552
(6) リース債務	4,077
(7) 一時借入金	600,000
(8) 未払金及び未払費用	195,261
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	151,083
(1) 長期前受金	263,894
(2) 長期前受金収益化累計額( )	112,811
資本合計	-1,183,024
1 資本金	7,500,643
2 剰余金	-8,683,667
(1) 資本金剰余金	865,838
(2) 利益剰余金	-9,549,505
負債・資本合計	6,865,939
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	1,183,024
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,031,941
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	472,889	537,574
資本勘定繰入	294,828	294,828
計	767,717	832,402

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	231,563	6.1
平成30年度	250,554	6.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	271.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	松前町				
病院名	松前病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,060 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	100	65.7	67.0	75.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	65.7	67.0	75.8
平均在院日数(一般病床のみ)		25.0	25.8	25.4

設立団体の状況		
人口(人)	6,260	
決算規模(千円)	6,162,428	
標準財政規模(千円)	3,640,236	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	83.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	29.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.5
修正医業収益(千円)	947,767

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,308,811			
1 経常収益	1,308,811			
(1) 医業収益	984,061			
入院収益	570,129			
外来収益	335,137			
診療収入計	905,266			
その他医業収益	78,795			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	324,750			
(うち国・都道府県補助金)	34,215			
(うち他会計補助・負担金)	231,892			
(うち長期前受金戻入)	26,859			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,380,447			
2 経常費用	1,375,826			
(1) 医業費用	1,324,942			
職員給与費	899,071	91.4	62.1	67.4
材料費	126,807	12.9	25.3	17.7
(うち薬品費)	75,513	7.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	51,294	5.2	11.4	8.8
減価償却費	45,026	4.6	9.5	10.7
経費	252,486	25.7	22.7	29.2
(うち委託料)	115,550	11.7	12.6	13.9
研究研修費	1,252			
資産減耗費	300			
(2) 医業外費用	50,884			
(うち支払利息)	1,634	0.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	4,621			
損益				
経常損益	-67,015			
純損益	-71,636			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.1		101.9	100.3
医業収支比率	74.3		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	20.5		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	27.3		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	20.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	75.6		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,667,618
1 固定資産	681,754
(1) 有形固定資産	665,399
(2) 無形固定資産	55
(3) 投資その他の資産	16,300
2 流動資産	985,864
(1) 現金及び預金	787,229
(2) 未収金及び未収収益	189,291
(3) 貸倒引当金( )	1,577
(4) 貯蔵品	10,921
3 繰延資産	-
負債合計	665,388
1 固定負債	158,273
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	147,152
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	11,121
2 流動負債	165,517
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,862
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	47,048
(6) リース債務	806
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	101,269
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	341,598
(1) 長期前受金	1,332,595
(2) 長期前受金収益化累計額( )	990,997
資本合計	1,002,230
1 資本金	646,298
2 剰余金	355,932
(1) 資本金剰余金	210,480
(2) 利益剰余金	145,452
負債・資本合計	1,667,618
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	272,534	268,186
資本勘定繰入	59,805	65,021
計	332,339	333,207

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	木古内町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,945 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	99	26.6	43.7	48.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	26.6	43.7	48.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	18.1	16.5

設立団体の状況		
人口(人)	3,832	
決算規模(千円)	5,398,508	
標準財政規模(千円)	2,723,710	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	94.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.3
	将来負担比率(%)	71.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	56.2
修正医業収益(千円)	717,412

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,010,993			
1 経常収益	1,978,174			
(1) 医業収益	760,479			
入院収益	321,314			
外来収益	362,380			
診療収入計	683,694			
その他医業収益	76,785			
(うち他会計負担金)	43,067			
(2) 医業外収益	1,217,695			
(うち国・都道府県補助金)	824,578			
(うち他会計補助・負担金)	305,897			
(うち長期前受金戻入)	76,624			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	32,819			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,353,937			
2 経常費用	1,326,928			
(1) 医業費用	1,275,614			
職員給与費	824,733	108.4	62.1	78.9
材料費	117,392	15.4	25.3	15.6
(うち薬品費)	54,406	7.2	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	62,986	8.3	11.4	6.0
減価償却費	138,365	18.2	9.5	11.7
経費	190,768	25.1	22.7	31.2
(うち委託料)	75,459	9.9	12.6	14.3
研究研修費	2,299			
資産減耗費	2,057			
(2) 医業外費用	51,314			
(うち支払利息)	17,732	2.3	1.3	1.7
(3) 特別損失	27,009			
損益				
経常損益	651,246			
純損益	657,056			
累積欠損金	-			
経常収支比率	149.1		101.9	100.3
医業収支比率	59.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	17.6		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	45.9		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	17.4		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	122.8		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,224,965
1 固定資産	1,815,175
(1) 有形固定資産	1,598,153
(2) 無形固定資産	2,824
(3) 投資その他の資産	214,198
2 流動資産	1,409,790
(1) 現金及び預金	707,725
(2) 未収金及び未収収益	684,954
(3) 貸倒引当金( )	673
(4) 貯蔵品	17,110
3 繰延資産	-
負債合計	1,679,934
1 固定負債	1,037,972
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	894,068
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	143,904
(7) リース債務	-
2 流動負債	319,159
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	189,109
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	69,351
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	57,680
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	322,803
(1) 長期前受金	1,965,549
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,642,746
資本合計	1,545,031
1 資本金	327,193
2 剰余金	1,217,838
(1) 資本金剰余金	57,903
(2) 利益剰余金	1,159,935
負債・資本合計	3,224,965
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	335,464	348,964
資本勘定繰入	94,559	94,559
計	430,023	443,523

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	森町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,984 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	47.6	55.2	71.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	47.6	55.2	71.2
平均在院日数(一般病床のみ)		22.7	24.3	25.6

設立団体の状況		
人口(人)	14,338	
決算規模(千円)	13,215,242	
標準財政規模(千円)	6,326,577	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	29.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.4
修正医業収益(千円)	568,207

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	989,275			
1 経常収益	971,675			
(1) 医業収益	604,501			
入院収益	344,913			
外来収益	189,939			
診療収入計	534,852			
その他医業収益	69,649			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	367,174			
(うち国・都道府県補助金)	86,943			
(うち他会計補助・負担金)	267,255			
(うち長期前受金戻入)	6,032			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	17,600			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	956,464			
2 経常費用	938,864			
(1) 医業費用	925,301			
職員給与費	607,136	100.4	62.1	78.9
材料費	80,377	13.3	25.3	15.6
(うち薬品費)	41,126	6.8	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,533	4.9	11.4	6.0
減価償却費	46,192	7.6	9.5	11.7
経費	191,033	31.6	22.7	31.2
(うち委託料)	53,372	8.8	12.6	14.3
研究研修費	489			
資産減耗費	74			
(2) 医業外費用	13,563			
(うち支払利息)	13,185	2.2	1.3	1.7
(3) 特別損失	17,600			
損益				
経常損益	32,811			
純損益	32,811			
累積欠損金	1,561,846			
経常収支比率	103.5		101.9	100.3
医業収支比率	65.3		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	31.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	50.2		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	30.7		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	71.2		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,176,205
1 固定資産	791,653
(1) 有形固定資産	791,344
(2) 無形固定資産	309
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	384,552
(1) 現金及び預金	215,464
(2) 未収金及び未収収益	179,033
(3) 貸倒引当金( )	18,946
(4) 貯蔵品	9,001
3 繰延資産	-
負債合計	528,927
1 固定負債	280,885
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	277,422
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	3,463
2 流動負債	188,654
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	113,274
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	37,087
(6) リース債務	2,152
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	32,596
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	59,388
(1) 長期前受金	188,043
(2) 長期前受金収益化累計額( )	128,655
資本合計	647,278
1 資本金	2,208,734
2 剰余金	-1,561,456
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,561,456
負債・資本合計	1,176,205
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	286,568	303,549
資本勘定繰入	70,373	70,373
計	356,941	373,922

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	258.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	八雲町		
病院名	八雲総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	23,850 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	17	指定病院の状況	救臨感へ災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	183	61.7	73.0	71.3
療養	40	85.1	89.8	90.6
結核	-	-	-	-
精神	100	82.9	88.8	89.3
感染症	4	34.2	3.2	-
計	327	70.7	79.0	78.1
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	15.0	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	15,826	
決算規模(千円)	21,146,116	
標準財政規模(千円)	7,939,735	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	91.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	16.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.1
修正医業収益(千円)	3,859,103

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,629,161			
1 経常収益	5,434,724			
(1) 医業収益	3,959,272			
入院収益	2,601,342			
外来収益	1,128,927			
診療収入計	3,730,269			
その他医業収益	229,003			
(うち他会計負担金)	100,169			
(2) 医業外収益	1,475,452			
(うち国・都道府県補助金)	674,874			
(うち他会計補助・負担金)	724,882			
(うち長期前受金戻入)	44,802			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	194,437			
(うち他会計繰入金)	14,932			
総費用	5,427,444			
2 経常費用	5,323,227			
(1) 医業費用	5,140,850			
職員給与費	2,811,957	71.0	62.1	63.5
材料費	753,761	19.0	25.3	24.9
(うち薬品費)	359,588	9.1	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	345,613	8.7	11.4	11.8
減価償却費	374,361	9.5	9.5	10.0
経費	1,195,942	30.2	22.7	21.7
(うち委託料)	177,647	4.5	12.6	12.2
研究研修費	4,131			
資産減耗費	698			
(2) 医業外費用	182,377			
(うち支払利息)	28,914	0.7	1.3	1.4
(3) 特別損失	104,217			
損益				
経常損益	111,497			
純損益	201,717			
累積欠損金	6,702,554			
経常収支比率	102.1		101.9	101.7
医業収支比率	77.0		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	15.2		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	20.8		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	14.9		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	86.6		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,173,581
1 固定資産	6,748,351
(1) 有形固定資産	6,610,159
(2) 無形固定資産	1,757
(3) 投資その他の資産	136,435
2 流動資産	2,425,230
(1) 現金及び預金	1,241,290
(2) 未収金及び未収収益	1,139,695
(3) 貸倒引当金( )	3,792
(4) 貯蔵品	48,037
3 繰延資産	-
負債合計	9,430,937
1 固定負債	6,793,584
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,436,422
(2) その他の企業債	922,514
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	431,648
(7) リース債務	-
2 流動負債	950,146
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	332,778
(2) その他の企業債	115,684
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	206,662
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	257,090
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,687,207
(1) 長期前受金	2,196,727
(2) 長期前受金収益化累計額( )	509,520
資本合計	-257,356
1 資本金	6,498,524
2 剰余金	-6,755,880
(1) 資本金剰余金	626,437
(2) 利益剰余金	-7,382,317
負債・資本合計	9,173,581
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	257,356
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	825,051	839,983
資本勘定繰入	161,773	424,171
計	986,824	1,264,154

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	158.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	八雲町		
病院名	八雲町熊石国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,262 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	99	49.9	56.1	50.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	49.9	56.1	50.8
平均在院日数(一般病床のみ)		57.1	55.7	52.6

設立団体の状況		
人口(人)	15,826	
決算規模(千円)	21,146,116	
標準財政規模(千円)	7,939,735	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	91.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	16.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.9
修正医業収益(千円)	652,331

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	841,438			
1 経常収益	814,375			
(1) 医業収益	697,952			
入院収益	362,055			
外来収益	274,295			
診療収入計	636,350			
その他医業収益	61,602			
(うち他会計負担金)	45,621			
(2) 医業外収益	116,423			
(うち国・都道府県補助金)	2,645			
(うち他会計補助・負担金)	98,349			
(うち長期前受金戻入)	10,320			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	27,063			
(うち他会計繰入金)	12,263			
総費用	901,050			
2 経常費用	885,729			
(1) 医業費用	848,351			
職員給与費	438,852	62.9	62.1	78.9
材料費	221,823	31.8	25.3	15.6
(うち薬品費)	189,725	27.2	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,098	4.6	11.4	6.0
減価償却費	40,778	5.8	9.5	11.7
経費	146,396	21.0	22.7	31.2
(うち委託料)	73,378	10.5	12.6	14.3
研究研修費	347			
資産減耗費	155			
(2) 医業外費用	37,378			
(うち支払利息)	3,071	0.4	1.3	1.7
(3) 特別損失	15,321			
損益				
経常損益	-71,354			
純損益	-59,612			
累積欠損金	679,763			
経常収支比率	91.9		101.9	100.3
医業収支比率	82.3		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	17.7		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	20.6		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	18.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	75.7		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,173,581
1 固定資産	6,748,351
(1) 有形固定資産	6,610,159
(2) 無形固定資産	1,757
(3) 投資その他の資産	136,435
2 流動資産	2,425,230
(1) 現金及び預金	1,241,290
(2) 未収金及び未収収益	1,139,695
(3) 貸倒引当金( )	3,792
(4) 貯蔵品	48,037
3 繰延資産	-
負債合計	9,430,937
1 固定負債	6,793,584
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,436,422
(2) その他の企業債	922,514
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	431,648
(7) リース債務	-
2 流動負債	950,146
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	332,778
(2) その他の企業債	115,684
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	206,662
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	257,090
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,687,207
(1) 長期前受金	2,196,727
(2) 長期前受金収益化累計額( )	509,520
資本合計	-257,356
1 資本金	6,498,524
2 剰余金	-6,755,880
(1) 資本金剰余金	626,437
(2) 利益剰余金	-7,382,317
負債・資本合計	9,173,581
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	257,356
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	142,510	156,233
資本勘定繰入	28,828	29,668
計	171,338	185,901

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	158.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	長万部町			
病院名	町立病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	3,669 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	5	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	13:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	30	30.4	45.4	50.4
療養	24	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	16.9	25.2	28.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	18.7	20.8

設立団体の状況		
人口(人)	5,109	
決算規模(千円)	6,316,064	
標準財政規模(千円)	3,087,921	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	86.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.9
	将来負担比率(%)	45.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	33.1
修正医業収益(千円)	206,609

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	618,758			
1 経常収益	604,851			
(1) 医業収益	242,679			
入院収益	78,590			
外来収益	99,628			
診療収入計	178,218			
その他医業収益	64,461			
(うち他会計負担金)	36,070			
(2) 医業外収益	362,172			
(うち国・都道府県補助金)	2,468			
(うち他会計補助・負担金)	356,428			
(うち長期前受金戻入)	1,340			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,907			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	639,395			
2 経常費用	625,488			
(1) 医業費用	624,311			
職員給与費	412,153	169.8	62.1	78.9
材料費	40,422	16.7	25.3	15.6
(うち薬品費)	29,663	12.2	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	10,759	4.4	11.4	6.0
減価償却費	29,589	12.2	9.5	11.7
経費	141,585	58.3	22.7	31.2
(うち委託料)	78,953	32.5	12.6	14.3
研究研修費	227			
資産減耗費	335			
(2) 医業外費用	1,177			
(うち支払利息)	251	0.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	13,907			
損益				
経常損益	-20,637			
純損益	-20,637			
累積欠損金	516,877			
経常収支比率	96.7		101.9	100.3
医業収支比率	38.9		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	64.9		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	161.7		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	63.4		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	33.9		89.3	76.7

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	546,848
1 固定資産	488,710
(1) 有形固定資産	487,907
(2) 無形固定資産	803
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	58,138
(1) 現金及び預金	12,803
(2) 未収金及び未収収益	37,189
(3) 貸倒引当金( )	21
(4) 貯蔵品	8,167
3 繰延資産	-
負債合計	110,483
1 固定負債	43,117
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	42,353
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	764
2 流動負債	57,951
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,145
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	26,529
(6) リース債務	1,587
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,246
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	9,415
(1) 長期前受金	66,091
(2) 長期前受金収益化累計額( )	56,676
資本合計	436,365
1 資本金	942,843
2 剰余金	-506,478
(1) 資本金剰余金	10,399
(2) 利益剰余金	-516,877
負債・資本合計	546,848
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	392,498	392,498
資本勘定繰入	2,502	2,502
計	395,000	395,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	213.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	厚沢部町			
病院名	国保病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	3,455 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	3	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	15:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	45	47.1	46.3	45.9
療養	24	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	69	30.7	30.2	29.9
平均在院日数(一般病床のみ)		41.7	34.6	31.3

設立団体の状況		
人口(人)	3,592	
決算規模(千円)	5,351,119	
標準財政規模(千円)	2,902,767	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	79.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.8
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	47.0
修正医業収益(千円)	228,423

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	499,047			
1 経常収益	487,647			
(1) 医業収益	292,508			
入院収益	132,500			
外来収益	68,868			
診療収入計	201,368			
その他医業収益	91,140			
(うち他会計負担金)	64,085			
(2) 医業外収益	195,139			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	175,563			
(うち長期前受金戻入)	14,721			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,400			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	498,995			
2 経常費用	487,595			
(1) 医業費用	486,460			
職員給与費	337,798	115.5	62.1	78.9
材料費	30,846	10.5	25.3	15.6
(うち薬品費)	11,409	3.9	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,437	6.6	11.4	6.0
減価償却費	21,464	7.3	9.5	11.7
経費	96,177	32.9	22.7	31.2
(うち委託料)	57,687	19.7	12.6	14.3
研究研修費	55			
資産減耗費	120			
(2) 医業外費用	1,135			
(うち支払利息)	-	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	11,400			
損益				
経常損益	52			
純損益	52			
累積欠損金	346,254			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	60.1		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	49.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	81.9		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	48.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	50.9		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	587,394
1 固定資産	373,870
(1) 有形固定資産	373,756
(2) 無形固定資産	114
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	213,524
(1) 現金及び預金	38,230
(2) 未収金及び未収収益	168,391
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	6,903
3 繰延資産	-
負債合計	250,770
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	40,553
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	18,559
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	12,512
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	210,217
(1) 長期前受金	870,462
(2) 長期前受金収益化累計額( )	660,245
資本合計	336,624
1 資本金	682,878
2 剰余金	-346,254
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-346,254
負債・資本合計	587,394
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	239,648	239,648
資本勘定繰入	25,958	51,917
計	265,606	291,565

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	118.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	乙部町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	1,784 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	58	35.6	31.4	38.1
療養	4	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	62	31.6	26.3	32.0
平均在院日数(一般病床のみ)		45.1	25.7	28.5

設立団体の状況		
人口(人)	3,403	
決算規模(千円)	4,797,931	
標準財政規模(千円)	2,380,912	
財政力指数	0.15	
経常収支比率(%)	69.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	46.7
修正医業収益(千円)	207,004

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	472,507			
1 経常収益	468,733			
(1) 医業収益	243,298			
入院収益	130,895			
外来収益	59,732			
診療収入計	190,627			
その他医業収益	52,671			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	225,435			
(うち国・都道府県補助金)	99,833			
(うち他会計補助・負担金)	98,124			
(うち長期前受金戻入)	10,585			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,774			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	470,937			
2 経常費用	463,708			
(1) 医業費用	443,499			
職員給与費	309,904	127.4	62.1	78.9
材料費	39,248	16.1	25.3	15.6
(うち薬品費)	15,895	6.5	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,865	7.3	11.4	6.0
減価償却費	23,172	9.5	9.5	11.7
経費	66,437	27.3	22.7	31.2
(うち委託料)	20,154	8.3	12.6	14.3
研究研修費	4,570			
資産減耗費	168			
(2) 医業外費用	20,209			
(うち支払利息)	981	0.4	1.3	1.7
(3) 特別損失	7,229			
損益				
経常損益	5,025			
純損益	1,570			
累積欠損金	193,770			
経常収支比率	101.1		101.9	100.3
医業収支比率	54.9		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	28.7		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	55.2		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	28.4		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	72.1		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	587,082
1 固定資産	334,524
(1) 有形固定資産	327,068
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	7,456
2 流動資産	252,558
(1) 現金及び預金	188,988
(2) 未収金及び未収収益	60,229
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	3,341
3 繰延資産	-
負債合計	272,403
1 固定負債	133,391
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	128,999
(2) その他の企業債	4,126
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	266
2 流動負債	67,353
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,412
(2) その他の企業債	7,498
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	15,566
(6) リース債務	1,231
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	71,659
(1) 長期前受金	168,826
(2) 長期前受金収益化累計額( )	97,167
資本合計	314,679
1 資本金	508,449
2 剰余金	-193,770
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-193,770
負債・資本合計	587,082
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	134,418	134,418
資本勘定繰入	30,812	30,812
計	165,230	165,230

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	79.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	奥尻町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,236 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	22	69.9	72.8	57.9
療養	32	45.7	47.4	62.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	55.6	57.8	60.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.4	22.9	18.2

設立団体の状況		
人口(人)	2,410	
決算規模(千円)	4,438,332	
標準財政規模(千円)	2,365,819	
財政力指数	0.13	
経常収支比率(%)	84.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	22.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	58.5
修正医業収益(千円)	418,478

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	722,452			
1 経常収益	706,252			
(1) 医業収益	443,247			
入院収益	170,568			
外来収益	226,169			
診療収入計	396,737			
その他医業収益	46,510			
(うち他会計負担金)	24,769			
(2) 医業外収益	263,005			
(うち国・都道府県補助金)	27,744			
(うち他会計補助・負担金)	225,987			
(うち長期前受金戻入)	1,094			
(うち資本費繰入収益)	3,758			
(3) 特別利益	16,200			
(うち他会計繰入金)	16,200			
総費用	778,406			
2 経常費用	756,272			
(1) 医業費用	714,756			
職員給与費	393,015	88.7	62.1	78.9
材料費	153,944	34.7	25.3	15.6
(うち薬品費)	114,794	25.9	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,552	6.9	11.4	6.0
減価償却費	34,215	7.7	9.5	11.7
経費	133,301	30.1	22.7	31.2
(うち委託料)	66,279	15.0	12.6	14.3
研究研修費	281			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	41,516			
(うち支払利息)	1,043	0.2	1.3	1.7
(3) 特別損失	22,134			
損益				
経常損益	-50,020			
純損益	-55,954			
累積欠損金	637,348			
経常収支比率	93.4		101.9	100.3
医業収支比率	62.0		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	35.5		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	56.6		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	37.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	60.2		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	411,936
1 固定資産	320,918
(1) 有形固定資産	304,890
(2) 無形固定資産	262
(3) 投資その他の資産	15,766
2 流動資産	91,018
(1) 現金及び預金	29,185
(2) 未収金及び未収収益	53,860
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	7,973
3 繰延資産	-
負債合計	147,272
1 固定負債	10,541
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,023
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	518
2 流動負債	120,567
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	41,312
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,527
(6) リース債務	5,424
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	38,903
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,164
(1) 長期前受金	261,200
(2) 長期前受金収益化累計額( )	245,036
資本合計	264,664
1 資本金	902,012
2 剰余金	-637,348
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-637,348
負債・資本合計	411,936
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	266,956	266,956
資本勘定繰入	13,903	13,903
計	280,859	280,859

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	143.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	今金町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,003 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	33	57.0	51.3	41.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	33	57.0	51.3	41.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.2	18.3	17.5

設立団体の状況		
人口(人)	5,072	
決算規模(千円)	6,496,944	
標準財政規模(千円)	3,352,919	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	78.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	49.3
修正医業収益(千円)	353,969

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	754,384			
1 経常収益	736,737			
(1) 医業収益	376,382			
入院収益	207,351			
外来収益	116,736			
診療収入計	324,087			
その他医業収益	52,295			
(うち他会計負担金)	22,413			
(2) 医業外収益	360,355			
(うち国・都道府県補助金)	55,999			
(うち他会計補助・負担金)	298,499			
(うち長期前受金戻入)	2,444			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	17,647			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	750,964			
2 経常費用	732,540			
(1) 医業費用	717,650			
職員給与費	404,389	107.4	62.1	89.0
材料費	59,771	15.9	25.3	14.0
(うち薬品費)	33,884	9.0	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,279	6.7	11.4	5.4
減価償却費	22,889	6.1	9.5	13.0
経費	226,732	60.2	22.7	47.1
(うち委託料)	108,914	28.9	12.6	22.5
研究研修費	719			
資産減耗費	3,150			
(2) 医業外費用	14,890			
(うち支払利息)	527	0.1	1.3	1.3
(3) 特別損失	18,424			
損益				
経常損益	4,197			
純損益	3,420			
累積欠損金	7,485			
経常収支比率	100.6		101.9	98.5
医業収支比率	52.4		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	43.6		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	85.3		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	42.5		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	56.8		89.3	64.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,003,093
1 固定資産	549,553
(1) 有形固定資産	547,142
(2) 無形固定資産	251
(3) 投資その他の資産	2,160
2 流動資産	453,540
(1) 現金及び預金	79,246
(2) 未収金及び未収収益	366,833
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	3,064
3 繰延資産	-
負債合計	155,672
1 固定負債	48,821
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	48,821
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	67,116
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,952
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,308
(6) リース債務	1,906
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	32,756
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	39,735
(1) 長期前受金	132,063
(2) 長期前受金収益化累計額( )	92,328
資本合計	847,421
1 資本金	760,290
2 剰余金	87,131
(1) 資本金剰余金	29,922
(2) 利益剰余金	57,209
負債・資本合計	1,003,093
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	320,912	320,912
資本勘定繰入	-	-
計	320,912	320,912

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	せたな町			
病院名	せたな町立国保病院(病院事業分)			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	4,331 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	8	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	51.8	51.9	49.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	51.8	32.1	30.5
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	15.5	16.2

設立団体の状況		
人口(人)	7,398	
決算規模(千円)	9,726,925	
標準財政規模(千円)	5,691,033	
財政力指数	0.15	
経常収支比率(%)	87.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,306,220			
1 経常収益	1,285,246			
(1) 医業収益	971,508			
入院収益	333,397			
外来収益	357,427			
診療収入計	690,824			
その他医業収益	280,684			
(うち他会計負担金)	63,120			
(2) 医業外収益	313,738			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	290,868			
(うち長期前受金戻入)	18,885			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	20,974			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,254,301			
2 経常費用	1,232,907			
(1) 医業費用	1,228,955			
職員給与費	728,121	74.9	62.1	78.9
材料費	134,886	13.9	25.3	15.6
(うち薬品費)	96,088	9.9	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	38,798	4.0	11.4	6.0
減価償却費	73,875	7.6	9.5	11.7
経費	289,883	29.8	22.7	31.2
(うち委託料)	146,517	15.1	12.6	14.3
研究研修費	545			
資産減耗費	1,645			
(2) 医業外費用	3,952			
(うち支払利息)	203	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	21,394			
損益				
経常損益	52,339			
純損益	51,919			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.2		101.9	100.3
医業収支比率	79.1		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	27.5		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	36.4		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	27.1		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	75.5		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,951,400
1 固定資産	912,995
(1) 有形固定資産	892,835
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	20,160
2 流動資産	1,038,405
(1) 現金及び預金	741,899
(2) 未収金及び未収収益	291,419
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	5,087
3 繰延資産	-
負債合計	287,234
1 固定負債	68,380
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	68,380
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	97,926
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,497
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	32,251
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	51,072
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	120,928
(1) 長期前受金	365,188
(2) 長期前受金収益化累計額( )	244,260
資本合計	1,664,166
1 資本金	1,593,537
2 剰余金	70,629
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	70,629
負債・資本合計	1,951,400
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.9
修正医業収益(千円)	908,388

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	330,536	353,988
資本勘定繰入	9,909	11,767
計	340,445	365,755

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	黒松内町		
病院名	黒松内町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,791	
決算規模(千円)	4,953,963	
標準財政規模(千円)	2,480,742	
財政力指数	0.15	
経常収支比率(%)	84.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	47.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	246			
1 経常収益	246			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	246			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	246			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	246			
2 経常費用	246			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	-	-	9.5	13.0
経費	-	-	22.7	47.1
(うち委託料)	-	-	12.6	22.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	246			
(うち支払利息)	246	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	98.5
医業収支比率	-		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	-		89.3	64.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	246
資本勘定繰入	-	5,794
計	-	6,040

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	南幌町			
病院名	国保町立病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	4,043 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	4	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	13:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	54.4	54.4	47.2
療養	-	31.3	29.4	30.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	48.1	37.5	36.0
平均在院日数(一般病床のみ)		46.6	28.6	26.5

設立団体の状況		
人口(人)	7,319	
決算規模(千円)	8,218,479	
標準財政規模(千円)	3,243,515	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	86.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	86.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	733,856			
1 経常収益	718,856			
(1) 医業収益	411,606			
入院収益	250,028			
外来収益	91,722			
診療収入計	341,750			
その他医業収益	69,856			
(うち他会計負担金)	47,669			
(2) 医業外収益	307,250			
(うち国・都道府県補助金)	35,639			
(うち他会計補助・負担金)	255,053			
(うち長期前受金戻入)	7,167			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	15,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	673,479			
2 経常費用	658,479			
(1) 医業費用	641,932			
職員給与費	370,654	90.1	62.1	78.9
材料費	35,180	8.5	25.3	15.6
(うち薬品費)	18,052	4.4	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,272	3.7	11.4	6.0
減価償却費	37,400	9.1	9.5	11.7
経費	196,223	47.7	22.7	31.2
(うち委託料)	67,945	16.5	12.6	14.3
研究研修費	421			
資産減耗費	2,054			
(2) 医業外費用	16,547			
(うち支払利息)	27	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	15,000			
損益				
経常損益	60,377			
純損益	60,377			
累積欠損金	823,721			
経常収支比率	109.2		101.9	100.3
医業収支比率	64.1		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	42.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	73.5		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	41.3		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	63.2		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	847,611
1 固定資産	650,161
(1) 有形固定資産	650,008
(2) 無形固定資産	153
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	197,450
(1) 現金及び預金	119,668
(2) 未収金及び未収収益	75,691
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	2,091
3 繰延資産	-
負債合計	491,528
1 固定負債	174,711
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	174,711
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	108,281
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,621
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	25,864
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	46,405
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	208,536
(1) 長期前受金	615,729
(2) 長期前受金収益化累計額( )	407,193
資本合計	356,083
1 資本金	1,179,804
2 剰余金	-823,721
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-823,721
負債・資本合計	847,611
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	56.7
修正医業収益(千円)	363,937

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	302,722	302,722
資本勘定繰入	56,921	56,921
計	359,643	359,643

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	200.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	奈井江町		
病院名	奈井江町立国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,489 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	20:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	50	90.6	81.1	88.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	90.6	81.1	88.5
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,120	
決算規模(千円)	5,482,527	
標準財政規模(千円)	3,082,006	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	52.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	62.1
修正医業収益(千円)	562,823

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	924,453			
1 経常収益	919,153			
(1) 医業収益	615,566			
入院収益	270,807			
外来収益	265,220			
診療収入計	536,027			
その他医業収益	79,539			
(うち他会計負担金)	52,743			
(2) 医業外収益	303,587			
(うち国・都道府県補助金)	11,880			
(うち他会計補助・負担金)	188,923			
(うち長期前受金戻入)	68,989			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,300			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,003,854			
2 経常費用	998,155			
(1) 医業費用	906,695			
職員給与費	438,033	71.2	62.1	78.9
材料費	149,746	24.3	25.3	15.6
(うち薬品費)	118,767	19.3	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,271	4.6	11.4	6.0
減価償却費	70,215	11.4	9.5	11.7
経費	246,313	40.0	22.7	31.2
(うち委託料)	89,952	14.6	12.6	14.3
研究研修費	2,195			
資産減耗費	193			
(2) 医業外費用	91,460			
(うち支払利息)	16,225	2.6	1.3	1.7
(3) 特別損失	5,699			
損益				
経常損益	-79,002			
純損益	-79,401			
累積欠損金	-			
経常収支比率	92.1		101.9	100.3
医業収支比率	67.9		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	26.3		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	39.3		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	26.1		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	67.9		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,572,478
1 固定資産	1,419,543
(1) 有形固定資産	1,419,373
(2) 無形固定資産	170
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	152,935
(1) 現金及び預金	38,564
(2) 未収金及び未収収益	102,965
(3) 貸倒引当金( )	6
(4) 貯蔵品	11,412
3 繰延資産	-
負債合計	1,383,011
1 固定負債	411,207
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	329,907
(2) その他の企業債	81,300
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	286,934
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	113,252
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,294
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	110,000
(8) 未払金及び未払費用	28,031
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	684,870
(1) 長期前受金	1,872,222
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,187,352
資本合計	189,467
1 資本金	49,265
2 剰余金	140,202
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	140,202
負債・資本合計	1,572,478
不良債務	20,747
実質資金不足額	20,747
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	226,124	241,666
資本勘定繰入	74,127	113,176
計	300,251	354,842

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	20,747	3.4
令和元年度	37,782	6.2
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	20,747
健全化法上の資金不足比率(%)	3.3
地財法上の資金不足額(千円)	102,047
地財法上の資金不足比率(%)	16.5

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	由仁町		
病院名	町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	4,822	
決算規模(千円)	5,835,195	
標準財政規模(千円)	3,129,463	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	88.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.1
	将来負担比率(%)	111.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	119			
1 経常収益	119			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	119			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	119			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	119			
2 経常費用	119			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	78.9
材料費	-	-	25.3	15.6
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	6.0
減価償却費	-	-	9.5	11.7
経費	-	-	22.7	31.2
(うち委託料)	-	-	12.6	14.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	119			
(うち支払利息)	119	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	-		89.3	76.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	74	119
資本勘定繰入	1,568	2,981
計	1,642	3,100

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	長沼町				
病院名	町立長沼病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,099 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	84	56.8	63.0	79.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	84	56.8	63.0	79.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.9	13.2	21.3

設立団体の状況		
人口(人)	10,289	
決算規模(千円)	10,563,670	
標準財政規模(千円)	4,703,359	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	85.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	66.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.0
修正医業収益(千円)	632,140

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,018,990			
1 経常収益	1,018,990			
(1) 医業収益	671,828			
入院収益	338,961			
外来収益	172,380			
診療収入計	511,341			
その他医業収益	160,487			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	347,162			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	293,867			
(うち長期前受金戻入)	42,983			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,025,840			
2 経常費用	1,025,840			
(1) 医業費用	987,854			
職員給与費	531,517	79.1	62.1	78.9
材料費	85,411	12.7	25.3	15.6
(うち薬品費)	39,293	5.8	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	46,118	6.9	11.4	6.0
減価償却費	49,318	7.3	9.5	11.7
経費	321,100	47.8	22.7	31.2
(うち委託料)	188,409	28.0	12.6	14.3
研究研修費	478			
資産減耗費	30			
(2) 医業外費用	37,986			
(うち支払利息)	2,769	0.4	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-6,850			
純損益	-6,850			
累積欠損金	1,465,359			
経常収支比率	99.3		101.9	100.3
医業収支比率	68.0		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	32.7		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	49.6		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	32.7		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	66.8		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,182,473
1 固定資産	851,673
(1) 有形固定資産	851,284
(2) 無形固定資産	389
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	330,800
(1) 現金及び預金	56,324
(2) 未収金及び未収収益	270,795
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	3,681
3 繰延資産	-
負債合計	759,534
1 固定負債	130,418
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	130,418
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	361,477
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,881
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,065
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	250,000
(8) 未払金及び未払費用	42,704
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	267,639
(1) 長期前受金	369,951
(2) 長期前受金収益化累計額( )	102,312
資本合計	422,939
1 資本金	1,628,847
2 剰余金	-1,205,908
(1) 資本金剰余金	246,051
(2) 利益剰余金	-1,451,959
負債・資本合計	1,182,473
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	332,750	333,555
資本勘定繰入	14,047	26,666
計	346,797	360,221

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	218.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	月形町		
病院名	国保月形町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,759 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	85.4	67.5	49.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	85.4	67.5	49.7
平均在院日数(一般病床のみ)		51.2	43.2	30.3

設立団体の状況		
人口(人)	3,691	
決算規模(千円)	5,486,224	
標準財政規模(千円)	2,439,195	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	71.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.7
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.5
修正医業収益(千円)	400,326

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	612,533			
1 経常収益	599,510			
(1) 医業収益	434,923			
入院収益	298,572			
外来収益	84,967			
診療収入計	383,539			
その他医業収益	51,384			
(うち他会計負担金)	34,597			
(2) 医業外収益	164,587			
(うち国・都道府県補助金)	19,360			
(うち他会計補助・負担金)	129,760			
(うち長期前受金戻入)	10,463			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,023			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	617,591			
2 経常費用	604,568			
(1) 医業費用	576,232			
職員給与費	303,285	69.7	62.1	89.0
材料費	78,638	18.1	25.3	14.0
(うち薬品費)	52,406	12.0	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,232	6.0	11.4	5.4
減価償却費	36,591	8.4	9.5	13.0
経費	157,442	36.2	22.7	47.1
(うち委託料)	33,059	7.6	12.6	22.5
研究研修費	105			
資産減耗費	171			
(2) 医業外費用	28,336			
(うち支払利息)	4,250	1.0	1.3	1.3
(3) 特別損失	13,023			
損益				
経常損益	-5,058			
純損益	-5,058			
累積欠損金	788,812			
経常収支比率	99.2		101.9	98.5
医業収支比率	75.5		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	27.4		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	37.8		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	26.8		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	72.0		89.3	64.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	776,778
1 固定資産	619,715
(1) 有形固定資産	619,715
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	157,063
(1) 現金及び預金	62,603
(2) 未収金及び未収収益	90,402
(3) 貸倒引当金( )	50
(4) 貯蔵品	3,957
3 繰延資産	-
負債合計	371,226
1 固定負債	176,011
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	176,011
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	90,934
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	46,600
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	15,346
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,905
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	104,281
(1) 長期前受金	197,662
(2) 長期前受金収益化累計額( )	93,381
資本合計	405,552
1 資本金	1,168,258
2 剰余金	-762,706
(1) 資本金剰余金	26,106
(2) 利益剰余金	-788,812
負債・資本合計	776,778
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	164,357	164,357
資本勘定繰入	42,747	42,747
計	207,104	207,104

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	181.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	美瑛町				
病院名	町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,059 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	56	44.7	48.8	58.4
療養	42	49.6	46.8	49.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	46.8	48.0	54.4
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	16.1	15.9

設立団体の状況		
人口(人)	9,668	
決算規模(千円)	11,680,909	
標準財政規模(千円)	6,210,999	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	84.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	54.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	56.6
修正医業収益(千円)	612,808

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,180,743			
1 経常収益	1,180,734			
(1) 医業収益	704,781			
入院収益	361,279			
外来収益	228,523			
診療収入計	589,802			
その他医業収益	114,979			
(うち他会計負担金)	91,973			
(2) 医業外収益	475,953			
(うち国・都道府県補助金)	31,586			
(うち他会計補助・負担金)	398,027			
(うち長期前受金戻入)	42,877			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,129,857			
2 経常費用	1,129,857			
(1) 医業費用	1,083,528			
職員給与費	614,539	87.2	62.1	78.9
材料費	67,763	9.6	25.3	15.6
(うち薬品費)	29,158	4.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	36,788	5.2	11.4	6.0
減価償却費	117,107	16.6	9.5	11.7
経費	280,510	39.8	22.7	31.2
(うち委託料)	160,270	22.7	12.6	14.3
研究研修費	382			
資産減耗費	3,227			
(2) 医業外費用	46,329			
(うち支払利息)	19,046	2.7	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	50,877			
純損益	50,886			
累積欠損金	109,536			
経常収支比率	104.5		101.9	100.3
医業収支比率	65.0		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	41.5		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	69.5		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	41.5		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	61.1		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,890,123
1 固定資産	1,669,603
(1) 有形固定資産	1,669,312
(2) 無形固定資産	291
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	220,520
(1) 現金及び預金	106,626
(2) 未収金及び未収収益	108,558
(3) 貸倒引当金( )	1
(4) 貯蔵品	5,337
3 繰延資産	-
負債合計	1,428,629
1 固定負債	642,848
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	642,848
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	187,415
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	105,930
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	44,501
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	33,544
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	598,366
(1) 長期前受金	1,356,628
(2) 長期前受金収益化累計額( )	758,262
資本合計	461,494
1 資本金	560,454
2 剰余金	-98,960
(1) 資本金剰余金	4,696
(2) 利益剰余金	-103,656
負債・資本合計	1,890,123
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	435,696	490,000
資本勘定繰入	12,731	13,930
計	448,427	503,930

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	上富良野町			
病院名	上富良野町立病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	3,708 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	5	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	44	41.8	44.7	42.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	44	41.8	44.7	42.5
平均在院日数(一般病床のみ)		16.2	15.5	16.4

設立団体の状況		
人口(人)	10,348	
決算規模(千円)	8,704,013	
標準財政規模(千円)	4,333,801	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	88.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	36.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	52.1
修正医業収益(千円)	394,216

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	835,430			
1 経常収益	835,430			
(1) 医業収益	518,760			
入院収益	182,561			
外来収益	179,142			
診療収入計	361,703			
その他医業収益	157,057			
(うち他会計負担金)	124,544			
(2) 医業外収益	316,670			
(うち国・都道府県補助金)	9,325			
(うち他会計補助・負担金)	150,896			
(うち長期前受金戻入)	22,513			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	916,388			
2 経常費用	916,384			
(1) 医業費用	756,844			
職員給与費	428,999	82.7	62.1	89.0
材料費	71,491	13.8	25.3	14.0
(うち薬品費)	38,255	7.4	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,643	6.1	11.4	5.4
減価償却費	35,440	6.8	9.5	13.0
経費	218,526	42.1	22.7	47.1
(うち委託料)	78,456	15.1	12.6	22.5
研究研修費	402			
資産減耗費	1,986			
(2) 医業外費用	159,540			
(うち支払利息)	455	0.1	1.3	1.3
(3) 特別損失	4			
損益				
経常損益	-80,954			
純損益	-80,958			
累積欠損金	1,097,491			
経常収支比率	91.2		101.9	98.5
医業収支比率	68.5		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	33.0		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	53.1		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	33.0		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	61.1		89.3	64.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	648,865
1 固定資産	413,780
(1) 有形固定資産	409,271
(2) 無形固定資産	1,009
(3) 投資その他の資産	3,500
2 流動資産	235,085
(1) 現金及び預金	142,701
(2) 未収金及び未収収益	86,918
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	5,466
3 繰延資産	-
負債合計	269,089
1 固定負債	45,123
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	45,123
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	78,063
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,488
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,252
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	37,133
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	145,903
(1) 長期前受金	565,294
(2) 長期前受金収益化累計額( )	419,391
資本合計	379,776
1 資本金	1,438,847
2 剰余金	-1,059,071
(1) 資本剰余金	18,659
(2) 利益剰余金	-1,077,730
負債・資本合計	648,865
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	219,921	275,440
資本勘定繰入	5,336	12,050
計	225,257	287,490

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	211.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	中富良野町		
病院名	町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	1,998 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	2	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	35	26.0	23.6	32.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	35	26.0	23.6	32.4
平均在院日数(一般病床のみ)		37.3	27.7	28.3

設立団体の状況		
人口(人)	4,733	
決算規模(千円)	5,305,518	
標準財政規模(千円)	2,700,681	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	76.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	46.7
修正医業収益(千円)	199,498

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	436,090			
1 経常収益	434,459			
(1) 医業収益	207,615			
入院収益	66,500			
外来収益	100,730			
診療収入計	167,230			
その他医業収益	40,385			
(うち他会計負担金)	8,117			
(2) 医業外収益	226,844			
(うち国・都道府県補助金)	3,027			
(うち他会計補助・負担金)	208,076			
(うち長期前受金戻入)	14,428			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,631			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	439,882			
2 経常費用	439,882			
(1) 医業費用	426,884			
職員給与費	240,782	116.0	62.1	89.0
材料費	62,105	29.9	25.3	14.0
(うち薬品費)	49,765	24.0	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	11,887	5.7	11.4	5.4
減価償却費	30,150	14.5	9.5	13.0
経費	81,751	39.4	22.7	47.1
(うち委託料)	48,707	23.5	12.6	22.5
研究研修費	10,851			
資産減耗費	1,245			
(2) 医業外費用	12,998			
(うち支払利息)	89	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-5,423			
純損益	-3,792			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.8		101.9	98.5
医業収支比率	48.6		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	49.8		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	104.1		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	49.6		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	49.6		89.3	64.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	875,536
1 固定資産	318,002
(1) 有形固定資産	317,292
(2) 無形固定資産	710
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	557,534
(1) 現金及び預金	513,160
(2) 未収金及び未収収益	41,490
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	2,884
3 繰延資産	-
負債合計	125,384
1 固定負債	5,239
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	5,239
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	40,304
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	824
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	14,614
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,866
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	79,841
(1) 長期前受金	286,379
(2) 長期前受金収益化累計額( )	206,538
資本合計	750,152
1 資本金	687,574
2 剰余金	62,578
(1) 資本金剰余金	14,029
(2) 利益剰余金	48,549
負債・資本合計	875,536
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	216,163	216,193
資本勘定繰入	7,234	7,506
計	223,397	223,699

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	和寒町				
病院名	国保町立和寒病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,347 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	30	14.3	16.5	25.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	14.3	16.5	25.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	12.0	14.2

設立団体の状況		
人口(人)	3,192	
決算規模(千円)	4,886,291	
標準財政規模(千円)	2,758,429	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	76.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.9
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	32.7
修正医業収益(千円)	132,966

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	396,629			
1 経常収益	396,629			
(1) 医業収益	184,445			
入院収益	36,042			
外来収益	67,354			
診療収入計	103,396			
その他医業収益	81,049			
(うち他会計負担金)	51,479			
(2) 医業外収益	212,184			
(うち国・都道府県補助金)	6,205			
(うち他会計補助・負担金)	182,895			
(うち長期前受金戻入)	19,448			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	413,267			
2 経常費用	413,267			
(1) 医業費用	406,764			
職員給与費	219,616	119.1	62.1	89.0
材料費	20,679	11.2	25.3	14.0
(うち薬品費)	6,876	3.7	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	13,803	7.5	11.4	5.4
減価償却費	40,254	21.8	9.5	13.0
経費	125,290	67.9	22.7	47.1
(うち委託料)	56,546	30.7	12.6	22.5
研究研修費	560			
資産減耗費	365			
(2) 医業外費用	6,503			
(うち支払利息)	1,698	0.9	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-16,638			
純損益	-16,638			
累積欠損金	127,456			
経常収支比率	96.0		101.9	98.5
医業収支比率	45.3		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	59.1		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	127.1		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	59.1		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	39.3		89.3	64.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,004,089
1 固定資産	674,580
(1) 有形固定資産	674,580
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	329,509
(1) 現金及び預金	313,538
(2) 未収金及び未収収益	14,745
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	1,226
3 繰延資産	-
負債合計	77,173
1 固定負債	24,002
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	24,002
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	33,723
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,292
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,431
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,448
(1) 長期前受金	19,448
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	926,916
1 資本金	754,444
2 剰余金	172,472
(1) 資本金剰余金	299,928
(2) 利益剰余金	-127,456
負債・資本合計	1,004,089
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	234,374	234,374
資本勘定繰入	7,898	7,898
計	242,272	242,272

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	69.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	下川町		
病院名	下川病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,301 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	41	61.9	58.0	49.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	41	61.9	58.0	49.7
平均在院日数(一般病床のみ)		35.8	30.2	32.8

設立団体の状況		
人口(人)	3,126	
決算規模(千円)	5,530,438	
標準財政規模(千円)	3,120,533	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	88.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.9
	将来負担比率(%)	24.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	53.6
修正医業収益(千円)	285,087

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	557,889			
1 経常収益	555,039			
(1) 医業収益	307,809			
入院収益	140,293			
外来収益	112,099			
診療収入計	252,392			
その他医業収益	55,417			
(うち他会計負担金)	22,722			
(2) 医業外収益	247,230			
(うち国・都道府県補助金)	13,078			
(うち他会計補助・負担金)	217,278			
(うち長期前受金戻入)	15,200			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,850			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	549,858			
2 経常費用	545,828			
(1) 医業費用	531,634			
職員給与費	348,919	113.4	62.1	89.0
材料費	37,510	12.2	25.3	14.0
(うち薬品費)	12,538	4.1	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	24,972	8.1	11.4	5.4
減価償却費	36,763	11.9	9.5	13.0
経費	108,077	35.1	22.7	47.1
(うち委託料)	66,712	21.7	12.6	22.5
研究研修費	325			
資産減耗費	40			
(2) 医業外費用	14,194			
(うち支払利息)	28	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	4,030			
損益				
経常損益	9,211			
純損益	8,031			
累積欠損金	394,647			
経常収支比率	101.7		101.9	98.5
医業収支比率	57.9		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	43.2		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	78.0		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	43.0		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	57.7		89.3	64.4

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	574,381
1 固定資産	449,051
(1) 有形固定資産	448,761
(2) 無形固定資産	290
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	122,345
(1) 現金及び預金	75,202
(2) 未収金及び未収収益	43,794
(3) 貸倒引当金( )	280
(4) 貯蔵品	3,129
3 繰延資産	2,985
負債合計	123,330
1 固定負債	28,384
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,384
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	51,540
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,927
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	20,870
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,456
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	43,406
(1) 長期前受金	142,712
(2) 長期前受金収益化累計額( )	99,306
資本合計	451,051
1 資本金	750,791
2 剰余金	-299,740
(1) 資本金剰余金	94,907
(2) 利益剰余金	-394,647
負債・資本合計	574,381
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	262,895	240,000
資本勘定繰入	4,033	4,033
計	266,928	244,033

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	128.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	遠別町				
病院名	遠別町立国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,547 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	その他		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	16	68.6	52.0	61.3
療養	20	27.2	35.3	27.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	36	45.6	42.7	42.2
平均在院日数(一般病床のみ)		30.4	30.3	29.6

設立団体の状況		
人口(人)	2,520	
決算規模(千円)	4,555,537	
標準財政規模(千円)	2,669,605	
財政力指数	0.14	
経常収支比率(%)	82.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	10.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	393,744			
1 経常収益	393,744			
(1) 医業収益	156,290			
入院収益	70,001			
外来収益	56,546			
診療収入計	126,547			
その他医業収益	29,743			
(うち他会計負担金)	10,700			
(2) 医業外収益	237,454			
(うち国・都道府県補助金)	3,000			
(うち他会計補助・負担金)	228,397			
(うち長期前受金戻入)	2,472			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	393,676			
2 経常費用	393,676			
(1) 医業費用	376,926			
職員給与費	230,846	147.7	62.1	89.0
材料費	27,426	17.5	25.3	14.0
(うち薬品費)	10,650	6.8	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	13,798	8.8	11.4	5.4
減価償却費	12,696	8.1	9.5	13.0
経費	103,389	66.2	22.7	47.1
(うち委託料)	53,184	34.0	12.6	22.5
研究研修費	1,038			
資産減耗費	1,531			
(2) 医業外費用	16,750			
(うち支払利息)	236	0.2	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	68			
純損益	68			
累積欠損金	254,409			
経常収支比率	100.0		101.9	98.5
医業収支比率	41.5		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	60.7		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	153.0		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	60.7		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	39.3		89.3	64.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	336,768
1 固定資産	153,598
(1) 有形固定資産	153,598
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	183,170
(1) 現金及び預金	160,306
(2) 未収金及び未収収益	18,733
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	3,831
3 繰延資産	-
負債合計	49,928
1 固定負債	6,485
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,875
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	610
2 流動負債	27,873
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	766
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	11,189
(6) リース債務	2,365
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,253
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,570
(1) 長期前受金	51,532
(2) 長期前受金収益化累計額( )	35,962
資本合計	286,840
1 資本金	349,716
2 剰余金	-62,876
(1) 資本金剰余金	191,223
(2) 利益剰余金	-254,099
負債・資本合計	336,768
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	38.6
修正医業収益(千円)	145,590

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	239,097	239,097
資本勘定繰入	-	-
計	239,097	239,097

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	162.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	天塩町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,066 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	48	65.1	81.7	84.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	48	65.1	81.7	84.9
平均在院日数(一般病床のみ)		34.7	29.6	27.6

設立団体の状況		
人口(人)	2,950	
決算規模(千円)	5,135,488	
標準財政規模(千円)	3,002,751	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	82.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	21.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	53.3
修正医業収益(千円)	370,773

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	721,355			
1 経常収益	717,878			
(1) 医業収益	407,067			
入院収益	197,559			
外来収益	143,531			
診療収入計	341,090			
その他医業収益	65,977			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	310,811			
(うち国・都道府県補助金)	10,001			
(うち他会計補助・負担金)	227,736			
(うち長期前受金戻入)	69,287			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,477			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	721,355			
2 経常費用	717,475			
(1) 医業費用	696,236			
職員給与費	403,590	99.1	62.1	89.0
材料費	74,611	18.3	25.3	14.0
(うち薬品費)	31,443	7.7	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	35,837	8.8	11.4	5.4
減価償却費	69,319	17.0	9.5	13.0
経費	147,292	36.2	22.7	47.1
(うち委託料)	48,283	11.9	12.6	22.5
研究研修費	356			
資産減耗費	1,068			
(2) 医業外費用	21,239			
(うち支払利息)	17,010	4.2	1.3	1.3
(3) 特別損失	3,880			
損益				
経常損益	403			
純損益	-			
累積欠損金	90,114			
経常収支比率	100.1		101.9	98.5
医業収支比率	58.5		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	36.8		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	64.9		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	36.6		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	63.3		89.3	64.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,106,899
1 固定資産	1,003,275
(1) 有形固定資産	1,003,008
(2) 無形固定資産	267
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	103,624
(1) 現金及び預金	42,071
(2) 未収金及び未収収益	59,577
(3) 貸倒引当金( )	866
(4) 貯蔵品	2,842
3 繰延資産	-
負債合計	971,538
1 固定負債	259,408
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	241,857
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,252
(7) リース債務	12,299
2 流動負債	131,495
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	75,877
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,648
(6) リース債務	5,461
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	22,062
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	580,635
(1) 長期前受金	1,654,383
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,073,748
資本合計	135,361
1 資本金	106,128
2 剰余金	29,233
(1) 資本金剰余金	119,347
(2) 利益剰余金	-90,114
負債・資本合計	1,106,899
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	258,438	264,030
資本勘定繰入	72,877	112,591
計	331,315	376,621

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	猿払村				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,055 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	1	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	24	45.8	26.8	30.1
療養	4	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	28	39.2	23.0	25.8
平均在院日数(一般病床のみ)		35.2	26.3	33.3

設立団体の状況		
人口(人)	2,611	
決算規模(千円)	5,084,525	
標準財政規模(千円)	2,736,055	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	8.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	466,981			
1 経常収益	466,981			
(1) 医業収益	206,393			
入院収益	49,561			
外来収益	117,795			
診療収入計	167,356			
その他医業収益	39,037			
(うち他会計負担金)	4,380			
(2) 医業外収益	260,588			
(うち国・都道府県補助金)	4,129			
(うち他会計補助・負担金)	252,435			
(うち長期前受金戻入)	2,682			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	466,983			
2 経常費用	466,983			
(1) 医業費用	463,038			
職員給与費	236,844	114.8	62.1	89.0
材料費	91,576	44.4	25.3	14.0
(うち薬品費)	59,439	28.8	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,208	13.7	11.4	5.4
減価償却費	33,011	16.0	9.5	13.0
経費	101,082	49.0	22.7	47.1
(うち委託料)	36,511	17.7	12.6	22.5
研究研修費	264			
資産減耗費	261			
(2) 医業外費用	3,945			
(うち支払利息)	908	0.4	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-2			
純損益	-2			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	98.5
医業収支比率	44.6		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	55.0		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	124.4		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	55.0		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	45.0		89.3	64.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	549,969
1 固定資産	274,416
(1) 有形固定資産	272,485
(2) 無形固定資産	1,931
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	275,553
(1) 現金及び預金	24,477
(2) 未収金及び未収収益	239,707
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	11,369
3 繰延資産	-
負債合計	95,979
1 固定負債	25,752
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	25,752
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	34,520
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,410
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	15,511
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,518
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	35,707
(1) 長期前受金	94,108
(2) 長期前受金収益化累計額( )	58,401
資本合計	453,990
1 資本金	453,894
2 剰余金	96
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	96
負債・資本合計	549,969
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	43.6
修正医業収益(千円)	202,013

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	256,815	256,815
資本勘定繰入	20,011	-
計	276,826	256,815

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	浜頓別町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,748 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	63.6	67.6	73.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	63.6	67.6	73.2
平均在院日数(一般病床のみ)		27.9	26.7	30.2

設立団体の状況		
人口(人)	3,448	
決算規模(千円)	5,306,658	
標準財政規模(千円)	2,929,828	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	6.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	51.2
修正医業収益(千円)	387,810

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	798,657			
1 経常収益	798,657			
(1) 医業収益	427,219			
入院収益	210,636			
外来収益	126,509			
診療収入計	337,145			
その他医業収益	90,074			
(うち他会計負担金)	39,409			
(2) 医業外収益	371,438			
(うち国・都道府県補助金)	16,561			
(うち他会計補助・負担金)	329,592			
(うち長期前受金戻入)	20,077			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	792,100			
2 経常費用	781,292			
(1) 医業費用	758,060			
職員給与費	428,650	100.3	62.1	89.0
材料費	64,036	15.0	25.3	14.0
(うち薬品費)	34,213	8.0	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,299	4.8	11.4	5.4
減価償却費	50,543	11.8	9.5	13.0
経費	209,860	49.1	22.7	47.1
(うち委託料)	67,975	15.9	12.6	22.5
研究研修費	2,870			
資産減耗費	2,101			
(2) 医業外費用	23,232			
(うち支払利息)	1,479	0.3	1.3	1.3
(3) 特別損失	10,808			
損益				
経常損益	17,365			
純損益	6,557			
累積欠損金	41,423			
経常収支比率	102.2		101.9	98.5
医業収支比率	56.4		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	46.2		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	86.4		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	46.2		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	55.0		89.3	64.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,062,093
1 固定資産	405,767
(1) 有形固定資産	404,152
(2) 無形固定資産	615
(3) 投資その他の資産	1,000
2 流動資産	656,326
(1) 現金及び預金	568,451
(2) 未収金及び未収収益	80,535
(3) 貸倒引当金( )	31
(4) 貯蔵品	7,371
3 繰延資産	-
負債合計	183,151
1 固定負債	68,206
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	68,206
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	60,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,869
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,609
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,254
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	54,611
(1) 長期前受金	359,361
(2) 長期前受金収益化累計額( )	304,750
資本合計	878,942
1 資本金	920,365
2 剰余金	-41,423
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-41,423
負債・資本合計	1,062,093
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	369,001	369,001
資本勘定繰入	8,251	8,251
計	377,252	377,252

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	中頓別町		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,420 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	2	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	50	25.6	18.8	22.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	25.6	18.8	22.3
平均在院日数(一般病床のみ)		34.8	40.4	31.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,637	
決算規模(千円)	3,872,122	
標準財政規模(千円)	2,162,294	
財政力指数	0.11	
経常収支比率(%)	62.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-1.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	34.4
修正医業収益(千円)	186,955

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	561,009			
1 経常収益	561,009			
(1) 医業収益	224,957			
入院収益	90,285			
外来収益	67,741			
診療収入計	158,026			
その他医業収益	66,931			
(うち他会計負担金)	38,002			
(2) 医業外収益	336,052			
(うち国・都道府県補助金)	12,485			
(うち他会計補助・負担金)	300,441			
(うち長期前受金戻入)	21,075			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	560,989			
2 経常費用	557,939			
(1) 医業費用	543,976			
職員給与費	336,608	149.6	62.1	78.9
材料費	40,766	18.1	25.3	15.6
(うち薬品費)	14,348	6.4	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,897	10.2	11.4	6.0
減価償却費	38,321	17.0	9.5	11.7
経費	126,952	56.4	22.7	31.2
(うち委託料)	34,440	15.3	12.6	14.3
研究研修費	330			
資産減耗費	999			
(2) 医業外費用	13,963			
(うち支払利息)	655	0.3	1.3	1.7
(3) 特別損失	3,050			
損益				
経常損益	3,070			
純損益	20			
累積欠損金	85,594			
経常収支比率	100.6		101.9	100.3
医業収支比率	41.4		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	60.3		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	150.4		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	60.3		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	39.9		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	994,136
1 固定資産	527,203
(1) 有形固定資産	527,203
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	466,933
(1) 現金及び預金	63,098
(2) 未収金及び未収収益	401,080
(3) 貸倒引当金( )	638
(4) 貯蔵品	3,393
3 繰延資産	-
負債合計	456,159
1 固定負債	205,795
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	205,795
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	60,966
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,210
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	26,358
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,398
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	189,398
(1) 長期前受金	378,650
(2) 長期前受金収益化累計額( )	189,252
資本合計	537,977
1 資本金	623,571
2 剰余金	-85,594
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-85,594
負債・資本合計	994,136
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	329,965	338,443
資本勘定繰入	9,739	15,604
計	339,704	354,047

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	38.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	枝幸町				
病院名	枝幸町国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,195 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	その他		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	46	55.2	68.8	77.7
療養	37	83.5	90.1	91.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	83	67.8	78.3	84.0
平均在院日数(一般病床のみ)		34.6	23.0	30.7

設立団体の状況		
人口(人)	7,565	
決算規模(千円)	12,500,054	
標準財政規模(千円)	6,744,299	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	80.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,101,066			
1 経常収益	2,101,066			
(1) 医業収益	835,743			
入院収益	317,158			
外来収益	402,147			
診療収入計	719,305			
その他医業収益	116,438			
(うち他会計負担金)	71,835			
(2) 医業外収益	1,265,323			
(うち国・都道府県補助金)	116,958			
(うち他会計補助・負担金)	979,980			
(うち長期前受金戻入)	54,534			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,081,522			
2 経常費用	2,081,522			
(1) 医業費用	1,815,598			
職員給与費	1,036,758	124.1	62.1	78.9
材料費	253,464	30.3	25.3	15.6
(うち薬品費)	147,422	17.6	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	91,304	10.9	11.4	6.0
減価償却費	207,397	24.8	9.5	11.7
経費	314,084	37.6	22.7	31.2
(うち委託料)	186,995	22.4	12.6	14.3
研究研修費	781			
資産減耗費	3,114			
(2) 医業外費用	265,924			
(うち支払利息)	36,516	4.4	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	19,544			
純損益	19,544			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.9		101.9	100.3
医業収支比率	46.0		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	50.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	125.9		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	50.1		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	50.4		89.3	76.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,622,917
1 固定資産	3,282,288
(1) 有形固定資産	3,282,287
(2) 無形固定資産	1
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	340,629
(1) 現金及び預金	166,281
(2) 未収金及び未収収益	151,033
(3) 貸倒引当金( )	368
(4) 貯蔵品	23,683
3 繰延資産	-
負債合計	1,878,863
1 固定負債	1,125,568
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,125,568
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	366,560
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	286,892
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	66,399
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,269
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	386,735
(1) 長期前受金	1,117,635
(2) 長期前受金収益化累計額( )	730,900
資本合計	1,744,054
1 資本金	1,605,919
2 剰余金	138,135
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	138,135
負債・資本合計	3,622,917
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	42.1
修正医業収益(千円)	763,908

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	961,549	1,051,815
資本勘定繰入	55,221	104,554
計	1,016,770	1,156,369

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	豊富町		
病院名	豊富町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	3,974	
決算規模(千円)	6,828,123	
標準財政規模(千円)	3,331,086	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	74.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	6,456			
1 経常収益	6,456			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	6,456			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	6,456			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,456			
2 経常費用	6,456			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	-	-	9.5	13.0
経費	-	-	22.7	47.1
(うち委託料)	-	-	12.6	22.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,456			
(うち支払利息)	6,456	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	98.5
医業収支比率	-		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	-		89.3	64.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	6,456	6,456
資本勘定繰入	51,874	51,874
計	58,330	58,330

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	幌延町		
病院名	町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,371	
決算規模(千円)	5,263,461	
標準財政規模(千円)	2,856,507	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	76.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	-	-	9.5	13.0
経費	-	-	22.7	47.1
(うち委託料)	-	-	12.6	22.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		101.9	98.5
医業収支比率	-		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	-		89.3	64.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	411	822
計	411	822

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	美幌町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,739 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	99	63.9	76.5	75.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	63.9	76.5	75.6
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	16.1	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	18,697	
決算規模(千円)	16,855,318	
標準財政規模(千円)	6,839,425	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	82.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.3
修正医業収益(千円)	1,624,529

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,005,658			
1 経常収益	1,970,458			
(1) 医業収益	1,678,078			
入院収益	804,363			
外来収益	757,957			
診療収入計	1,562,320			
その他医業収益	115,758			
(うち他会計負担金)	53,549			
(2) 医業外収益	292,380			
(うち国・都道府県補助金)	33,668			
(うち他会計補助・負担金)	208,687			
(うち長期前受金戻入)	23,600			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	35,200			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,077,704			
2 経常費用	2,042,504			
(1) 医業費用	1,950,645			
職員給与費	957,040	57.0	62.1	78.9
材料費	299,271	17.8	25.3	15.6
(うち薬品費)	132,004	7.9	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	167,267	10.0	11.4	6.0
減価償却費	185,649	11.1	9.5	11.7
経費	506,656	30.2	22.7	31.2
(うち委託料)	199,862	11.9	12.6	14.3
研究研修費	2,029			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	91,859			
(うち支払利息)	25,455	1.5	1.3	1.7
(3) 特別損失	35,200			
損益				
経常損益	-72,046			
純損益	-72,046			
累積欠損金	3,288,585			
経常収支比率	96.5		101.9	100.3
医業収支比率	86.0		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	13.3		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	15.6		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	13.1		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	83.6		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,910,694
1 固定資産	1,474,459
(1) 有形固定資産	1,474,366
(2) 無形固定資産	93
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	436,235
(1) 現金及び預金	151,878
(2) 未収金及び未収収益	278,939
(3) 貸倒引当金( )	784
(4) 貯蔵品	6,202
3 繰延資産	-
負債合計	1,843,418
1 固定負債	1,163,250
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,157,414
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	5,836
2 流動負債	415,610
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	221,615
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	75,309
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	92,216
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	264,558
(1) 長期前受金	490,819
(2) 長期前受金収益化累計額( )	226,261
資本合計	67,276
1 資本金	3,336,381
2 剰余金	-3,269,105
(1) 資本金剰余金	19,480
(2) 利益剰余金	-3,288,585
負債・資本合計	1,910,694
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	249,779	262,236
資本勘定繰入	146,142	146,295
計	395,921	408,531

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	196.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	斜里町			
病院名	斜里町国民健康保険病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	6,521 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	6	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	13:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	66.4	64.3	59.3
療養	51	68.6	60.6	53.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	111	67.4	62.6	56.5
平均在院日数(一般病床のみ)		19.9	18.5	20.7

設立団体の状況		
人口(人)	11,418	
決算規模(千円)	11,263,456	
標準財政規模(千円)	5,760,335	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	85.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	94.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,803,194			
1 経常収益	1,795,778			
(1) 医業収益	1,253,091			
入院収益	601,511			
外来収益	550,053			
診療収入計	1,151,564			
その他医業収益	101,527			
(うち他会計負担金)	59,099			
(2) 医業外収益	542,687			
(うち国・都道府県補助金)	31,475			
(うち他会計補助・負担金)	456,122			
(うち長期前受金戻入)	29,873			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,416			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,773,856			
2 経常費用	1,766,440			
(1) 医業費用	1,688,041			
職員給与費	913,790	72.9	62.1	67.4
材料費	401,068	32.0	25.3	17.7
(うち薬品費)	321,929	25.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	79,139	6.3	11.4	8.8
減価償却費	83,048	6.6	9.5	10.7
経費	283,026	22.6	22.7	29.2
(うち委託料)	158,411	12.6	12.6	13.9
研究研修費	7,109			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	78,399			
(うち支払利息)	2,256	0.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	7,416			
損益				
経常損益	29,338			
純損益	29,338			
累積欠損金	1,236,057			
経常収支比率	101.7		101.9	100.3
医業収支比率	74.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	28.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	41.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	28.6		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	72.5		89.3	84.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,033,974
1 固定資産	780,069
(1) 有形固定資産	779,976
(2) 無形固定資産	93
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	253,905
(1) 現金及び預金	53,198
(2) 未収金及び未収収益	187,119
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	13,588
3 繰延資産	-
負債合計	992,275
1 固定負債	488,886
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	190,172
(2) その他の企業債	51,700
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	246,477
(7) リース債務	537
2 流動負債	329,951
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	66,170
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	60,000
(5) 引当金	39,677
(6) リース債務	4,317
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	159,787
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	173,438
(1) 長期前受金	280,636
(2) 長期前受金収益化累計額( )	107,198
資本合計	41,699
1 資本金	1,242,135
2 剰余金	-1,200,436
(1) 資本金剰余金	35,621
(2) 利益剰余金	-1,236,057
負債・資本合計	1,033,974
不良債務	9,876
実質資金不足額	9,876
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.7
修正医業収益(千円)	1,193,992

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	515,202	515,221
資本勘定繰入	43,874	48,956
計	559,076	564,177

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	9,876	0.8
令和元年度	46,993	3.7
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	98.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	9,876
地財法上の資金不足比率(%)	0.7

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	滝上町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,606 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	その他		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	26	57.5	69.6	72.4
療養	12	6.0	11.5	19.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	38	41.2	51.3	55.7
平均在院日数(一般病床のみ)		49.4	38.1	39.7

設立団体の状況		
人口(人)	2,421	
決算規模(千円)	4,807,306	
標準財政規模(千円)	2,801,326	
財政力指数	0.13	
経常収支比率(%)	79.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	601,036			
1 経常収益	601,036			
(1) 医業収益	199,073			
入院収益	59,442			
外来収益	79,113			
診療収入計	138,555			
その他医業収益	60,518			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	401,963			
(うち国・都道府県補助金)	31,264			
(うち他会計補助・負担金)	347,609			
(うち長期前受金戻入)	20,374			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	544,188			
2 経常費用	544,188			
(1) 医業費用	529,364			
職員給与費	206,514	103.7	62.1	89.0
材料費	43,846	22.0	25.3	14.0
(うち薬品費)	25,299	12.7	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,547	9.3	11.4	5.4
減価償却費	32,708	16.4	9.5	13.0
経費	245,991	123.6	22.7	47.1
(うち委託料)	55,462	27.9	12.6	22.5
研究研修費	305			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	14,824			
(うち支払利息)	1,641	0.8	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	56,848			
純損益	56,848			
累積欠損金	564,335			
経常収支比率	110.4		101.9	98.5
医業収支比率	37.6		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	64.2		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	193.7		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	64.2		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	39.6		89.3	64.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	481,604
1 固定資産	267,125
(1) 有形固定資産	266,877
(2) 無形固定資産	248
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	214,479
(1) 現金及び預金	160,289
(2) 未収金及び未収収益	45,525
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	8,665
3 繰延資産	-
負債合計	139,719
1 固定負債	86,310
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	86,310
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	49,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,191
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	29,178
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,040
(1) 長期前受金	125,029
(2) 長期前受金収益化累計額( )	120,989
資本合計	341,885
1 資本金	740,865
2 剰余金	-398,980
(1) 資本金剰余金	165,355
(2) 利益剰余金	-564,335
負債・資本合計	481,604
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	30.4
修正医業収益(千円)	161,082

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	113,984	385,600
資本勘定繰入	16,843	16,843
計	130,827	402,443

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	283.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	興部町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,985 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	32	52.0	65.8	65.7
療養	18	42.0	43.1	46.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	48.4	57.7	58.7
平均在院日数(一般病床のみ)		35.4	36.3	37.9

設立団体の状況		
人口(人)	3,628	
決算規模(千円)	5,600,685	
標準財政規模(千円)	2,927,691	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	78.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	2.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	598,429			
1 経常収益	598,429			
(1) 医業収益	328,532			
入院収益	153,527			
外来収益	88,443			
診療収入計	241,970			
その他医業収益	86,562			
(うち他会計負担金)	60,800			
(2) 医業外収益	269,897			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	243,262			
(うち長期前受金戻入)	17,279			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	694,752			
2 経常費用	694,752			
(1) 医業費用	668,047			
職員給与費	329,568	100.3	62.1	78.9
材料費	41,798	12.7	25.3	15.6
(うち薬品費)	11,787	3.6	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,417	6.5	11.4	6.0
減価償却費	69,630	21.2	9.5	11.7
経費	221,279	67.4	22.7	31.2
(うち委託料)	47,018	14.3	12.6	14.3
研究研修費	544			
資産減耗費	5,228			
(2) 医業外費用	26,705			
(うち支払利息)	7,724	2.4	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-96,323			
純損益	-96,323			
累積欠損金	704,771			
経常収支比率	86.1		101.9	100.3
医業収支比率	49.2		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	50.8		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	92.6		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	50.8		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	42.4		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,040,127
1 固定資産	1,681,281
(1) 有形固定資産	1,608,749
(2) 無形固定資産	70
(3) 投資その他の資産	72,462
2 流動資産	358,846
(1) 現金及び預金	299,206
(2) 未収金及び未収収益	50,737
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	8,903
3 繰延資産	-
負債合計	1,610,851
1 固定負債	999,813
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	999,813
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	97,216
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	44,585
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	25,810
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,821
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	513,822
(1) 長期前受金	648,100
(2) 長期前受金収益化累計額( )	134,278
資本合計	429,276
1 資本金	1,108,529
2 剰余金	-679,253
(1) 資本金剰余金	25,518
(2) 利益剰余金	-704,771
負債・資本合計	2,040,127
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	40.1
修正医業収益(千円)	267,732

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	304,062	304,062
資本勘定繰入	26,325	26,325
計	330,387	330,387

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	214.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	雄武町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,308 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	25	42.5	39.5	45.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	42.5	39.5	45.2
平均在院日数(一般病床のみ)		21.3	21.2	22.3

設立団体の状況		
人口(人)	4,199	
決算規模(千円)	6,521,870	
標準財政規模(千円)	3,694,520	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	75.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	30.4
修正医業収益(千円)	206,318

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	689,258			
1 経常収益	689,258			
(1) 医業収益	257,631			
入院収益	80,477			
外来収益	102,264			
診療収入計	182,741			
その他医業収益	74,890			
(うち他会計負担金)	51,313			
(2) 医業外収益	431,627			
(うち国・都道府県補助金)	6,109			
(うち他会計補助・負担金)	351,374			
(うち長期前受金戻入)	9,755			
(うち資本費繰入収益)	47,313			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	708,842			
2 経常費用	708,842			
(1) 医業費用	678,884			
職員給与費	359,595	139.6	62.1	89.0
材料費	33,855	13.1	25.3	14.0
(うち薬品費)	18,625	7.2	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,016	5.8	11.4	5.4
減価償却費	75,854	29.4	9.5	13.0
経費	152,272	59.1	22.7	47.1
(うち委託料)	70,845	27.5	12.6	22.5
研究研修費	57,308			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	29,958			
(うち支払利息)	7,431	2.9	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-19,584			
純損益	-19,584			
累積欠損金	131,120			
経常収支比率	97.2		101.9	98.5
医業収支比率	37.9		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	58.4		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	156.3		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	58.4		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	40.4		89.3	64.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,035,732
1 固定資産	945,008
(1) 有形固定資産	942,757
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	2,251
2 流動資産	90,724
(1) 現金及び預金	49,805
(2) 未収金及び未収収益	37,596
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	3,323
3 繰延資産	-
負債合計	774,783
1 固定負債	563,240
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	558,918
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	4,322
2 流動負債	173,062
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	73,001
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,252
(6) リース債務	1,179
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	76,443
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	38,481
(1) 長期前受金	131,155
(2) 長期前受金収益化累計額( )	92,674
資本合計	260,949
1 資本金	373,421
2 剰余金	-112,472
(1) 資本金剰余金	14,148
(2) 利益剰余金	-126,620
負債・資本合計	1,035,732
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	400,157	402,687
資本勘定繰入	42,688	77,313
計	442,845	480,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	豊浦町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,963 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	37.7	48.9	55.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	37.7	48.9	55.0
平均在院日数(一般病床のみ)		46.7	53.1	45.7

設立団体の状況		
人口(人)	3,821	
決算規模(千円)	4,948,731	
標準財政規模(千円)	2,855,196	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	85.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	55.1
修正医業収益(千円)	320,491

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	556,431			
1 経常収益	556,431			
(1) 医業収益	320,491			
入院収益	132,953			
外来収益	165,748			
診療収入計	298,701			
その他医業収益	21,790			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	235,940			
(うち国・都道府県補助金)	730			
(うち他会計補助・負担金)	209,896			
(うち長期前受金戻入)	6,059			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	610,533			
2 経常費用	610,533			
(1) 医業費用	581,162			
職員給与費	321,920	100.4	62.1	78.9
材料費	97,522	30.4	25.3	15.6
(うち薬品費)	84,958	26.5	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	9,241	2.9	11.4	6.0
減価償却費	46,473	14.5	9.5	11.7
経費	110,724	34.5	22.7	31.2
(うち委託料)	43,104	13.4	12.6	14.3
研究研修費	164			
資産減耗費	4,359			
(2) 医業外費用	29,371			
(うち支払利息)	9,337	2.9	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-54,102			
純損益	-54,102			
累積欠損金	161,203			
経常収支比率	91.1		101.9	100.3
医業収支比率	55.1		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	37.7		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	65.5		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	37.7		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	56.8		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,629,182
1 固定資産	1,056,948
(1) 有形固定資産	1,056,896
(2) 無形固定資産	52
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	572,234
(1) 現金及び預金	501,343
(2) 未収金及び未収収益	56,794
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	14,097
3 繰延資産	-
負債合計	834,194
1 固定負債	569,696
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	441,200
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	128,496
(7) リース債務	-
2 流動負債	108,866
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	59,244
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,254
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,685
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	155,632
(1) 長期前受金	263,713
(2) 長期前受金収益化累計額( )	108,081
資本合計	794,988
1 資本金	945,360
2 剰余金	-150,372
(1) 資本金剰余金	10,831
(2) 利益剰余金	-161,203
負債・資本合計	1,629,182
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	211,452	209,896
資本勘定繰入	61,858	-
計	273,310	209,896

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	白老町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,079 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	58	21.5	35.0	37.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	21.5	35.0	37.6
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	17.5	17.3

設立団体の状況		
人口(人)	16,212	
決算規模(千円)	13,088,043	
標準財政規模(千円)	6,234,327	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.3
	将来負担比率(%)	31.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	37.4
修正医業収益(千円)	304,457

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	830,957			
1 経常収益	807,161			
(1) 医業収益	392,166			
入院収益	95,579			
外来収益	164,369			
診療収入計	259,948			
その他医業収益	132,218			
(うち他会計負担金)	87,709			
(2) 医業外収益	414,995			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	369,346			
(うち長期前受金戻入)	17,368			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	23,796			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	818,339			
2 経常費用	817,195			
(1) 医業費用	813,288			
職員給与費	450,004	114.7	62.1	78.9
材料費	43,004	11.0	25.3	15.6
(うち薬品費)	28,509	7.3	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,244	3.6	11.4	6.0
減価償却費	17,368	4.4	9.5	11.7
経費	300,249	76.6	22.7	31.2
(うち委託料)	145,867	37.2	12.6	14.3
研究研修費	459			
資産減耗費	2,204			
(2) 医業外費用	3,907			
(うち支払利息)	-	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	1,144			
損益				
経常損益	-10,034			
純損益	12,618			
累積欠損金	1,036,048			
経常収支比率	98.8		101.9	100.3
医業収支比率	48.2		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	56.6		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	116.5		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	55.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	42.8		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	380,071
1 固定資産	235,904
(1) 有形固定資産	235,662
(2) 無形固定資産	242
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	144,167
(1) 現金及び預金	59,427
(2) 未収金及び未収収益	73,254
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	11,486
3 繰延資産	-
負債合計	185,382
1 固定負債	4,260
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	4,260
2 流動負債	136,961
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,251
(6) リース債務	3,921
(7) 一時借入金	50,000
(8) 未払金及び未払費用	54,106
(9) 前受金及び前受収益	5,683
3 繰延収益	44,161
(1) 長期前受金	125,226
(2) 長期前受金収益化累計額( )	81,065
資本合計	194,689
1 資本金	1,241,582
2 剰余金	-1,046,893
(1) 資本金剰余金	-18,445
(2) 利益剰余金	-1,028,448
負債・資本合計	380,071
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	293,808	457,055
資本勘定繰入	10,040	10,040
計	303,848	467,095

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	264.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	むかわ町				
病院名	むかわ町鶴川厚生病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,548 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	42.2	48.3	54.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	42.2	48.3	54.2
平均在院日数(一般病床のみ)		22.6	18.4	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	7,651	
決算規模(千円)	11,781,158	
標準財政規模(千円)	5,451,905	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	90.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	5.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	281,767			
1 経常収益	281,767			
(1) 医業収益	918			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	918			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	280,849			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	260,548			
(うち長期前受金戻入)	17,451			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	311,542			
2 経常費用	311,542			
(1) 医業費用	306,511			
職員給与費	-	-	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	66,789	7275.5	9.5	13.0
経費	239,722	26113.5	22.7	47.1
(うち委託料)	-	-	12.6	22.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	5,031			
(うち支払利息)	764	83.2	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-29,775			
純損益	-29,775			
累積欠損金	330,186			
経常収支比率	90.4		101.9	98.5
医業収支比率	0.3		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	92.5		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	28382.1		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	92.5		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	6.8		89.3	64.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,136,127
1 固定資産	1,072,275
(1) 有形固定資産	1,033,941
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	38,334
2 流動資産	63,852
(1) 現金及び預金	63,689
(2) 未収金及び未収収益	163
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,124,158
1 固定負債	772,196
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	772,196
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	58,035
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	56,488
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,547
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	293,927
(1) 長期前受金	488,337
(2) 長期前受金収益化累計額( )	194,410
資本合計	11,969
1 資本金	291,037
2 剰余金	-279,068
(1) 資本金剰余金	51,118
(2) 利益剰余金	-330,186
負債・資本合計	1,136,127
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.3
修正医業収益(千円)	918

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	260,548	260,548
資本勘定繰入	29,745	29,745
計	290,293	290,293

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35968.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	日高町				
病院名	門別国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,805 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	34	61.9	62.4	71.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	34	61.9	62.4	71.7
平均在院日数(一般病床のみ)		23.2	20.7	24.9

設立団体の状況		
人口(人)	11,279	
決算規模(千円)	12,583,999	
標準財政規模(千円)	6,605,653	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	65.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.9
修正医業収益(千円)	649,709

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,480,071			
1 経常収益	1,480,071			
(1) 医業収益	709,339			
入院収益	207,403			
外来収益	390,916			
診療収入計	598,319			
その他医業収益	111,020			
(うち他会計負担金)	59,630			
(2) 医業外収益	770,732			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	371,533			
(うち長期前受金戻入)	60,916			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,523,756			
2 経常費用	1,523,756			
(1) 医業費用	1,066,655			
職員給与費	675,784	95.3	62.1	89.0
材料費	110,037	15.5	25.3	14.0
(うち薬品費)	57,243	8.1	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	52,528	7.4	11.4	5.4
減価償却費	122,895	17.3	9.5	13.0
経費	157,538	22.2	22.7	47.1
(うち委託料)	96,532	13.6	12.6	22.5
研究研修費	401			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	457,101			
(うち支払利息)	22,445	3.2	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-43,685			
純損益	-43,685			
累積欠損金	273,943			
経常収支比率	97.1		101.9	98.5
医業収支比率	66.5		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	29.1		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	60.8		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	29.1		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	68.8		89.3	64.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,523,943
1 固定資産	2,248,326
(1) 有形固定資産	2,248,326
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	275,617
(1) 現金及び預金	42,521
(2) 未収金及び未収収益	226,826
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	6,270
3 繰延資産	-
負債合計	2,728,994
1 固定負債	1,249,588
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,249,588
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	230,302
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	137,541
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	92,461
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,249,104
(1) 長期前受金	1,623,065
(2) 長期前受金収益化累計額( )	373,961
資本合計	-205,051
1 資本金	68,892
2 剰余金	-273,943
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-273,943
負債・資本合計	2,523,943
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	205,051
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	240,450	431,163
資本勘定繰入	57,792	96,835
計	298,242	527,998

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	38.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	平取町			
病院名	国保病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	3,447 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	6	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	15:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	42	55.4	53.9	54.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	55.4	53.9	54.5
平均在院日数(一般病床のみ)		31.5	25.1	29.1

設立団体の状況		
人口(人)	4,776	
決算規模(千円)	7,865,527	
標準財政規模(千円)	3,543,366	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	83.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	39.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	38.4
修正医業収益(千円)	292,973

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	757,326			
1 経常収益	757,326			
(1) 医業収益	329,267			
入院収益	134,120			
外来収益	121,270			
診療収入計	255,390			
その他医業収益	73,877			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	428,059			
(うち国・都道府県補助金)	8,952			
(うち他会計補助・負担金)	324,301			
(うち長期前受金戻入)	87,535			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	770,699			
2 経常費用	770,699			
(1) 医業費用	763,180			
職員給与費	422,416	128.3	62.1	89.0
材料費	54,333	16.5	25.3	14.0
(うち薬品費)	21,214	6.4	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,465	9.9	11.4	5.4
減価償却費	101,591	30.9	9.5	13.0
経費	184,629	56.1	22.7	47.1
(うち委託料)	108,660	33.0	12.6	22.5
研究研修費	211			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	7,519			
(うち支払利息)	5,939	1.8	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-13,373			
純損益	-13,373			
累積欠損金	183,261			
経常収支比率	98.3		101.9	98.5
医業収支比率	43.1		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	47.6		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	109.5		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	47.6		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	51.5		89.3	64.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,422,513
1 固定資産	2,321,798
(1) 有形固定資産	2,274,094
(2) 無形固定資産	3,127
(3) 投資その他の資産	44,577
2 流動資産	100,715
(1) 現金及び預金	45,619
(2) 未収金及び未収収益	47,424
(3) 貸倒引当金( )	343
(4) 貯蔵品	8,015
3 繰延資産	-
負債合計	2,392,894
1 固定負債	2,224,325
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,222,148
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	700
(7) リース債務	1,477
2 流動負債	121,099
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	25,847
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,886
(6) リース債務	2,059
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	65,082
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	47,470
(1) 長期前受金	263,213
(2) 長期前受金収益化累計額( )	215,743
資本合計	29,619
1 資本金	201,414
2 剰余金	-171,795
(1) 資本金剰余金	11,466
(2) 利益剰余金	-183,261
負債・資本合計	2,422,513
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	187,181	360,595
資本勘定繰入	1,531	10,184
計	188,712	370,779

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	新冠町				
病院名	国保診療所				
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,309	
決算規模(千円)	7,169,676	
標準財政規模(千円)	3,457,168	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	6.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15			
1 経常収益	15			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	15			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	15			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15			
2 経常費用	15			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	-	-	9.5	13.0
経費	-	-	22.7	47.1
(うち委託料)	-	-	12.6	22.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	15			
(うち支払利息)	15	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	98.5
医業収支比率	-		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	-		89.3	64.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	15
資本勘定繰入	-	1,385
計	-	1,400

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	新ひだか町		
病院名	新ひだか町立静内病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,777 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	7	指定病院の状況	救
許可公営企業	許可	看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	58	51.9	55.0	57.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	51.9	55.0	57.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	16.1	16.9

設立団体の状況		
人口(人)	21,517	
決算規模(千円)	18,674,926	
標準財政規模(千円)	9,358,692	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	41.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,317,962			
1 経常収益	1,317,849			
(1) 医業収益	799,603			
入院収益	406,962			
外来収益	331,400			
診療収入計	738,362			
その他医業収益	61,241			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	518,246			
(うち国・都道府県補助金)	68,161			
(うち他会計補助・負担金)	340,989			
(うち長期前受金戻入)	82,741			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	113			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,266,527			
2 経常費用	1,264,355			
(1) 医業費用	1,203,888			
職員給与費	654,994	81.9	62.1	78.9
材料費	115,299	14.4	25.3	15.6
(うち薬品費)	58,597	7.3	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	56,702	7.1	11.4	6.0
減価償却費	60,980	7.6	9.5	11.7
経費	367,741	46.0	22.7	31.2
(うち委託料)	194,219	24.3	12.6	14.3
研究研修費	739			
資産減耗費	4,135			
(2) 医業外費用	60,467			
(うち支払利息)	19,571	2.4	1.3	1.7
(3) 特別損失	2,172			
損益				
経常損益	53,494			
純損益	51,435			
累積欠損金	611,875			
経常収支比率	104.2		101.9	100.3
医業収支比率	66.4		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	25.9		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	42.6		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	25.9		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	77.3		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,482,234
1 固定資産	1,050,501
(1) 有形固定資産	1,050,290
(2) 無形固定資産	211
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	431,733
(1) 現金及び預金	149,703
(2) 未収金及び未収収益	268,131
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	13,899
3 繰延資産	-
負債合計	2,302,919
1 固定負債	719,137
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	719,137
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	706,439
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	155,858
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	72,027
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	330,000
(8) 未払金及び未払費用	148,554
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	877,343
(1) 長期前受金	2,626,734
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,749,391
資本合計	-820,685
1 資本金	160,780
2 剰余金	-981,465
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-981,465
負債・資本合計	1,482,234
不良債務	118,848
実質資金不足額	118,848
資本不足額(繰延収益控除後)( )	820,685
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.4
修正医業収益(千円)	799,603

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	202,368	340,989
資本勘定繰入	86,542	124,407
計	288,910	465,396

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	118,848	11.2
令和元年度	173,003	16.3
平成30年度	195,031	18.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	92.8
健全化法上の資金不足額(千円)	103,019
健全化法上の資金不足比率(%)	9.7
地財法上の資金不足額(千円)	118,848
地財法上の資金不足比率(%)	11.2

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	新ひだか町			
病院名	新ひだか町立三石国民健康保険病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	2,104 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	4	指定病院の状況		
許可公営企業	許可	看護配置	その他	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	20	-	39.0	51.7
療養	22	74.1	73.1	61.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	38.8	56.9	56.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	14.8	17.6

設立団体の状況		
人口(人)	21,517	
決算規模(千円)	18,674,926	
標準財政規模(千円)	9,358,692	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	41.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	50.2
修正医業収益(千円)	258,239

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	561,762			
1 経常収益	561,417			
(1) 医業収益	258,239			
入院収益	106,766			
外来収益	84,523			
診療収入計	191,289			
その他医業収益	66,950			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	303,178			
(うち国・都道府県補助金)	11,122			
(うち他会計補助・負担金)	263,582			
(うち長期前受金戻入)	24,104			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	345			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	534,104			
2 経常費用	533,101			
(1) 医業費用	514,042			
職員給与費	284,036	110.0	62.1	89.0
材料費	36,027	14.0	25.3	14.0
(うち薬品費)	17,407	6.7	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,827	6.9	11.4	5.4
減価償却費	26,357	10.2	9.5	13.0
経費	167,425	64.8	22.7	47.1
(うち委託料)	86,334	33.4	12.6	22.5
研究研修費	97			
資産減耗費	100			
(2) 医業外費用	19,059			
(うち支払利息)	1,244	0.5	1.3	1.3
(3) 特別損失	1,003			
損益				
経常損益	28,316			
純損益	27,658			
累積欠損金	369,590			
経常収支比率	105.3		101.9	98.5
医業収支比率	50.2		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	46.9		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	102.1		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	46.9		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	55.9		89.3	64.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,482,234
1 固定資産	1,050,501
(1) 有形固定資産	1,050,290
(2) 無形固定資産	211
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	431,733
(1) 現金及び預金	149,703
(2) 未収金及び未収収益	268,131
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	13,899
3 繰延資産	-
負債合計	2,302,919
1 固定負債	719,137
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	719,137
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	706,439
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	155,858
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	72,027
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	330,000
(8) 未払金及び未払費用	148,554
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	877,343
(1) 長期前受金	2,626,734
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,749,391
資本合計	-820,685
1 資本金	160,780
2 剰余金	-981,465
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-981,465
負債・資本合計	1,482,234
不良債務	118,848
実質資金不足額	118,848
資本不足額(繰延収益控除後)( )	820,685
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	136,062	263,582
資本勘定繰入	17,926	29,963
計	153,988	293,545

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	118,848	11.2
令和元年度	173,003	16.3
平成30年度	195,031	18.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	92.8
健全化法上の資金不足額(千円)	103,019
健全化法上の資金不足比率(%)	9.7
地財法上の資金不足額(千円)	118,848
地財法上の資金不足比率(%)	11.2

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	士幌町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,166 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	50	72.9	72.9	61.4
療養	-	-	-	65.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	72.9	72.9	61.7
平均在院日数(一般病床のみ)		49.9	53.0	58.2

設立団体の状況		
人口(人)	5,848	
決算規模(千円)	7,921,315	
標準財政規模(千円)	4,370,792	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	86.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	830,843			
1 経常収益	830,843			
(1) 医業収益	400,604			
入院収益	223,715			
外来収益	138,126			
診療収入計	361,841			
その他医業収益	38,763			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	430,239			
(うち国・都道府県補助金)	2,177			
(うち他会計補助・負担金)	403,595			
(うち長期前受金戻入)	21,873			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	842,658			
2 経常費用	842,658			
(1) 医業費用	809,094			
職員給与費	525,367	131.1	62.1	78.9
材料費	58,122	14.5	25.3	15.6
(うち薬品費)	18,373	4.6	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,410	7.6	11.4	6.0
減価償却費	76,410	19.1	9.5	11.7
経費	145,464	36.3	22.7	31.2
(うち委託料)	89,160	22.3	12.6	14.3
研究研修費	733			
資産減耗費	2,998			
(2) 医業外費用	33,564			
(うち支払利息)	10,998	2.7	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-11,815			
純損益	-11,815			
累積欠損金	934,771			
経常収支比率	98.6		101.9	100.3
医業収支比率	49.5		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	48.6		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	100.7		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	48.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	50.7		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,998,292
1 固定資産	1,783,757
(1) 有形固定資産	1,783,627
(2) 無形固定資産	130
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	214,535
(1) 現金及び預金	122,301
(2) 未収金及び未収収益	85,920
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	6,159
3 繰延資産	-
負債合計	1,751,366
1 固定負債	727,651
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	727,651
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	163,055
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	77,896
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	48,369
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	36,790
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	860,660
(1) 長期前受金	989,472
(2) 長期前受金収益化累計額( )	128,812
資本合計	246,926
1 資本金	984,825
2 剰余金	-737,899
(1) 資本金剰余金	196,872
(2) 利益剰余金	-934,771
負債・資本合計	1,998,292
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	49.5
修正医業収益(千円)	400,604

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	403,595	403,595
資本勘定繰入	57,650	69,202
計	461,245	472,797

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	233.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	鹿追町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,233 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	その他		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	30	54.7	91.2	64.1
療養	20	53.6	42.2	53.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	54.3	64.7	58.1
平均在院日数(一般病床のみ)		42.2	38.7	32.9

設立団体の状況		
人口(人)	5,266	
決算規模(千円)	8,235,319	
標準財政規模(千円)	4,008,229	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	80.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	58.8
修正医業収益(千円)	399,294

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	691,957			
1 経常収益	688,057			
(1) 医業収益	437,285			
入院収益	148,421			
外来収益	228,947			
診療収入計	377,368			
その他医業収益	59,917			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	250,772			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	235,640			
(うち長期前受金戻入)	4,341			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,900			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	707,855			
2 経常費用	703,955			
(1) 医業費用	678,844			
職員給与費	400,798	91.7	62.1	78.9
材料費	136,209	31.1	25.3	15.6
(うち薬品費)	107,804	24.7	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,405	6.5	11.4	6.0
減価償却費	39,647	9.1	9.5	11.7
経費	100,539	23.0	22.7	31.2
(うち委託料)	68,732	15.7	12.6	14.3
研究研修費	238			
資産減耗費	1,413			
(2) 医業外費用	25,111			
(うち支払利息)	2,102	0.5	1.3	1.7
(3) 特別損失	3,900			
損益				
経常損益	-15,898			
純損益	-15,898			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.7		101.9	100.3
医業収支比率	64.4		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	39.8		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	62.6		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	39.5		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	58.9		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,035,720
1 固定資産	624,368
(1) 有形固定資産	624,300
(2) 無形固定資産	68
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	411,352
(1) 現金及び預金	343,594
(2) 未収金及び未収収益	63,506
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	4,252
3 繰延資産	-
負債合計	273,715
1 固定負債	115,884
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,884
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	98,820
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	40,593
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	32,029
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,198
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	59,011
(1) 長期前受金	203,094
(2) 長期前受金収益化累計額( )	144,083
資本合計	762,005
1 資本金	742,942
2 剰余金	19,063
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	19,063
負債・資本合計	1,035,720
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	180,347	273,631
資本勘定繰入	-	4,625
計	180,347	278,256

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	芽室町				
病院名	国保芽室病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,497 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	9	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	150	50.7	54.8	56.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	50.7	54.8	56.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	15.1	13.3

設立団体の状況		
人口(人)	18,048	
決算規模(千円)	19,325,328	
標準財政規模(千円)	7,361,260	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	82.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.4
	将来負担比率(%)	58.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.4
修正医業収益(千円)	1,229,450

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,317,793			
1 経常収益	2,270,472			
(1) 医業収益	1,324,078			
入院収益	712,097			
外来収益	451,795			
診療収入計	1,163,892			
その他医業収益	160,186			
(うち他会計負担金)	94,628			
(2) 医業外収益	946,394			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	453,234			
(うち長期前受金戻入)	88,195			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	47,321			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,134,043			
2 経常費用	2,086,722			
(1) 医業費用	2,034,672			
職員給与費	1,238,500	93.5	62.1	67.4
材料費	175,738	13.3	25.3	17.7
(うち薬品費)	82,262	6.2	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	78,287	5.9	11.4	8.8
減価償却費	129,301	9.8	9.5	10.7
経費	485,937	36.7	22.7	29.2
(うち委託料)	170,842	12.9	12.6	13.9
研究研修費	2,671			
資産減耗費	2,525			
(2) 医業外費用	52,050			
(うち支払利息)	6,180	0.5	1.3	1.5
(3) 特別損失	47,321			
損益				
経常損益	183,750			
純損益	183,750			
累積欠損金	685,796			
経常収支比率	108.8		101.9	100.3
医業収支比率	65.1		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	24.1		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	41.4		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	23.6		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	82.6		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,139,596
1 固定資産	1,777,960
(1) 有形固定資産	1,777,960
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	361,636
(1) 現金及び預金	133,536
(2) 未収金及び未収収益	219,055
(3) 貸倒引当金( )	1,398
(4) 貯蔵品	10,443
3 繰延資産	-
負債合計	1,266,598
1 固定負債	348,750
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	348,750
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	254,789
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	53,395
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	93,074
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	97,999
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	663,059
(1) 長期前受金	1,885,309
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,222,250
資本合計	872,998
1 資本金	482,954
2 剰余金	390,044
(1) 資本金剰余金	1,075,840
(2) 利益剰余金	-685,796
負債・資本合計	2,139,596
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	323,731	547,862
資本勘定繰入	70,869	93,625
計	394,600	641,487

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	45,149	3.0
平成30年度	252,059	15.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	大樹町		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	4,057 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	50	79.1	83.0	86.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	79.1	83.0	86.7
平均在院日数(一般病床のみ)		41.1	41.0	47.3

設立団体の状況		
人口(人)	5,420	
決算規模(千円)	8,307,213	
標準財政規模(千円)	4,283,929	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	87.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	16.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	42.8
修正医業収益(千円)	446,067

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,045,771			
1 経常収益	1,045,771			
(1) 医業収益	532,544			
入院収益	239,846			
外来収益	178,724			
診療収入計	418,570			
その他医業収益	113,974			
(うち他会計負担金)	86,477			
(2) 医業外収益	513,227			
(うち国・都道府県補助金)	28,445			
(うち他会計補助・負担金)	410,142			
(うち長期前受金戻入)	66,413			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,064,198			
2 経常費用	1,064,198			
(1) 医業費用	1,041,021			
職員給与費	700,521	131.5	62.1	78.9
材料費	142,522	26.8	25.3	15.6
(うち薬品費)	73,746	13.8	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	57,154	10.7	11.4	6.0
減価償却費	75,009	14.1	9.5	11.7
経費	122,253	23.0	22.7	31.2
(うち委託料)	62,046	11.7	12.6	14.3
研究研修費	716			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	23,177			
(うち支払利息)	86	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-18,427			
純損益	-18,427			
累積欠損金	820,749			
経常収支比率	98.3		101.9	100.3
医業収支比率	51.2		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	47.5		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	93.3		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	47.5		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	51.6		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,893,954
1 固定資産	1,492,930
(1) 有形固定資産	1,490,100
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	2,830
2 流動資産	401,024
(1) 現金及び預金	289,969
(2) 未収金及び未収収益	100,876
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	10,179
3 繰延資産	-
負債合計	1,575,481
1 固定負債	711,702
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	711,702
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	115,989
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	41,440
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	46,545
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	28,004
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	747,790
(1) 長期前受金	994,818
(2) 長期前受金収益化累計額( )	247,028
資本合計	318,473
1 資本金	1,138,501
2 剰余金	-820,028
(1) 資本金剰余金	721
(2) 利益剰余金	-820,749
負債・資本合計	1,893,954
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	345,485	496,619
資本勘定繰入	23,159	46,317
計	368,644	542,936

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	154.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	広尾町		
病院名	広尾町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	72.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	72.6
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	31.6

設立団体の状況		
人口(人)	6,387	
決算規模(千円)	7,878,476	
標準財政規模(千円)	4,573,604	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	86.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.0
	将来負担比率(%)	52.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	230			
1 経常収益	230			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	230			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	230			
2 経常費用	230			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	-	-	9.5	13.0
経費	-	-	22.7	47.1
(うち委託料)	-	-	12.6	22.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	230			
(うち支払利息)	230	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	98.5
医業収支比率	-		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	64.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名 北海道	
市町村・組合名	池田町		
病院名	十勝いけだ地域医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,678 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	57.3	57.6	56.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	57.3	57.6	56.5
平均在院日数(一般病床のみ)		16.9	20.4	14.7

設立団体の状況		
人口(人)	6,294	
決算規模(千円)	8,290,666	
標準財政規模(千円)	4,065,881	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	87.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.8
	将来負担比率(%)	44.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	299,177			
1 経常収益	299,177			
(1) 医業収益	1,097			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	1,097			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	298,080			
(うち国・都道府県補助金)	22,852			
(うち他会計補助・負担金)	253,077			
(うち長期前受金戻入)	22,140			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	413,319			
2 経常費用	413,319			
(1) 医業費用	407,488			
職員給与費	-	-	62.1	78.9
材料費	-	-	25.3	15.6
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	6.0
減価償却費	133,910	12206.9	9.5	11.7
経費	271,206	24722.5	22.7	31.2
(うち委託料)	1,313	119.7	12.6	14.3
研究研修費	-			
資産減耗費	2,372			
(2) 医業外費用	5,831			
(うち支払利息)	5,033	458.8	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-114,142			
純損益	-114,142			
累積欠損金	1,535,881			
経常収支比率	72.4		101.9	100.3
医業収支比率	0.3		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	84.6		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	23069.9		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	84.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	11.2		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,833,542
1 固定資産	1,554,216
(1) 有形固定資産	1,553,654
(2) 無形固定資産	562
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	279,326
(1) 現金及び預金	274,515
(2) 未収金及び未収収益	5,382
(3) 貸倒引当金( )	571
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,937,987
1 固定負債	1,164,464
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,150,792
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	13,672
(7) リース債務	-
2 流動負債	131,802
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	130,916
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	686
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	641,721
(1) 長期前受金	857,099
(2) 長期前受金収益化累計額( )	215,378
資本合計	-104,445
1 資本金	1,425,336
2 剰余金	-1,529,781
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,529,781
負債・資本合計	1,833,542
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	104,445
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.3
修正医業収益(千円)	1,097

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	250,560	253,077
資本勘定繰入	63,419	126,839
計	313,979	379,916

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	140007.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	本別町			
病院名	国保病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	5,554 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	10	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	15:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	74.5	77.4	70.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	74.5	77.4	70.6
平均在院日数(一般病床のみ)		37.9	33.4	29.1

設立団体の状況		
人口(人)	6,618	
決算規模(千円)	7,816,122	
標準財政規模(千円)	4,066,714	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	84.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	41.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	59.1
修正医業収益(千円)	704,479

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,172,211			
1 経常収益	1,172,211			
(1) 医業収益	914,904			
入院収益	376,376			
外来収益	289,465			
診療収入計	665,841			
その他医業収益	249,063			
(うち他会計負担金)	210,425			
(2) 医業外収益	257,307			
(うち国・都道府県補助金)	14,312			
(うち他会計補助・負担金)	205,847			
(うち長期前受金戻入)	18,963			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,242,711			
2 経常費用	1,242,711			
(1) 医業費用	1,192,234			
職員給与費	753,611	82.4	62.1	78.9
材料費	131,271	14.3	25.3	15.6
(うち薬品費)	55,475	6.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	62,878	6.9	11.4	6.0
減価償却費	77,949	8.5	9.5	11.7
経費	226,762	24.8	22.7	31.2
(うち委託料)	95,367	10.4	12.6	14.3
研究研修費	1,722			
資産減耗費	919			
(2) 医業外費用	50,477			
(うち支払利息)	17,261	1.9	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-70,500			
純損益	-70,500			
累積欠損金	1,995,232			
経常収支比率	94.3		101.9	100.3
医業収支比率	76.7		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	35.5		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	45.5		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	35.5		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	60.8		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,173,781
1 固定資産	1,004,788
(1) 有形固定資産	1,003,279
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,509
2 流動資産	168,993
(1) 現金及び預金	40,051
(2) 未収金及び未収収益	108,287
(3) 貸倒引当金( )	180
(4) 貯蔵品	16,646
3 繰延資産	-
負債合計	1,199,036
1 固定負債	751,929
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	706,469
(2) その他の企業債	9,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	36,460
2 流動負債	255,087
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	100,268
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	49,826
(6) リース債務	4,002
(7) 一時借入金	30,000
(8) 未払金及び未払費用	64,692
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	192,020
(1) 長期前受金	465,204
(2) 長期前受金収益化累計額( )	273,184
資本合計	-25,255
1 資本金	1,967,742
2 剰余金	-1,992,997
(1) 資本金剰余金	2,235
(2) 利益剰余金	-1,995,232
負債・資本合計	1,173,781
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	25,255
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	413,838	416,272
資本勘定繰入	69,894	77,325
計	483,732	493,597

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	92,169	10.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	218.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	足寄町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,102 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	52.0	62.6	55.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	52.0	62.6	55.6
平均在院日数(一般病床のみ)		21.8	22.0	22.3

設立団体の状況		
人口(人)	6,563	
決算規模(千円)	9,702,238	
標準財政規模(千円)	5,420,533	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	87.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	51.3
修正医業収益(千円)	524,794

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	995,202			
1 経常収益	995,202			
(1) 医業収益	690,359			
入院収益	223,684			
外来収益	259,549			
診療収入計	483,233			
その他医業収益	207,126			
(うち他会計負担金)	165,565			
(2) 医業外収益	304,843			
(うち国・都道府県補助金)	30,598			
(うち他会計補助・負担金)	231,204			
(うち長期前受金戻入)	22,583			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,060,923			
2 経常費用	1,060,923			
(1) 医業費用	1,022,799			
職員給与費	589,913	85.5	62.1	78.9
材料費	86,674	12.6	25.3	15.6
(うち薬品費)	23,210	3.4	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	51,238	7.4	11.4	6.0
減価償却費	71,807	10.4	9.5	11.7
経費	271,860	39.4	22.7	31.2
(うち委託料)	66,343	9.6	12.6	14.3
研究研修費	311			
資産減耗費	2,234			
(2) 医業外費用	38,124			
(うち支払利息)	9,932	1.4	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-65,721			
純損益	-65,721			
累積欠損金	2,394,414			
経常収支比率	93.8		101.9	100.3
医業収支比率	67.5		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	39.9		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	57.5		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	39.9		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	56.4		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,264,633
1 固定資産	1,036,127
(1) 有形固定資産	1,035,911
(2) 無形固定資産	216
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	228,506
(1) 現金及び預金	134,523
(2) 未収金及び未収収益	87,012
(3) 貸倒引当金( )	908
(4) 貯蔵品	7,879
3 繰延資産	-
負債合計	964,302
1 固定負債	652,519
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	652,519
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	167,201
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	84,816
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,819
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	40,840
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	144,582
(1) 長期前受金	416,249
(2) 長期前受金収益化累計額( )	271,667
資本合計	300,331
1 資本金	2,694,745
2 剰余金	-2,394,414
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,394,414
負債・資本合計	1,264,633
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	396,588	396,769
資本勘定繰入	54,750	63,064
計	451,338	459,833

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	346.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	厚岸町				
病院名	厚岸病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,988 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	55	54.8	50.6	50.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	54.8	50.6	50.1
平均在院日数(一般病床のみ)		27.5	21.2	18.3

設立団体の状況		
人口(人)	8,892	
決算規模(千円)	12,649,935	
標準財政規模(千円)	5,376,878	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.9
	将来負担比率(%)	79.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	53.7
修正医業収益(千円)	618,764

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,203,699			
1 経常収益	1,197,035			
(1) 医業収益	715,301			
入院収益	244,224			
外来収益	288,111			
診療収入計	532,335			
その他医業収益	182,966			
(うち他会計負担金)	96,537			
(2) 医業外収益	481,734			
(うち国・都道府県補助金)	7,453			
(うち他会計補助・負担金)	373,045			
(うち長期前受金戻入)	74,720			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,664			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,211,304			
2 経常費用	1,204,640			
(1) 医業費用	1,153,026			
職員給与費	668,143	93.4	62.1	78.9
材料費	109,540	15.3	25.3	15.6
(うち薬品費)	51,063	7.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	51,961	7.3	11.4	6.0
減価償却費	74,815	10.5	9.5	11.7
経費	296,987	41.5	22.7	31.2
(うち委託料)	100,952	14.1	12.6	14.3
研究研修費	1,179			
資産減耗費	2,362			
(2) 医業外費用	51,614			
(うち支払利息)	27,321	3.8	1.3	1.7
(3) 特別損失	6,664			
損益				
経常損益	-7,605			
純損益	-7,605			
累積欠損金	643,149			
経常収支比率	99.4		101.9	100.3
医業収支比率	62.0		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	39.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	65.6		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	39.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	60.4		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,092,012
1 固定資産	1,913,677
(1) 有形固定資産	1,837,965
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	75,712
2 流動資産	178,335
(1) 現金及び預金	41,692
(2) 未収金及び未収収益	120,989
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	15,654
3 繰延資産	-
負債合計	2,679,069
1 固定負債	669,324
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	574,224
(2) その他の企業債	95,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	269,624
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,570
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,515
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	50,000
(8) 未払金及び未払費用	51,160
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,740,121
(1) 長期前受金	3,431,635
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,691,514
資本合計	-587,057
1 資本金	56,092
2 剰余金	-643,149
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-643,149
負債・資本合計	2,092,012
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	587,057
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	456,834	469,582
資本勘定繰入	88,946	135,251
計	545,780	604,833

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	4,762	0.6
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	89.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	46,819
地財法上の資金不足比率(%)	6.5

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	標茶町				
病院名	町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,985 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	45.1	47.7	48.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	45.1	47.7	48.1
平均在院日数(一般病床のみ)		20.0	20.0	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	7,230	
決算規模(千円)	13,145,241	
標準財政規模(千円)	5,909,617	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	88.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	27.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	47.4
修正医業収益(千円)	520,306

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,162,291			
1 経常収益	1,156,578			
(1) 医業収益	690,627			
入院収益	279,096			
外来収益	182,860			
診療収入計	461,956			
その他医業収益	228,671			
(うち他会計負担金)	170,321			
(2) 医業外収益	465,951			
(うち国・都道府県補助金)	10,606			
(うち他会計補助・負担金)	445,120			
(うち長期前受金戻入)	4,818			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,713			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,156,545			
2 経常費用	1,150,834			
(1) 医業費用	1,097,565			
職員給与費	557,368	80.7	62.1	78.9
材料費	89,490	13.0	25.3	15.6
(うち薬品費)	39,568	5.7	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,984	5.8	11.4	6.0
減価償却費	59,170	8.6	9.5	11.7
経費	389,254	56.4	22.7	31.2
(うち委託料)	83,882	12.1	12.6	14.3
研究研修費	886			
資産減耗費	1,397			
(2) 医業外費用	53,269			
(うち支払利息)	20,876	3.0	1.3	1.7
(3) 特別損失	5,711			
損益				
経常損益	5,744			
純損益	5,746			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.5		101.9	100.3
医業収支比率	62.9		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	53.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	89.1		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	53.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	47.0		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,909,741
1 固定資産	1,590,591
(1) 有形固定資産	1,590,203
(2) 無形固定資産	388
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	319,150
(1) 現金及び預金	232,069
(2) 未収金及び未収収益	78,326
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	8,755
3 繰延資産	-
負債合計	913,545
1 固定負債	424,674
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	420,061
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	4,613
2 流動負債	324,858
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	102,112
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	41,310
(6) リース債務	1,285
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	172,196
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	164,013
(1) 長期前受金	198,623
(2) 長期前受金収益化累計額( )	34,610
資本合計	996,196
1 資本金	987,143
2 剰余金	9,053
(1) 資本金剰余金	3,307
(2) 利益剰余金	5,746
負債・資本合計	1,909,741
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	615,441	615,441
資本勘定繰入	73,806	-
計	689,247	615,441

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	別海町				
病院名	別海病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 未 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,565 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	84	72.2	69.5	70.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	84	72.2	69.5	70.9
平均在院日数(一般病床のみ)		20.0	17.5	18.5

設立団体の状況		
人口(人)	14,380	
決算規模(千円)	20,498,333	
標準財政規模(千円)	9,511,029	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.3
	将来負担比率(%)	80.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,233,835			
1 経常収益	2,197,125			
(1) 医業収益	1,291,226			
入院収益	656,827			
外来収益	436,130			
診療収入計	1,092,957			
その他医業収益	198,269			
(うち他会計負担金)	39,745			
(2) 医業外収益	905,899			
(うち国・都道府県補助金)	5,757			
(うち他会計補助・負担金)	839,195			
(うち長期前受金戻入)	49,167			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	36,710			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,263,308			
2 経常費用	2,247,698			
(1) 医業費用	2,114,265			
職員給与費	1,121,192	86.8	62.1	78.9
材料費	220,141	17.0	25.3	15.6
(うち薬品費)	107,880	8.4	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	112,261	8.7	11.4	6.0
減価償却費	195,862	15.2	9.5	11.7
経費	572,235	44.3	22.7	31.2
(うち委託料)	355,326	27.5	12.6	14.3
研究研修費	2,692			
資産減耗費	2,143			
(2) 医業外費用	133,433			
(うち支払利息)	24,432	1.9	1.3	1.7
(3) 特別損失	15,610			
損益				
経常損益	-50,573			
純損益	-29,473			
累積欠損金	2,416,375			
経常収支比率	97.8		101.9	100.3
医業収支比率	61.1		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	40.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	68.1		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	39.3		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	58.6		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,681,158
1 固定資産	3,083,133
(1) 有形固定資産	3,083,133
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	598,025
(1) 現金及び預金	297,689
(2) 未収金及び未収収益	289,092
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	11,244
3 繰延資産	-
負債合計	3,390,122
1 固定負債	1,668,278
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,647,178
(2) その他の企業債	21,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	650,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	168,438
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	73,980
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	407,621
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,071,448
(1) 長期前受金	2,000,277
(2) 長期前受金収益化累計額( )	928,829
資本合計	291,036
1 資本金	2,707,411
2 剰余金	-2,416,375
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,416,375
負債・資本合計	3,681,158
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	59.2
修正医業収益(千円)	1,251,481

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	878,940	878,940
資本勘定繰入	81,060	81,060
計	960,000	960,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	187.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	中標津町				
病院名	中標津病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	16,710 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救へ災輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	173	52.8	46.3	49.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	173	50.5	41.9	44.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	11.1	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	23,010	
決算規模(千円)	17,682,795	
標準財政規模(千円)	8,513,704	
財政力指数	0.43	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.5
	将来負担比率(%)	91.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,279,985			
1 経常収益	4,279,985			
(1) 医業収益	3,122,168			
入院収益	1,438,181			
外来収益	1,253,277			
診療収入計	2,691,458			
その他医業収益	430,710			
(うち他会計負担金)	272,600			
(2) 医業外収益	1,157,817			
(うち国・都道府県補助金)	221,374			
(うち他会計補助・負担金)	894,557			
(うち長期前受金戻入)	20,347			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,324,192			
2 経常費用	4,323,960			
(1) 医業費用	4,105,727			
職員給与費	1,856,098	59.4	62.1	67.4
材料費	653,719	20.9	25.3	17.7
(うち薬品費)	233,513	7.5	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	420,206	13.5	11.4	8.8
減価償却費	239,889	7.7	9.5	10.7
経費	1,347,793	43.2	22.7	29.2
(うち委託料)	505,662	16.2	12.6	13.9
研究研修費	2,535			
資産減耗費	5,693			
(2) 医業外費用	218,233			
(うち支払利息)	54,496	1.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	232			
損益				
経常損益	-43,975			
純損益	-44,207			
累積欠損金	6,283,508			
経常収支比率	99.0		101.9	100.3
医業収支比率	76.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	27.3		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	37.4		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	27.3		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	72.0		89.3	84.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,832,198
1 固定資産	3,155,856
(1) 有形固定資産	3,114,713
(2) 無形固定資産	41,143
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	676,342
(1) 現金及び預金	56,949
(2) 未収金及び未収収益	558,649
(3) 貸倒引当金( )	1,000
(4) 貯蔵品	61,744
3 繰延資産	-
負債合計	3,906,606
1 固定負債	2,278,791
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,955,820
(2) その他の企業債	317,829
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,142
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,259,224
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	372,394
(2) その他の企業債	11,771
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	118,162
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	570,000
(8) 未払金及び未払費用	146,001
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	368,591
(1) 長期前受金	926,339
(2) 長期前受金収益化累計額( )	557,748
資本合計	-74,408
1 資本金	6,209,100
2 剰余金	-6,283,508
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-6,283,508
負債・資本合計	3,832,198
不良債務	271,127
実質資金不足額	271,127
資金不足額( )	74,408
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.4
修正医業収益(千円)	2,849,568

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,049,283	1,167,157
資本勘定繰入	271,126	271,126
計	1,320,409	1,438,283

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	271,127	8.7
令和元年度	596,181	19.9
平成30年度	450,262	15.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	201.3
健全化法上の資金不足額(千円)	259,356
健全化法上の資金不足比率(%)	8.3
地財法上の資金不足額(千円)	588,956
地財法上の資金不足比率(%)	18.8

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	標津町			
病院名	標津町国民健康保険標津病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	2,686 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	2	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	15:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	35	48.0	69.7	73.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	35	48.0	69.7	73.4
平均在院日数(一般病床のみ)		34.9	35.5	35.6

設立団体の状況		
人口(人)	5,023	
決算規模(千円)	7,140,634	
標準財政規模(千円)	4,061,891	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	72.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	36.5
修正医業収益(千円)	326,529

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	949,745			
1 経常収益	945,145			
(1) 医業収益	326,529			
入院収益	118,628			
外来収益	173,995			
診療収入計	292,623			
その他医業収益	33,906			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	618,616			
(うち国・都道府県補助金)	110,403			
(うち他会計補助・負担金)	495,327			
(うち長期前受金戻入)	12,692			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,600			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	920,951			
2 経常費用	916,351			
(1) 医業費用	893,742			
職員給与費	571,454	175.0	62.1	89.0
材料費	59,862	18.3	25.3	14.0
(うち薬品費)	36,076	11.0	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	23,786	7.3	11.4	5.4
減価償却費	58,024	17.8	9.5	13.0
経費	160,578	49.2	22.7	47.1
(うち委託料)	52,214	16.0	12.6	22.5
研究研修費	40,700			
資産減耗費	3,124			
(2) 医業外費用	22,609			
(うち支払利息)	6,382	2.0	1.3	1.3
(3) 特別損失	4,600			
損益				
経常損益	28,794			
純損益	28,794			
累積欠損金	770,414			
経常収支比率	103.1		101.9	98.5
医業収支比率	36.5		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	52.4		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	151.7		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	52.2		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	49.1		89.3	64.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	952,986
1 固定資産	683,459
(1) 有形固定資産	683,103
(2) 無形固定資産	356
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	269,527
(1) 現金及び預金	145,004
(2) 未収金及び未収収益	122,440
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	2,083
3 繰延資産	-
負債合計	351,395
1 固定負債	238,872
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	236,235
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	2,637
2 流動負債	94,845
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	52,370
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,558
(6) リース債務	611
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,953
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,678
(1) 長期前受金	63,012
(2) 長期前受金収益化累計額( )	45,334
資本合計	601,591
1 資本金	1,110,179
2 剰余金	-508,588
(1) 資本金剰余金	261,826
(2) 利益剰余金	-770,414
負債・資本合計	952,986
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	495,327	495,327
資本勘定繰入	9,878	15,950
計	505,205	511,277

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	235.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	広域紋別病院企業団			
病院名	広域紋別病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	11,584 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当	
診療科数	17	指定病院の状況	救臨感へ災	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	148	49.4	47.7	45.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	150	48.8	47.1	44.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	11.5	12.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	55.2
修正医業収益(千円)	1,982,162

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,747,106			
1 経常収益	3,737,054			
(1) 医業収益	2,058,695			
入院収益	1,057,088			
外来収益	858,679			
診療収入計	1,915,767			
その他医業収益	142,928			
(うち他会計負担金)	76,533			
(2) 医業外収益	1,678,359			
(うち国・都道府県補助金)	682,702			
(うち他会計補助・負担金)	713,996			
(うち長期前受金戻入)	254,321			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,052			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,761,659			
2 経常費用	3,739,161			
(1) 医業費用	3,588,405			
職員給与費	1,730,604	84.1	62.1	67.4
材料費	452,521	22.0	25.3	17.7
(うち薬品費)	179,340	8.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	273,097	13.3	11.4	8.8
減価償却費	506,265	24.6	9.5	10.7
経費	890,845	43.3	22.7	29.2
(うち委託料)	336,898	16.4	12.6	13.9
研究研修費	3,135			
資産減耗費	5,035			
(2) 医業外費用	150,756			
(うち支払利息)	140	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	22,498			
損益				
経常損益	-2,107			
純損益	-14,553			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.9		101.9	100.3
医業収支比率	57.4		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	21.2		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	38.4		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	21.1		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	78.8		89.3	84.8

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,486,386
1 固定資産	8,358,378
(1) 有形固定資産	5,241,586
(2) 無形固定資産	709
(3) 投資その他の資産	3,116,083
2 流動資産	1,128,008
(1) 現金及び預金	410,111
(2) 未収金及び未収収益	695,923
(3) 貸倒引当金( )	1,925
(4) 貯蔵品	23,507
3 繰延資産	-
負債合計	8,922,876
1 固定負債	6,542,072
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,013,434
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	583,157
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	211,115
(7) リース債務	-
2 流動負債	509,568
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,364
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	100,756
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	90,253
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	178,977
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,871,236
(1) 長期前受金	3,262,946
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,391,710
資本合計	563,510
1 資本金	469
2 剰余金	563,041
(1) 資本金剰余金	266,672
(2) 利益剰余金	296,369
負債・資本合計	9,486,386
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	693,970	790,529
資本勘定繰入	197,833	141,910
計	891,803	932,439

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	利尻島国民健康保険病院組合			
病院名	利尻島国保中央病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	3,659 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	9	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	13:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	42	25.9	35.8	41.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	25.9	35.8	41.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.6	14.9	15.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	39.3
修正医業収益(千円)	342,410

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,109,290			
1 経常収益	1,094,690			
(1) 医業収益	398,669			
入院収益	123,681			
外来収益	200,346			
診療収入計	324,027			
その他医業収益	74,642			
(うち他会計負担金)	56,259			
(2) 医業外収益	696,021			
(うち国・都道府県補助金)	417,253			
(うち他会計補助・負担金)	247,850			
(うち長期前受金戻入)	23,833			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,600			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	945,679			
2 経常費用	912,002			
(1) 医業費用	870,859			
職員給与費	494,058	123.9	62.1	89.0
材料費	52,583	13.2	25.3	14.0
(うち薬品費)	43,148	10.8	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,556	0.4	11.4	5.4
減価償却費	85,667	21.5	9.5	13.0
経費	237,696	59.6	22.7	47.1
(うち委託料)	51,164	12.8	12.6	22.5
研究研修費	707			
資産減耗費	148			
(2) 医業外費用	41,143			
(うち支払利息)	2,310	0.6	1.3	1.3
(3) 特別損失	33,677			
損益				
経常損益	182,688			
純損益	163,611			
累積欠損金	34,842			
経常収支比率	120.0		101.9	98.5
医業収支比率	45.8		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	27.8		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	76.3		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	27.4		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	86.7		89.3	64.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,420,605
1 固定資産	962,544
(1) 有形固定資産	957,498
(2) 無形固定資産	546
(3) 投資その他の資産	4,500
2 流動資産	458,061
(1) 現金及び預金	36,399
(2) 未収金及び未収収益	277,963
(3) 貸倒引当金( )	934
(4) 貯蔵品	71,996
3 繰延資産	-
負債合計	727,011
1 固定負債	134,471
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	98,739
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	35,732
2 流動負債	217,674
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,175
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	44,410
(6) リース債務	20,010
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	41,513
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	374,866
(1) 長期前受金	720,211
(2) 長期前受金収益化累計額( )	345,345
資本合計	693,594
1 資本金	728,236
2 剰余金	-34,642
(1) 資本金剰余金	200
(2) 利益剰余金	-34,842
負債・資本合計	1,420,605
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	302,867	304,109
資本勘定繰入	76,318	80,318
計	379,185	384,427

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。